

盛岡市総合計画実施計画

— 平成30年度実績（まちづくりの取組） —

目 次

1	施策体系のしくみ	1
2	まちづくりの取組	4
	(1) 施策別	4
	(2) 主要事業の実績額一覧（基本目標・施策別）	95
3	計画額と実績額の差が1億円以上となった主要事業	99
4	平成30年度完了事業	100

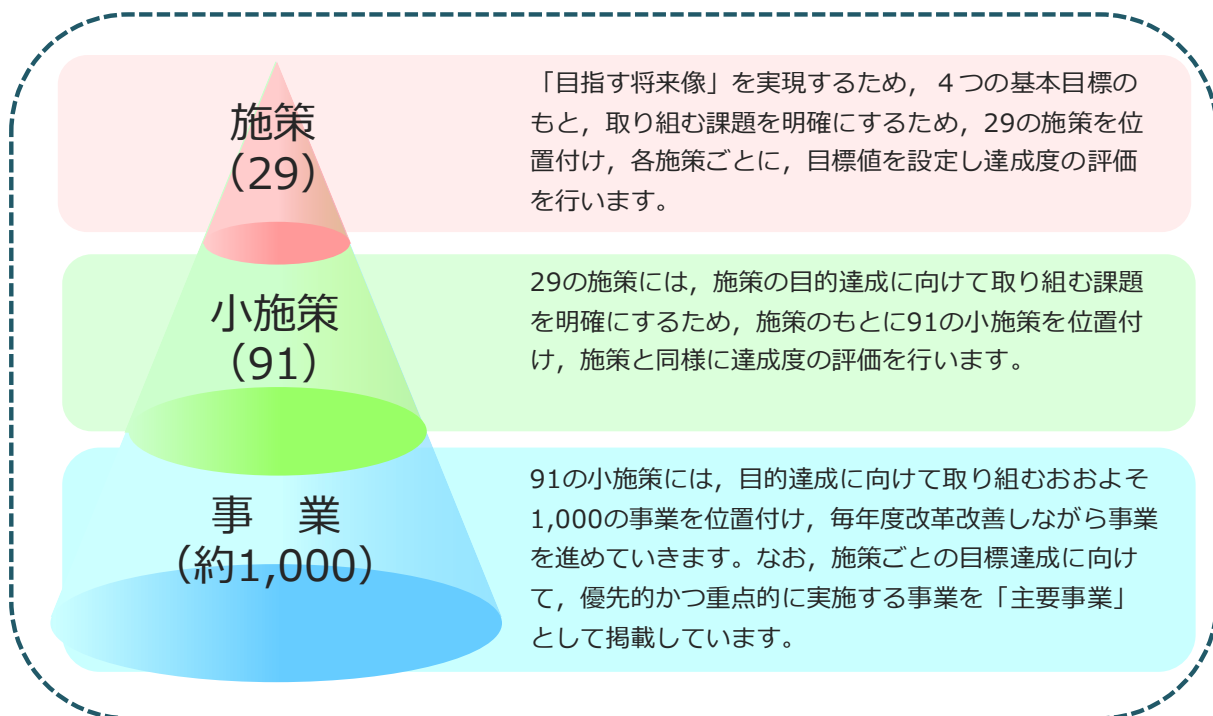
1 施策体系のしくみ

(1) 施策体系のしくみ

基本構想に定める「目指す将来像」を実現するために、次のような体系を構成し、施策を展開します。



まちづくりの取組



(2) 施策体系図

4つの基本目標のもと、取り組む施策間で十分に連携を図り、効果的にまちづくりを進めていくことが必要です。ここでは、それぞれの施策と基本目標との関連性を示し、「目指す将来像」の実現に向けて各施策がどのように取り組んでいくかを示します。

また、それぞれの施策がどの「基本目標」に関係するかを示すだけでなく、施策間で連携することを意識できるように示しています。

< 目指す将来像の実現に向けた4つの基本目標と29の施策 >

目指す将来像	ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡			
4つの基本目標	1 人がいきいきと暮らすまちづくり	2 盛岡の魅力があふれるまちづくり	3 人を育み未来につなぐまちづくり	4 人が集い活力を生むまちづくり
29の施策	<ul style="list-style-type: none"> 1 地域福祉の推進 2 子ども・子育て、若者への支援 3 高齢者福祉の充実 4 健康づくり・医療の充実 5 障がい者福祉の充実 6 生活困窮者への支援 7 人権尊重・男女共同参画の推進 8 安全・安心な暮らしの確保 9 地域コミュニティの維持・活性化 10 生活環境の保全 	<ul style="list-style-type: none"> 11 歴史・文化の継承 12 芸術文化の振興 13 スポーツの推進 14 「盛岡ブランド」の展開 15 良好な景観の形成 16 計画的な土地利用の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 17 子どもの教育の充実 18 生涯学習の推進 19 社会を担う人材の育成・支援 20 地球環境の保全と自然との共生 	<ul style="list-style-type: none"> 21 農林業の振興 22 商業・サービス業の振興 23 工業の振興 24 観光の振興 25 雇用の創出 26 都市基盤施設の維持・強化 27 交通環境の構築 28 国際化の推進 29 都市間交流の促進

※ 施策 関係施策

2 まちづくりの取組

(1) 施策別

施策別の見方

施策の方針について掲載しています。

施策1 地域福祉の推進

誰もが住み慣れた地域で、それぞれの個性や尊厳を認め合いながら、共に生活を続けることが・・・

主要事業の主な取組と、各事業内容、実績を掲載しています。

- ・「新市」欄の「★」は、玉山村との合併時に策定した「盛岡市・玉山村新市建設計画」に記載されている主要事業です。なお、「(★)」は、事業の一部が「盛岡市・玉山村新市建設計画」に記載されている主要事業です。
- ・「計画額」は、平成30年度当初予算額です。
- ・「実績額」は、平成30年度予算額に対する実績額です。
- ・「翌年度繰越額」は、令和元年度へ繰り越した予算額です。
- ・「計画額」「実績額」「翌年度繰越額」とも、四捨五入しているため、計と合致しない場合があります。

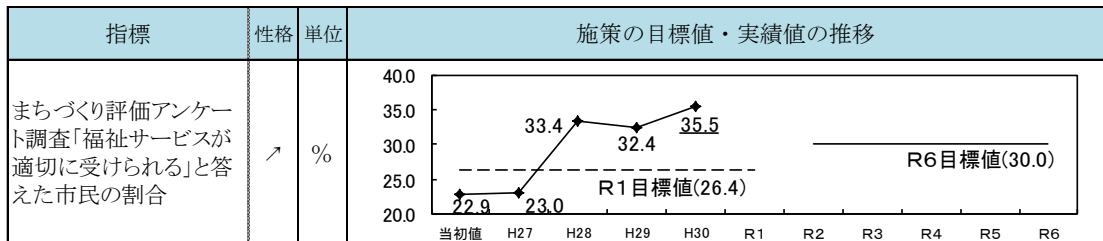
地域福祉コーディネーターを中心に市内の相談支援機関が連携し、・・・

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	(単位 百万円)		
				計画額	実績額	翌年度繰越額
地域トータルケアシステム構築事業(地域福祉コーディネーターネットワーク構築事業)	一般		地域福祉コーディネーター等のネットワーク構築の推進	31	25	0

まちづくり指標(成果指標)の状況を掲載しています。

- ・指標は、統計値やアンケート調査の結果に基づいています。
- ・「性格」欄の「↑」は数値を上げていくことを、「↓」は数値を下げていくことを、「→」は現状を維持していくことを目標としています。
- ・「当初値」は、基本的に平成25年度の実績値を用いています。

■ まちづくり指標(成果指標)の状況

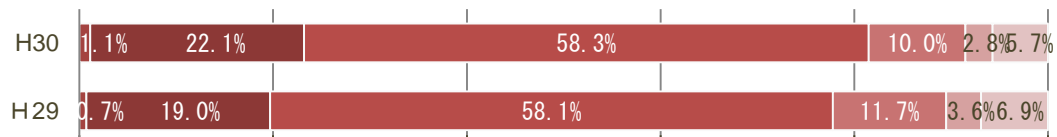


施策に対する市民の実感の状況を掲載しています。

- ・施策への取組状況などについて、市民の皆さんがどのように感じているか、無作為抽出した市民3,000人を対象に毎年アンケート調査を行い、その結果を「市民の実感」として掲載しています。
- ・小数点第2位を四捨五入して算出していますので、合計が100%とならない場合があります。

■ 施策に対する市民の実感

「共に支え合い安心して暮らすことができる地域社会の実現に向けた取組が行われている」と感じる市民の割合



施策を構成する小施策毎に、現状の成果、問題点や今後の方向性を掲載しています。

■ 現状の成果、問題点と今後の方向性

支援を必要とする人が福祉サービスを受けられる仕組みづくり

小施策毎の分析結果を踏まえた施策全体の総括と、今後の方向性を掲載しています。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

多様な支援機関が包括的に支援する体制を構築するため、・・・

基本目標 1 人がいきいきと暮らすまちづくり

施策 1 地域福祉の推進

誰もが住み慣れた地域で、それぞれの個性や尊厳を認め合いながら、共に生活を続けることができるように、地域住民が互いに支え合う地域社会の形成を推進します。

■ 主要事業の実績

地域福祉コーディネーターを中心に市内の相談支援機関が連携し、民生委員や包括支援センターなどから寄せられた相談ごとをチームとして支援できる体制構築を推進しました。また、「地域力強化推進事業」として、モデル地区を複数選定し、地域住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりを支援しました。さらに、高齢者や子育てをしている者を地域で支える取組としてシルバーサロン事業の推進及びボランティア養成等に取り組みました。

地域における日常生活の支え合いの可能性を高めるとともに、コミュニティベースの経済循環にも寄与する仕組みの構築に向けた自主財源の確保策等について調査研究することを目的とした「地域福祉の推進とコミュニティ経済の循環促進調査研究事業」にモデル地区を選定して進めました。

災害の発生に備え、避難行動要支援者名簿を毎年更新して、災害時の支援が必要な方の把握に努めました。

地域福祉を支える人材の育成に取り組み、地域福祉や地域共生社会の形成促進を図りました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
地域トータルケアシステム構築事業（地域福祉コーディネーターネットワーク構築事業）	一般		地域福祉コーディネーター等のネットワーク構築の推進	31	25	0
盛岡市社会福祉協議会運営費補助事業	一般	(★)	(社福)盛岡市社会福祉協議会の運営費補助	125	124	0
社会福祉法人指導監督等事業	一般		社会福祉法人の指導監督や設立認可など	12	12	0
地域福祉団体育成事業	一般		地域福祉の推進拠点である地区福祉推進会に対する運営費補助	3	3	0
地域福祉人材育成事業（地域福祉計画推進事業）	一般		地域福祉活動の中核的な担い手の育成など	6	6	0
施策の計（一般会計）				178	171	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
まちづくり評価アンケート調査「福祉サービスが適切に受けられる」と答えた市民の割合	↑	%	<p>当初値 22.9 H27 23.0 H28 33.4 H29 32.4 H30 35.5 R1 26.4 R6 30.0</p>
まちづくり評価アンケート調査「地域で支え合いが進んでいる」と答えた市民の割合	↑	%	<p>当初値 29.4 H27 24.0 H28 26.3 H29 27.8 H30 30.2 R1 31.7 R6 34.0</p>

・ 「福祉サービスが適切に受けられる」と答えた市民の割合／◎ 非常に順調に進捗

当初の目標値を越えている背景には、高齢化社会の進展により、介護サービス等を受けたいと考える方、もしくは家族に受けさせたいと考える方が増加し、地域における福祉サービスの需要が高まっていることが背景にあると考えられます。また、ゴミ屋敷など、複合的な要因により解決困難な事例に対しても、多様な支援機関同士が連携して取り組み、社会福祉協議会や民生委員などを通じて、地域に浸透しつつあります。

今後は、多様な福祉ニーズや、複雑化した生活課題を包括的に受け止めるための窓口の活用を促進するとともに、地域課題を地域で解決できる地域力強化の取組を広げる必要があります。

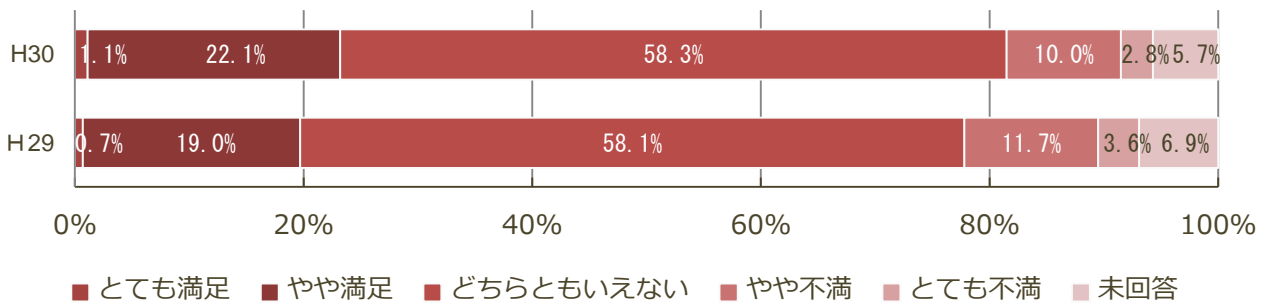
・ 「地域で支え合いが進んでいる」と答えた市民の割合／○ 順調に進捗

これまでの取組が功を奏し、平成27年度以降、地域での支え合いが進んでいると答えた方が年々増加しています。これは、ふれあいサロンの開催等が年々増加していることや、地域福祉コーディネーターが主体となって地域力強化に向けた取組を進めていることにより支え合いが進んでいると答える方が増加しつつあります。

ただし、未だ、目標値を下回っている状況であることから、今後は目標達成に向け、地域住民が自主的に支え合えるような環境づくりについて、関係機関と連携して更に進める必要があります。

■ 施策に対する市民の実感

「共に支え合い安心して暮らすことができる地域社会の実現に向けた取組が行われている」と感じる市民の割合



■ 現状の成果、問題点と今後の方向性

支援を必要とする人が福祉サービスを受けられる仕組みづくり

(現状の成果、問題点)

地域福祉コーディネーターによるゴミ屋敷への対応など、複合的な要因により解決困難な事例に対し、必要と思われる部門と連携して、必要なサービスに結び付ける仕組みの構築が推進されました。また、多様な支援主体が相互に連携できる体制の構築が推進されました。

一方、ひきこもり者を抱える世帯などは、問題が表面化しにくく、相談につながりにくい点が課題となっています。

(今後の方向性)

多様な支援機関が包括的に支援する体制を構築するため、地域福祉コーディネーターの増員を目指すとともに、多様な機関が連携しやすい体制づくりを推進します。

また、民生児童委員の相談業務の複合化・多様化等により、見守りなどの事例が増加していることなどから、包括的な相談窓口の周知や活用を図り、必要な福祉サービス等の利用につなげていきます。

共に支え合うことができる地域環境づくり

（現状の成果，問題点）

全国的に災害が発生している中，災害発生時に避難行動をとる際の補助となる「あんしん連絡パック」を配布しました。

個人情報流出を懸念する方等により，避難行動要支援者情報提供同意者の人数が増加しません。

（今後の方向性）

従来事業を継続するほか，寝たきりの要支援者の把握の方策について検討し，導入します。

地域福祉を担うひとづくり

（現状の成果，問題点）

将来の地域福祉活動の担い手である高校生に地域福祉人材育成事業の養成講座への参加を広く呼びかけ参加校が増加しました。一方で，ボランティア登録する個人の人数の伸びが少なく，ボランティアの活動についての更なる周知・啓発が必要と考えます。

（今後の方向性）

引き続き地域福祉人材育成事業等の各事業に取り組み，地域福祉を担うひとづくりを推進します。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

福祉課題は，地域の実情によって異なり，的確に現状把握をし，解決に導く必要があります。地域福祉コーディネーターの設置を着実に進め，地域力を高めながら，個別支援だけでなく，地域資源を活かした仕組みづくりを推進し，各分野の相談支援機関などが有機的に連携できるような仕組み（地域トータルケアシステム）を構築して，「共に支え合うことができる地域環境づくり」に取り組んでいく必要があります。

施策2 子ども・子育て、若者への支援

子どもの最善の利益を第一に、希望を持って子どもを産み育て、全ての子どもが健やかに成長できるように、子ども・子育て支援を進めます。

また、困難を抱える若者が自立できるように、社会全体で支援する仕組みを構築します。

■ 主要事業の実績

子ども未来基金を活用し、市民、団体などが行う子ども・子育て支援活動に補助を行いました。

児童虐待や子どもの養育に関する相談に専門的に応じる子ども家庭総合支援センターを開設しました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
私立児童福祉施設等運営事業	一般		認可された私立保育所、母子生活支援施設、助産施設の運営委託	5,515	5,279	0
認定こども園等運営費給付事業	一般		認定こども園や地域型保育事業による保育施設への給付	2,502	2,696	0
保育所管理運営事業	一般		市内公立保育所の管理運営	416	398	0
特別保育事業	一般	★	保育所での延長保育、一時預かりの実施	225	203	0
地域子育て支援センター事業	一般	★	市内の保育所8園での保育所開放、交流の場の提供、子育て講座、子育て情報の提供など	63	63	0
子育て世代包括支援センター事業	一般		妊婦相談や乳幼児家庭訪問、出張子育て相談、子育て支援サービス等の情報提供、ケアプラン作成など	10	10	0
子ども未来基金事業	一般		市民等が実施する子ども及びその保護者に対する支援活動に要する経費の助成	40	26	0
子育て応援プラザ運営事業	一般		室内遊び場や託児機能を備えた子育て支援エリアと、子どもと離れずに働くことができるワーキングスペースを運営する民間事業エリアの運営	27	27	0
医療費給付事業（妊産婦）	一般		妊産婦医療費給付	170	140	0
医療費給付事業（乳幼児）	一般		乳幼児医療費給付	445	427	0
医療費給付事業（小学生）	一般		小学生医療費給付	196	221	0
医療費給付事業（中学生）	一般		中学生医療費給付	80	71	0
母子保健事業	一般		妊婦健康診査、産婦健康診査、母親教室などの開催、子育て相談、産後ケアの実施	252	241	0
乳幼児健康診査事業	一般	★	3歳児までの各健康診査など	108	99	0
小児救急輪番制病院事業	一般		休日、夜間などに入院治療を必要とする小児重症救急患者を輪番制で診療する病院への運営費補助	28	28	0
施策の計（一般会計）				10,078	9,927	0

- ・ **私立児童福祉施設等運営事業**

処遇改善加算や所長設置加算等の非適用及び保育所入所児童数が見込を下回ったことにより、実績額が小さくなりました。

- ・ **認定こども園等運営費給付事業**

地域型保育施設が年度途中から3園新規開設したこと及び新たに加算できる項目が増えた施設があったことにより、実績額が大きくなりました。

- ・ **子ども未来基金事業**

ふるさと納税による子ども未来基金への積立が、見込みより減額となったため、実績額が小さくなりました。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移																								
子育て支援サービス利用者数	↗	人	<table border="1"> <caption>子育て支援サービス利用者数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>70,179</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>76,691</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>80,233</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>79,779</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>82,211</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>-</td> <td>74,000</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>-</td> <td>77,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	70,179	-	H27	76,691	-	H28	80,233	-	H29	79,779	-	H30	82,211	-	R1	-	74,000	R6	-	77,000
年度	実績値	目標値																									
当初値	70,179	-																									
H27	76,691	-																									
H28	80,233	-																									
H29	79,779	-																									
H30	82,211	-																									
R1	-	74,000																									
R6	-	77,000																									
まちづくり評価アンケート調査「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合	↘	%	<table border="1"> <caption>子育てをつらいと感じている親の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>19.2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>22.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>24.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>30.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>24.7</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>-</td> <td>14.5</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>-</td> <td>10.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	19.2	-	H27	22.0	-	H28	24.0	-	H29	30.0	-	H30	24.7	-	R1	-	14.5	R6	-	10.0
年度	実績値	目標値																									
当初値	19.2	-																									
H27	22.0	-																									
H28	24.0	-																									
H29	30.0	-																									
H30	24.7	-																									
R1	-	14.5																									
R6	-	10.0																									
まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合	↗	%	<table border="1"> <caption>支援策・支援活動が充実していると感じる市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>17.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>13.3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>15.2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>16.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>19.9</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>-</td> <td>40.0</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>-</td> <td>50.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	17.0	-	H27	13.3	-	H28	15.2	-	H29	16.0	-	H30	19.9	-	R1	-	40.0	R6	-	50.0
年度	実績値	目標値																									
当初値	17.0	-																									
H27	13.3	-																									
H28	15.2	-																									
H29	16.0	-																									
H30	19.9	-																									
R1	-	40.0																									
R6	-	50.0																									

- ・ **子育て支援サービス利用者数／◎ 非常に順調に進捗**

子育て支援サービス利用者数は、平成27年度以降、令和元年度の目標値を上回っており、また、年度によって増減はあるものの全体として増加傾向にあります。

平成29年度に開設した、もりおか子育て応援プラザ^{マモール}の利用者数が、周知が進んだことなどにより増加している（平成29年度/7,150人 → 平成30年度/10,230人）ことが要因のひとつと考えられます。

- ・ **「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合／△ 遅れが生じている**

まちづくり評価アンケート「子育てをつらいと感じている」割合は、平成25年度以降増加傾向にあったが、平成30年度に初めて減少に転じました。

平成30年度に開設した「子ども家庭総合支援センター」などの取組の成果であると考えられますが、依然として令和元年度目標値とは差がある状況であり、また、児童虐待相談や養育相談なども増加傾向にあることから、引き続きの対策の強化が必要です。

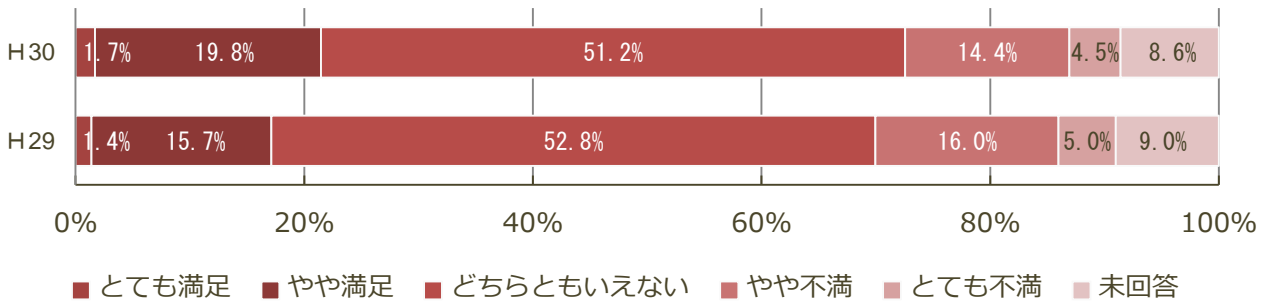
- ・ **「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合**

／△ 遅れが生じている

平成27年度以降微増傾向にあり、待機児童対策緊急プロジェクトや子ども未来基金を活用した子ども・子育て支援活動への補助など、多方面に渡る子育て支援事業の展開の効果の現れと考えますが、依然として、令和元年度目標値とは差がある状況であり、引き続き、取組及び周知の強化が必要です。

■ 施策に対する市民の実感

「安心して産み・育てられる子育て支援の取組が充実している」と感じる市民の割合



■ 現状の成果，問題点と今後の方向性

保育環境の充実

（現状の成果，問題点）

4月1日時点の待機児童数は0人となりましたが、産休明けや転入者などにより、年度途中で待機児童が発生する状況にあります。また、保育所定員の拡大に伴い保育士が必要となりますが、保育士が見つかりにくく、確保が難しい状況となっています。

（今後の方向性）

地域ごとの待機児童の現状を把握しながら、施設整備や保育所定員の弾力化などへの支援を引き続き行います。また、保育士確保対策については、従来からの支援策に加え、今年度から若手保育士の処遇改善を支援する補助事業を新たに実施するなど様々な支援策を講じていることから、事業効果を分析するとともに、保育関係者から意見を伺いながら、引き続き効果的な対策を検討します。

育児不安の軽減

（現状の成果，問題点）

まちづくり評価アンケート「子育てをつらいと感じている」割合が減少に転じたものの、依然として高い水準にあります。

子ども未来基金が持続可能なものとなるよう、更なる寄附を募っていく必要があります。

地域子育て支援拠点の取組を充実させるとともに、周知を強化していく必要があります。

虐待等の相談件数が増加しており、子ども家庭総合支援センターの取組を強化していく必要があります。

（今後の方向性）

「子ども未来基金事業」において、子ども未来基金を活用した子ども・子育て支援活動の発表の場などを通じ、子ども未来基金の周知を図るとともに、クラウドファンディング等を活用しながら、更なる寄附募集に努めます。

子どもが増加し、支援ニーズが高まっている盛南地区につどいの広場を新設するとともに、これまでN a n a k内にあった「にっこ」の新盛岡バスセンターへの移転を検討します。

「子ども家庭総合支援センター」において、相談体制の充実・強化を検討します。

支援体制の充実

（現状の成果，問題点）

医療費給付事業において、子どもの医療費助成を平成30年4月から中学生まで拡大しました。また、自己負担額の全額無料化を望む声がありますが、そのためには継続的に多額の経費を要することが課題となっています。

医療費給付事業の給付方式を現物給付方式とすることによって、国民健康保険療養費等国庫負担金の減額措置があり、国保財政に負担が生じます。

（今後の方向性）

令和元年8月から、未就学児の全額無料化を開始するほか、県内市町村が統一して小学生までの現物給付化を開始します。

小学生現物給付化によるペナルティについては、県が1/2を補助することになりましたが、国民健康保険療養費等国庫負担金の減額措置の廃止について、継続して国に働きかけます。

現物給付の対象年齢を中学生まで拡大することを県に要請します。

母子保健・予防の推進

（現状の成果、問題点）

妊産婦健康診査や乳幼児健康診査の受診率は高い水準を維持し、適時、保健指導を実施することにより、健康の保持増進が図られました。

平成30年6月より、産婦健康診査と産後ケア（訪問型）を開始し、医療機関等と連携した保健指導ができました。産後ケア事業の周知には努めていますが、より一層、医療機関等との連携による周知が必要です。

平成30年度は精神発達専門員の不在により、幼児健康診査において、健診会場またはその後の心理相談が十分にできませんでした。

（今後の方向性）

母子健康手帳交付時に妊産婦健康診査の重要性を説明し、受診勧奨を継続します。

医療機関と連携し、産後ケア（訪問型）についての周知を図ります。また、デイサービス型や宿泊型の産後ケアについて、実施に向けて、医療機関や広域市町と情報収集や意見交換を行います。

精神発達専門員の常駐により、来所にて行う幼児健康診査においては健診会場で心理相談を実施し、保健指導の充実を図ります。

困難を抱えた子ども・若者の支援

（現状の成果、問題点）

不登校、引きこもりなど、困難を抱えた子ども・若者は増加傾向にあると認められますが、子ども・若者に関する相談件数は未だ少ない状況にあります。

（今後の方向性）

子ども家庭総合支援センター等の関係部署と連携し、積極的に訪問活動を行うなど相談対応を強化します。

令和元年度は、市子ども・若者育成支援計画の中間見直しの時期に当たることから、関係機関等の意見を聴きながら、重要度や深刻度が増している課題への取組強化策等を計画に盛り込みます。

児童・青少年の健全育成

（現状の成果、問題点）

困難や悩みを抱える少年の現状が見えにくくなり、インターネット利用から犯罪に巻き込まれる事案も増加しています。

（今後の方向性）

出前講座の開催などにより、インターネット利用の弊害について普及啓発を図ります。

子ども家庭総合支援センター及び青少年相談員との連携を図り、相談体制を強化します。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

子育て施設サービス利用者数については順調に増加しており、今後も増加が図られるように周知していきます。今後も、まちづくり評価アンケートの数値を、目標値に少しでも近づけるよう子育て施策の充実を図ります。

施策3 高齢者福祉の充実

高齢者が健康で生きがいを持ち、安心して暮らすことができる長寿社会の実現を目指し、高齢者の社会参加を促進するとともに、介護予防や認知症対策などを推進するほか、介護サービス提供体制を強化するなど、高齢者福祉の充実を図ります。

■ 主要事業の実績

平成29年度から介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型サービス、通所型サービス、介護予防普及啓発事業、地域介護予防活動支援事業）に取り組んでおり、事業の周知を図り、利用者数の増加につなげました。

また、地域包括支援センターを市内9か所に設置し、年間約1万7千件の多種多様な相談へ対応し、相談者を必要なサービスにつなぐなど、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができるよう「地域包括ケアシステム」の構築に努めました。

生きがい活動を支援する「老人福祉センター管理運営事業（28施設）」、「老人クラブ活動促進事業」、「もりおか老人大学開催事業」等を通じ、高齢者の社会参加を促進しました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
地域包括ケアシステム構築事業 (地域支援事業)	介護		介護予防事業、地域包括支援センターの運営など	998	872	0
生きがい活動推進事業	一般		老人作品展・老人芸能大会等の支援、敬老バスの運行、スポーツ振興など	30	28	0
介護保険事業（繰出金）	一般		介護保険特別会計への一般会計繰出金	3,611	3,542	0
介護保険事業（施設整備）	一般		老人福祉施設整備に対する補助	203	37	70
介護保険事業（特別会計）	介護		介護保険制度の周知、介護保険サービスの運用など	24,358	24,191	0
施策の計（一般会計）				3,844	3,607	70
施策の計（一般会計以外）				25,356	25,062	0

- ・ **地域包括ケアシステム構築事業（地域支援事業）**
通所型サービス等の対象者が想定していた人数より少なかったため、実績額が小さくなりました。
- ・ **介護保険事業（施設整備）**
地域密着型サービス施設等の整備に関し、一部の種別に応募がなかったこと及び選定候補者1者の辞退があったことにより、実績額が小さくなりました。
- ・ **介護保険事業（特別会計）**
見込額と実際の給付費に差が生じたため、実績額が小さくなりました。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
75歳介護保険認定者数／75歳人口*	→	%	
まちづくり評価アンケート調査「生きがいを持って暮らしている」と答えた高齢者の割合	↑	%	

* 「75歳介護保険認定者数／75歳人口」は27年度から新たに設定した指標です。当初値は26年度の実績値としています。

・ 75歳介護保険認定者数／75歳人口／○ 順調に進捗

目標値前後で推移していますが、要因としては、医療の進歩、食生活の向上や健康に対する高齢者の意識の変化等により健康寿命が延び、元気な高齢者の割合が維持されていることが考えられます。

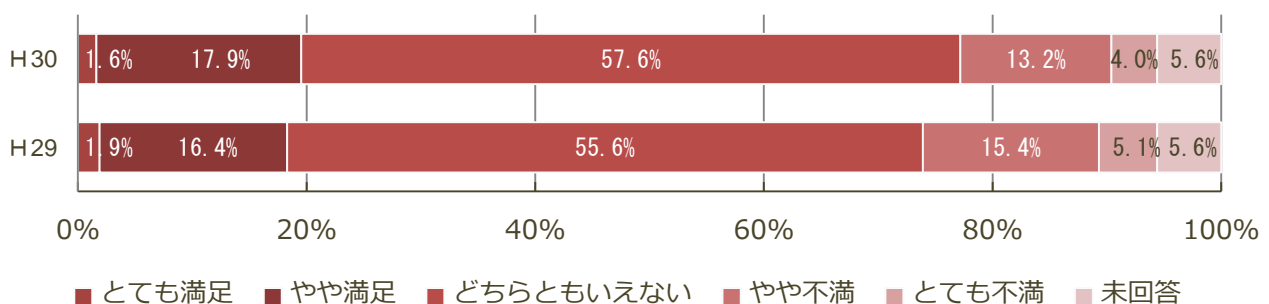
・ 「生きがいを持って暮らしている」と答えた高齢者の割合／○ 順調に進捗

目標値を下回っているものの、平成29年度から30年度は5.3ポイント上昇しており、継続している元気はなまる教室の開催や平成29年度から実施している介護予防・日常生活支援総合事業に加え、平成30年度からシルバーリハビリ体操推進事業に着手したことなどが効果があるものと考えられます。

しかし、依然として目標値を下回っていることから、高齢者の身近な地域における住民主体の通いの場を増やし、目標達成に向けた取組が必要です。

■ 施策に対する市民の実感

「高齢者が積極的に社会参加できる取組や高齢者福祉サービスが充実している」と感じる市民の割合



■ 現状の成果、問題点と今後の方向性

地域包括ケアシステムの構築

（現状の成果、問題点）

地域包括支援センターへの相談件数が、平成27年度の14,795件から平成30年度は17,070件となり、相談機関周知の効果が表れています。一方で、住民アンケートによると地域包括支援センターの認知度は50%以下と低いものの、高齢者人口が増加している中で地域包括支援センターの業務負担が過大との指摘もあり、認知度を上げることにより地域包括支援センターの業務量が更に過大となる懸念されます。

（今後の方向性）

今後も更に地域包括支援センターの周知を行なうとともに、高齢者が相談しやすい環境づくりに努めます。また、生活支援コーディネーター（兼）認知症地域支援推進員が十分に機能することで地域包括ケアシステムの構築につなげます。

高齢者の健康・生きがい対策の充実

（現状の成果，問題点）

生きがい活動をしている高齢者数が、平成28年度は232,657人、平成29年度は238,165人、平成30年度は237,799人となり、前年度と比較すると微減となっております。今後、生きがい活動の場を増やすには、地域での担い手を増やす必要があります。

（今後の方向性）

シルバーリハビリ体操の指導者の養成をすすめるなど、担い手となる高齢者が増加するような事業を継続します。

高齢者福祉サービスの充実

（現状の成果，問題点）

「介護予防訪問介護」と「介護予防通所介護」の介護予防・日常生活支援総合事業への移行により、利用数が平成29年度は27,188人、平成30年度は39,347人と増加しています。介護サービス利用者が増加傾向にある中で、介護職員の人材不足が深刻化しています。

（今後の方向性）

サービス利用者が安定した介護サービスを受けられるよう、介護従事者確保事業の拡充を行います。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

高齢者人口が急速に増加する中、特に団塊世代の高齢化に対応するためにも、高齢者が元気に安心して生活できる環境の構築が必要となっており、健康寿命の延伸には介護予防施策の充実が必要であるほか、認知症対策の中では、成年後見制度について、専門の相談機関の必要性が高まっており、専門機関設置について検討しています。

また、介護サービス提供体制を支える担い手の不足が顕著なものとなっており、国の施策とともに、市としての具体的な取組が求められています。

施策4 健康づくり・医療の充実

生涯にわたり健やかに暮らすことができるように、健康相談や健康診査などを実施するとともに、医療体制の拡充や医療費を助成するなど、健康づくりと医療の充実を図ります。

■ 主要事業の実績

胃がん個別検診については、胃がんエックス線と内視鏡検診の選択を導入し、内視鏡検診の選択者が増加傾向にあることから、より正確な検診結果となり、早期治療へとつなぐことができました。

盛岡市医師会及び盛岡市歯科医師会へ在宅当番医の業務を委託するとともに、夜間の初期救急医療体制（内科・小児科）を年中無休で運営することにより、初期救急医療体制の充実を図りました。

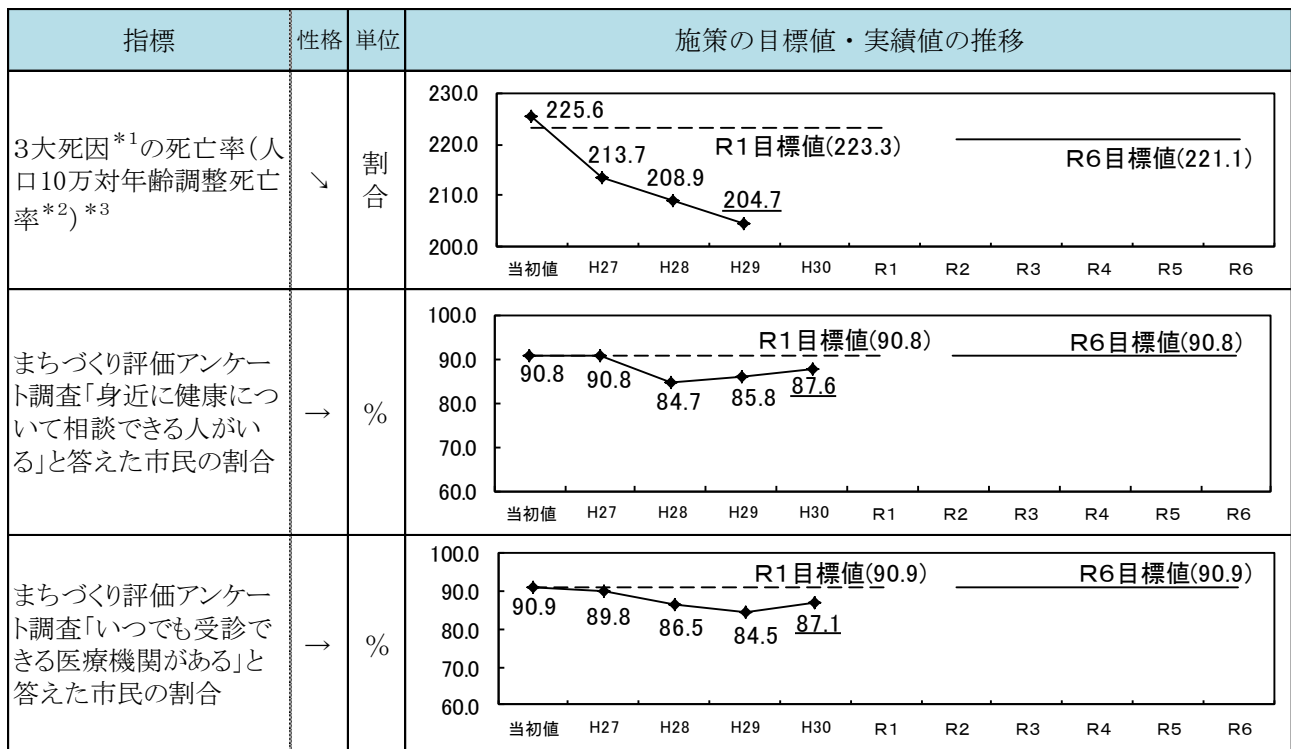
(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
各種健康診査事業	一般	★	女性健康診査や各種がん検診など	461	497	0
健康教育事業	一般	★	保健所フェスタ健康講座，ウォーキング教室，地区健康教室，病態別栄養教室などの開催	1	1	0
精神保健福祉事業	一般		こころの健康についての保健相談，自殺対策強化など	4	4	0
予防接種事業	一般		インフルエンザなどの各種予防接種	778	787	0
感染症対策事業	一般		感染症に関する検診や予防対策の周知など	24	33	0
食品衛生指導事業	一般		食品営業施設の監査指導や食品営業許可など	7	7	0
生活衛生指導事業	一般		公衆浴場に対する営業許可や井戸水の検査など	1	1	0
医務業務指導事業	一般		医療施設の開設許可や医薬品販売業などの許可・登録，病院への立入検査	1	1	0
第二次救急医療事業	一般	★	休日，夜間などに入院治療を必要とする重症救急患者を輪番制で診療する病院への運営費補助	60	59	0
在宅当番医制事業	一般		休日などに開院する内科，小児科，外科・整形外科，歯科の在宅当番医による診療	8	8	0
夜間急患診療所管理運営事業	一般		夜間の初期救急患者のための内科，小児科の診療（年中無休）	70	70	0
国民健康保険事業（繰出金）	一般		国民健康保険費特別会計への一般会計繰出金	1,888	1,826	0
国民健康保険事業（特別会計）	国保		国民健康保険の被保険者への保険給付，人間ドック等の保健事業など	25,511	26,702	0
後期高齢者医療事業（繰出金など）	一般		医療給付に要する費用，健康診査等助成及び特別会計への一般会計繰出金など	3,297	3,290	0
後期高齢者医療事業（特別会計）	後期高齢		申請受付，保険料の徴収及び保険基盤安定負担金を含む広域連合納付金など	3,067	3,068	0
施策の計（一般会計）				6,601	6,585	0
施策の計（一般会計以外）				28,578	29,771	0

・ 国民健康保険事業（特別会計）

医療の高度化，被保険者の高齢層の増加等の影響により，保険給付費が増加したため，実績額が大きくなりました。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況



*1 3大死因

悪性新生物, 心疾患, 脳血管疾患のことです。

*2 年齢調整死亡率

人口構成の異なる集団間で比較するために, 死亡率を一定の基準人口にあてはめて算出した指標です。

*3 平成30年度の実績値は, 令和2年3月に公表予定です。

・ 3大死因の死亡率(人口10万対年齢調整死亡率) / ◎ 非常に順調に進捗

がん検診の受診率は横ばい傾向であるが, 医療機関の充実や医療の進化等により死亡率は減少傾向にあるものと考えます。

・ 「身近に健康について相談できる人がいる」と答えた市民の割合 / ○ 順調に進捗

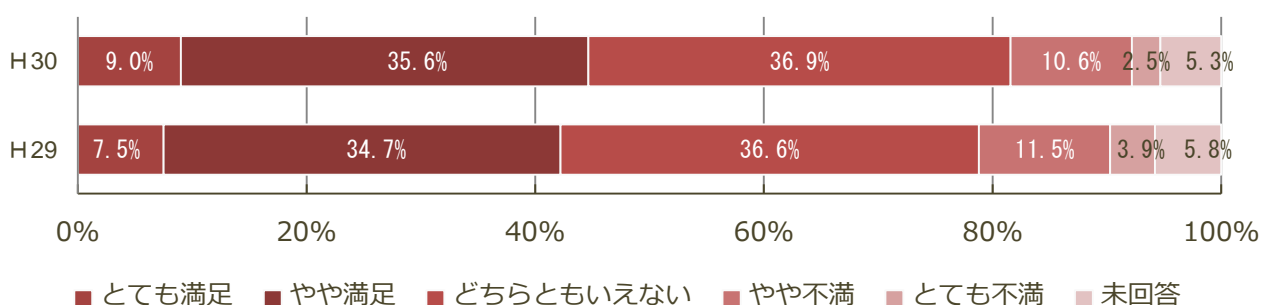
健康フェスタの会場を市民が集まりやすい場所に変更したことや, 講座等のネーミング, 開催時期などを工夫したことにより, 健康教育参加者数が増加し, その講座等の中で相談窓口を周知するなどしたことが評価につながったと考えられます。また, 自殺対策事業として, 教育・福祉関係者等を対象としてゲートキーパー研修を実施しており, 受講者がゲートキーパーとなって周りの人の悩みを傾聴することにより, こころの健康づくりにつながっているものと考えられます。

・ 「いつでも受診できる医療機関がある」と答えた市民の割合 / ○ 順調に進捗

在宅当番医制事業や夜間急患診療所運営事業による初期救急医療体制, 二次救急医療事業や小児救急輪番制病院事業による重症救急患者の診療体制を継続していることで, 24時間, 365日受診できる医療体制にあることが市民に認知されてきたのではないかと推測されます。

■ 施策に対する市民の実感

「健康診断や予防接種, 健康相談がしやすい」と感じる市民の割合



■ 現状の成果，問題点と今後の方向性

健康の保持増進

（現状の成果，問題点）

3大死亡率の推移は当初値から減少傾向で推移し，身近に相談できる人やいつでも受診できる医療機関があると回答した割合は増加しています。しかしながら，各種検診の受診率が向上しません。

（今後の方向性）

誰もが，地域健康福祉の活動に取り組みやすく，また，的確な支援が受けることができる地域を目指すため，地域の相談役や各専門機関と連携を深め，相談窓口の周知と漏れのない相談体制を整えます。また，各種検診の受診率の向上のため，対象者への周知に努めるほか，周知方法等について検討していきます。

保健・予防の推進

（現状の成果，問題点）

結核罹患率が低下傾向にあり，全国平均を下回っていますが，結核患者に占める高齢者の割合が増加傾向にあります。乳幼児予防接種の接種率が高い水準を維持し，高齢者の予防接種のうち，肺炎球菌予防接種の接種率が上昇を続けています。

接種期間内での予防接種を受け忘れている人がいます。

（今後の方向性）

感染症対策や予防接種について，市民への周知・啓発及び対象者への個別通知等を継続して実施するとともに，結核検診の要精密検査対象者へ受診勧奨を行うなどにより，感染症の拡大防止及び予防接種の接種率向上を図ります。

生活衛生対策の推進

（現状の成果，問題点）

食品関係事業者等の衛生意識の向上の結果，不良食品苦情件数は67件と，前年度の64件から3件の増加に留まり，低い水準で維持できています。

監視対象施設が約9,500件と多く，すべての施設の監視が困難となっています。

（今後の方向性）

重点監視対象施設を中心に，引き続き計画的に監視指導を実施します。

改正食品衛生法の施行を見据え，監視対象施設の見直しを検討します。

収去検査及び検査結果に応じた衛生指導を継続します。

食品事業者等への監視指導及び衛生講習による食品衛生の普及啓発を継続します。

医療機関との連携強化

（現状の成果，問題点）

まちづくり評価アンケート調査において「身近に健康について相談できる人がいる」，「いつでも身近に受診できる医療機関がある」と応えた市民の割合が80%以上と高い水準です。

令和元年9月の岩手医科大学附属病院の矢巾移転後，二次救急医療機関に患者が集中することが想定されます。また，盛岡市夜間急患診療所の利用者が増加すると想定されます。

（今後の方向性）

市民にとって安心して受診できる医療機関を継続して確保します。

岩手医科大学附属病院の矢巾移転に伴い，広域8市町で適正受診の周知をします。

夜間急患診療所受診者の増加状況に応じ，医療従事者の増員など受け入れ態勢の強化を図ります。

健康保険制度の健全運営

（現状の成果，問題点）

保険税収納率は平成30年度実績値91.5%となり，22年ぶりに91%台に到達しました。保険税収納率は目標値を超えているものの，一人当たりの療養諸費費用額が増加傾向にあるほか，収支の均衡を図るため，保有している国民健康保険事業財政調整基金を取り崩している状況です。

（今後の方向性）

安定的な税収確保のため，現年度保険税における滞納処分への早期着手を推進します。

医療費抑制に向けた施策の充実（第三者求償事務への取組強化，糖尿病等の重症化予防に向けた訪問保健指導・健康教室等の充実，特定保健指導実施率向上，AIを活用した特定健康診査受診勧奨の実施）を図ります。

年金情報を活用した国保資格の適正化の推進による未納調定の縮減を図ります。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

健康の維持・予防においては，病気の早期発見・早期治療のための健診受診率の向上がさらに求められます。また，生活習慣病予防や介護予防等，将来安定したQOL（生活の質）の向上を獲得するため，市民が気軽に参加できる健康教育・健康相談等の実施や健康づくりをサポートする関係機関等と連携を図りながら，市民自らが主体的に健康づくりに取り組む環境づくりを進め，健康寿命の延伸を図る必要があります。

医療機関との連携においては，救急医療機関の適切な利用と「かかりつけ医」を持つという意識の醸成を図ることを促す必要があります。

医療保険制度の充実においては，多重・頻回受診者への訪問指導，特定健康診査・特定保健指導の受診及び実施率向上を図るとともに，健康診査等を通じた病気の早期発見・予防を推進し，医療費抑制に向けた施策の充実に取り組む必要があります。

施策5 障がい者福祉の充実

障がい者が地域の一員として安心して暮らすことができるように、障がいや障がい者への市民の理解と交流を促進するとともに、障がい者福祉サービスの充実を図ります。

■ 主要事業の実績

障がい福祉サービス受給者は3,266人となり、平成25年度と比べて1.33倍に増加しました。また、平成29年4月から盛岡市基幹相談支援センターを設置し、平成30年度の実績は、障がい者からの相談1,266件、相談支援事業者に対する助言64件、相談支援事業者以外の関係機関からの相談171件あり、相談支援体制の充実を図りました。

施設整備については、就労継続支援B型事業所の増築とスプリンクラー設置の事業費に対し助成を行いました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
地域生活支援事業	一般		意思疎通支援, 日常生活支援, 移動支援, 地域活動支援センター機能強化など	242	244	0
障がい者相談支援事業	一般		身体・知的・精神に係る相談事業, 福祉サービスなどに関する情報提供, 基幹相談支援センター業務委託	35	35	0
障がい者福祉施設整備助成事業	一般		障がい者福祉施設整備に対する助成	52	49	0
介護給付等給付事業	一般		障がい者に対する居宅介護や生活介護, 施設入所支援などのサービス給付	3,016	3,147	0
訓練等給付事業	一般		障がい者の機能訓練, 生活訓練, 就労支援など	2,240	2,283	0
医療費給付事業(重度心身障がい者)	一般		重度心身障がい者医療費給付	720	724	0
医療費給付事業(中度身体障がい者)	一般		中度身体障がい者医療費給付	207	207	0
施策の計(一般会計)				6,512	6,688	0

・ 介護給付等給付事業, 訓練等給付事業

利用者の増加に伴い, 給付金額が計画額を上回ったため, 実績額が大きくなりました。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移																																				
障がい福祉サービス受給者数	↑	人	<table border="1"> <caption>障がい福祉サービス受給者数</caption> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>2,460</td><td>2,780</td><td>2,969</td><td>3,102</td><td>3,266</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><th>目標値</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3,300</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4,100</td></tr> </table>	年度	当初値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	実績値	2,460	2,780	2,969	3,102	3,266							目標値						3,300					4,100
年度	当初値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																												
実績値	2,460	2,780	2,969	3,102	3,266																																		
目標値						3,300					4,100																												
施設から地域への移行*	↑	人	<table border="1"> <caption>施設から地域への移行*</caption> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>96</td><td>114</td><td>134</td><td>144</td><td>150</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><th>目標値</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>150</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>195</td></tr> </table>	年度	当初値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	実績値	96	114	134	144	150							目標値						150					195
年度	当初値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																												
実績値	96	114	134	144	150																																		
目標値						150					195																												
施設から一般就労への移行	↑	人	<table border="1"> <caption>施設から一般就労への移行</caption> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>18</td><td>45</td><td>44</td><td>51</td><td>64</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><th>目標値</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>19</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>19</td></tr> </table>	年度	当初値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	実績値	18	45	44	51	64							目標値						19					19
年度	当初値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																												
実績値	18	45	44	51	64																																		
目標値						19					19																												
管内事業所の障がい者雇用率	↑	%	<table border="1"> <caption>管内事業所の障がい者雇用率</caption> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>1.74</td><td>1.83</td><td>1.95</td><td>2.12</td><td>2.10</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><th>目標値</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2.00</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2.00</td></tr> </table>	年度	当初値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	実績値	1.74	1.83	1.95	2.12	2.10							目標値						2.00					2.00
年度	当初値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																												
実績値	1.74	1.83	1.95	2.12	2.10																																		
目標値						2.00					2.00																												

* 国の目標値に合わせ、障害者施設からの地域移行者数としています。

・ 障がい福祉サービス受給者数／○ 順調に進捗

障がい福祉サービス受給者は、上昇傾向で推移し、平成30年度で3,266人となり、ほぼ計画値となりました。理由としては、サービスを提供する事業所が増えていることが要因と考えられます。

特にも、就労継続支援A型及びB型の事業所は、平成29年度54事業所が平成30年度には58事業所となり、4事業所が増加、利用定員では60人増加しています。

・ 施設から地域への移行／◎ 非常に順調に進捗

平成30年度にグループホームが2箇所（15名定員）増えていることが、移行者の増加につながったものと考えます。一方、障がい者の高齢化・重度化により、施設入所支援のニーズはあり、身体障がい者施設の待機者（令和元年6月現在20人）がいる状況が続いています。

・ 施設から一般就労への移行／◎ 非常に順調に進捗

障がい者雇用の法定雇用率は、平成30年度から、民間企業では2.0%から2.2%、国や地方公共団体では2.3%から2.5%と引き上げになったことが、一般就労への移行の底上げにつながった要因のひとつと考えられます。

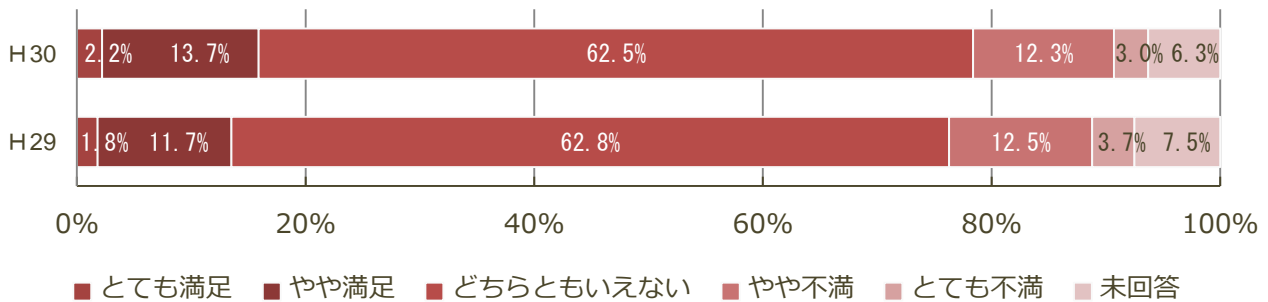
一方、別調査では年度内に2割が離職しているという結果もあり、就労を継続するための支援が必要となっています。

・ 管内事業所の障がい者雇用率／◎ 非常に順調に進捗

ハローワーク盛岡管内の実雇用率は、平成29年度から0.02%減少したものの、計画値を超えた状態を維持しています。

■ 施策に対する市民の実感

「障がい者が安心して暮らすことができるまちづくりや障がい福祉サービスが充実している」と感じる市民の割合



■ 現状の成果、問題点と今後の方向性

障がい者への理解と交流の促進

（現状の成果、問題点）

障がい者スポーツ大会でボランティアの人数が増加（対前年比121.6%）し、障がい者と交流した人が増えました。一方で、まちづくり評価アンケート調査で「障がいや障がい者について知っている」と回答した市民の割合は41.8%で前年度と横ばいとなっています。

（今後の方向性）

障がい者スポーツ大会や芸術文化祭などの催事を工夫するなどし、障がい者と市民との交流を進めます。また、障がい者への理解を得られるように関係団体からの意見を参考にし、広く市民への周知活動を行います。

障がい者福祉サービスの充実

（現状の成果、問題点）

障がい者福祉サービス受給者数が順調に増加傾向で推移し、ほぼ計画値に到達しました。就労継続支援A型事業所における利用者の生産活動が賃金を支払える水準に達していないため、市から事業所に支払われる報酬を利用者の賃金に充てている場合があります。

（今後の方向性）

引き続き事業所への指導監督を強化します。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

障がい者がサービスを受ける環境や働く環境は良好に推移しているが、障害者差別解消法について、一般市民の理解が横ばい傾向にあることから、同法の周知を推進する必要があります。また、医療的ケアが必要な在宅の重症心身障がい児（者）が利用できるサービスの提供体制について、引き続き関係機関と協議を進めていく必要があります。

施策6 生活困窮者への支援

生活困窮者が自立し安定した暮らしができるように、生活保護制度や生活困窮者自立支援制度などによる支援を推進します。

■ 主要事業の実績

生活保護受給者を対象とした就労支援事業において、ハローワークと連携した就職による経済的自立の実現、求職活動へのステップアップ、社会参加を促す職場体験といった対象者の状況に応じた支援を行いました。平成27年度に開始した生活困窮者自立支援制度において、「盛岡市くらしの相談支援室」による自立相談支援事業のほか、就労準備支援事業、学習支援事業など、生活困窮者に対し「第2のセーフティネット」として、生活保護に至る前の段階から支援を行いました。

また、庁内関係部局の相互の連携を図り、生活困窮者に対する効果的な支援を実施することを目的として、生活困窮者自立支援庁内連携会議を設置しました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
生活保護事業	一般		生活困窮者への生活扶助費、住宅扶助費、教育扶助費、医療扶助費などの支給	7,309	7,276	0
生活困窮者自立支援事業	一般		生活困窮者の就労、住宅確保、学習等の支援及び自立に関する相談支援など	59	57	0
医療費給付事業（ひとり親家庭）	一般		ひとり親家庭等医療費給付	141	137	0
医療費給付事業（寡婦・寡夫）	一般		寡婦・寡夫医療費給付	62	59	0
公営住宅整備事業	一般		（仮称）青山二丁目アパート新2号館の建設工事、（仮称）青山三丁目アパート新5号館建設に係る実施設計業務委託及び既存市営住宅の改修工事など	1,232	503	608
施策の計（一般会計）				8,803	8,033	608

・ 公営住宅整備事業

工事の実施状況を要因とした翌年度への繰越及び入札差金等により、実績額が小さくなりました。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
生活保護受給世帯から自立した世帯の割合(死亡・移管・失踪などを除く)	↑	%	
生活困窮者の自立支援相談の解決率*	→	%	

* 平成27年度から新たに設定した指標です。生活困窮者自立支援法の施行(27年4月)に伴い実施する事業において実績を把握するため、当初値は表示していません。目標値については、類似事業の実績値を基に設定しています。

・ **生活保護受給世帯から自立した世帯の割合／○ 順調に進捗**

勤労収入の増加による保護廃止は、就労支援事業による就職の実現、生活福祉第一・第二課に隣接した常設窓口「ハローワーク盛岡就労支援コーナー」の活用、経済情勢の好転による求人の増大などが要因と考えられます。

平成30年度は前年度の88件から77件に減りましたが、引き取り扶養など、他の自立要因による保護廃止も合わせて当初値よりも高い割合を維持しています。

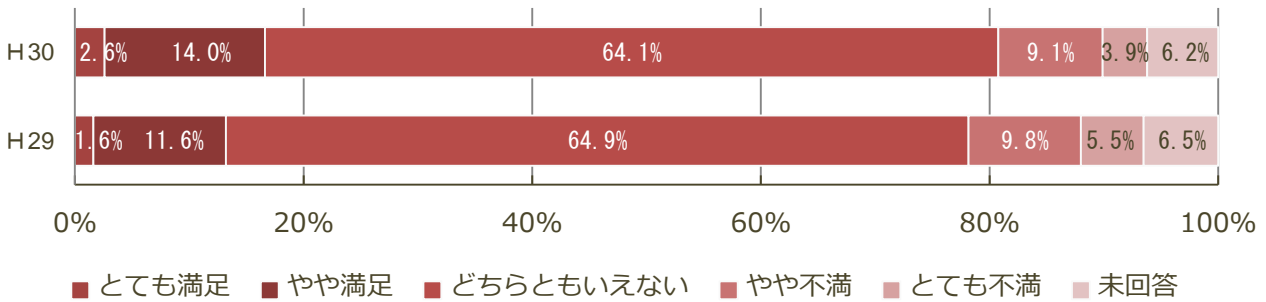
・ **生活困窮者の自立支援相談の解決率／◎ 非常に順調に進捗**

「盛岡くらしの相談支援室」における自立支援相談の解決件数が、現年度、過年度分を合わせ、385件となっており、目標値を上回った解決率（当該年度の新規相談件数と過年度分の繰越件数の合計に対する当該年度の解決件数の割合）を維持しています。

学習支援事業において、生活困窮世帯を対象とした学習会を開催していますが、参加者数が実人員で前年度の70人から71人と維持しており、貧困の連鎖の防止に一定の成果を上げています。

■ **施策に対する市民の実感**

「生活保護や医療助成などの生活の自立を支援する取組が行われている」と感じる市民の割合



■ **現状の成果、問題点と今後の方向性**

生活困窮者の自立支援

（現状の成果、問題点）

生活困窮者自立支援制度で対応している相談者の解決率が目標値を上回っています。一方で、相談者の抱える問題が複雑なものが多くなり、単年度で相談終了となる事例が減少し、全体の支援件数が高止まりしたまま横ばい状態となり、十分なアウトリーチが困難となっています。

（今後の方向性）

生活保護受給者を対象とした就労支援事業については、引き続きハローワークと連携して事業の充実を図ります。

生活困窮者自立支援制度に基づく各事業については、関係機関との連携は基より、庁内関係課の連携を強化し、効果的な支援体制を構築します。また、生活困窮者のより多くの新規相談に対応し、かつ解決率を上げるために家計に関する問題について助言・指導を行う家計改善支援事業の新規実施を検討します。

安定した生活の確保

（現状の成果、問題点）

市営住宅の建替やリフォームの実施により、良質な住宅に改善しましたが、既存市営住宅の建て替えに伴い、解体撤去を予定する建物や維持管理状況が不良な住戸への入居募集を行なっていないことから入居率が上昇しておらず、ほぼ横ばいです。

（今後の方向性）

改修対象となっている建物の経年劣化等の状況を詳細に調査し、効率的な改修工事を実施します。維持補修状態が不良な住戸の修繕を積極的に実施し、入居募集戸数を増やし、入居率を上昇させます。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

生活困窮者自立相談支援事業は事業開始から4年目を迎えたが、解決が困難な支援対象者数が増加傾向にあり、抱える相談ケースは、新規ケース（現年度分）より継続ケース（過年度分）が多くなっており、問題解決には一定程度の時間が必要なことが伺われ、生活困窮者支援の関係機関と庁内関係部局の連携の強化によるチーム支援により迅速かつ包括的な支援体制の構築に取り組んでいく必要があります。

施策7 人権尊重・男女共同参画の推進

お互いを理解しながら個人が尊重される社会を実現するため、人権尊重の精神と平和の尊さの意識啓発に取り組むとともに、男女が、均等に利益を享受し、責任も分かち合いながら、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画を推進します。

■ 主要事業の実績

原爆写真パネル展の開催により、多くの市民に戦争の悲惨さ、核兵器の恐ろしさ、そして平和の尊さを啓発することができました。

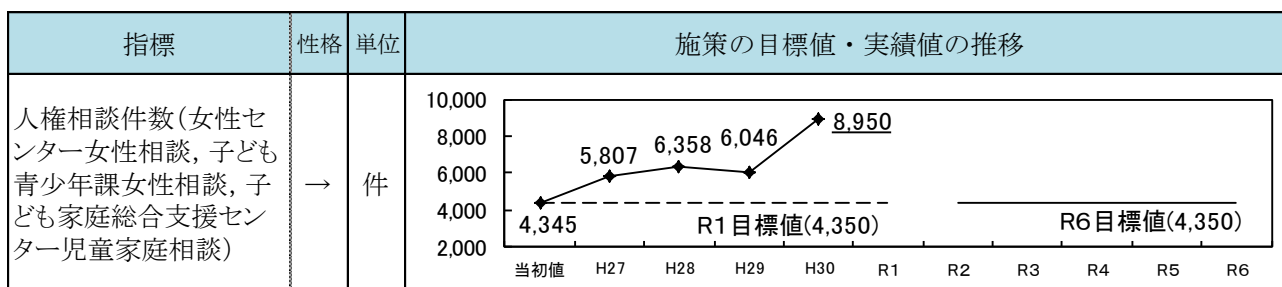
盛岡人権擁護委員協議会への事業補助金により、同協議会の円滑な運営が図られたほか、多くの市民に対し、各種人権啓発活動による人権擁護思想の普及や人権相談による人権擁護活動が行われました。

女性センターや子ども青少年課での女性相談等により、様々な問題を抱えた相談に対応し、主体的な問題解決を促進しながら、適切な助言や支援を行いました。同センターの「起業応援ルーム芽でるネット」により、起業や就労人数が増えており、着実に成果に結びついています。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
人権擁護事務	一般		人権の花運動、幼稚園・保育園での人権啓発事業、盛岡人権擁護委員協議会活動補助	1	1	0
男女共同参画意識啓発事業	一般		男女共同参画意識を高めるために、情報紙「あの・なはん」の作成や男女共同参画に資する人材を育成するための講座の開催など	1	1	0
配偶者等暴力防止事業	一般		DV相談、支援及び被害を予防するための啓発など	3	3	0
施策の計（一般会計）				4	4	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況



・ 人権相談件数（女性センター女性相談、子ども青少年課女性相談、子ども家庭総合支援センター児童家庭相談）／◎ 非常に順調に進捗

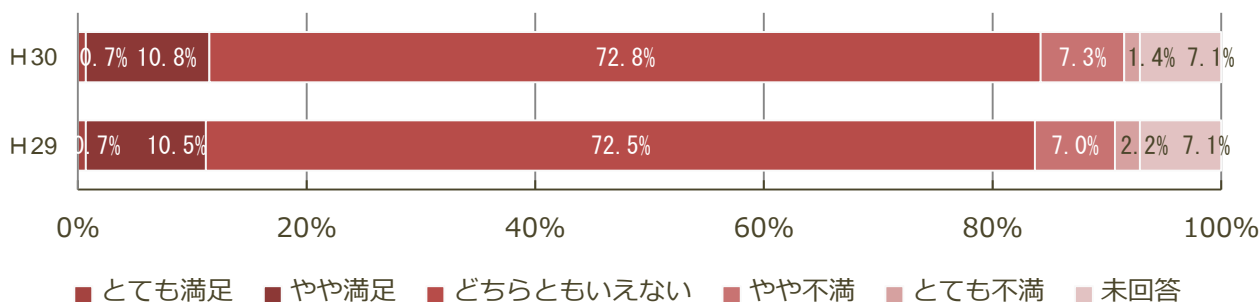
平成30年度に子ども家庭総合支援センターを開設したことにより、児童家庭相談件数が大幅に増加しました。また、女性相談などの新規相談件数は減少傾向にあります。相談件数は高めに推移しています。

相談件数が高めに推移しているのは、市民へ継続した意識啓発（街頭キャンペーンなど）や広報記事により相談窓口の周知が進んだものと考えられます。

相談内容が、児童虐待や精神障害などが絡み複雑化・多様化・長期化する状況にあることから、引き続き、関係機関等と連携した支援が必要です。

■ 施策に対する市民の実感

「男女共同参画社会の推進や人権問題への取組が行われている」と感じる市民の割合



■ 現状の成果、問題点と今後の方向性

平和・人権啓発の推進

（現状の成果、問題点）

終戦から既に70年以上が経過し、戦争の悲惨さや核兵器の恐ろしさに対する理解が風化してしまうおそれがあります。

まちづくり評価アンケート「人権擁護委員がいることを知っている」と答えた市民の割合が低く、人権擁護委員の活動への認知があまり広がっていません。

（今後の方向性）

日本非核宣言自治体協議会から資料提供を受けることにより、次世代へ向けた非核平和の啓発資料を充実させていきます。

人権擁護委員が行う各種啓発活動について、市の広報媒体を活用して積極的な周知を行うほか、人権擁護委員が行う人権相談事業について、市民が利用する商業施設等で開催するなど、人権擁護委員の活動の周知や認知度の向上を図ります。

男女共同参画の推進

（現状の成果、問題点）

女性の起業や就業支援事業を受講した人のうち、就業・起業した人数が着実に増えていますが、受講者からの講座内容等への要望が多様化しています。また、審議会等への女性委員登用率向上のため、女性人材リストの活用を担当課に促すなど、人材活用への機運の醸成が図られてきていますが、いまだに女性委員がいない審議会があります。

DV防止について、街頭キャンペーンにより、市民への意識啓発につながっていますが、一方で相談内容が複雑化・多様化・長期化しています。

（今後の方向性）

女性の経済的自立支援のための講座等を継続して実施し、多様化する受講者ニーズに対応しながら人材育成に取り組みます。また、人材育成講座や男女共同参画に関する情報発信により、様々な分野への女性の参画を促します。女性人材バンクへの新規登録のための情報収集を行うとともに、審議会等への女性委員登用に継続して取り組みます。

DV相談について、適切な被害者支援と庁内連携の構築及び関係機関との連携を進めます。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

人権相談や非核平和の推進に係る各事業の認知度を向上させるためには、前例にとらわれず、SNSなどのツールを活用した周知を図るとともに、幅広い世代が関心を持つように、事業内容を工夫します。

また、盛岡市男女共同参画推進条例の施行に基づき、審議会等の女性委員登用率向上など、人材活用に向けて、庁内外への働きかけを一層強めるほか、DV相談の増加・広域化に対応するため、配偶者暴力相談支援センターを中心に、国、県、関係機関及び広域市町とのさらなる連携を図ります。

施策8 安全・安心な暮らしの確保

市民の安全・安心な暮らしを確保するため、自然災害や火災、健康被害など、あらゆる危機に対し強いまちを目指し、防災や防犯対策、消防力の充実などに取り組みます。

■ 主要事業の実績

河川整備等による危険箇所の解消を進めるとともに、土砂災害警戒区域等の指定に伴い、土砂災害ハザードマップの作成・配布済箇所が増えました。

防災マップの市内全戸配布や防災訓練等の実施により、防火・防災意識の向上を図りました。また、自主防災組織の結成促進に取り組み、結成率が向上しました。

盛岡市職員の新採用職員を対象とした消防団体験入団の継続、学生消防団活動認証制度及び消防団員を優遇する店舗の登録事業の実施等により、消防団員の確保に努めました。

交通安全教室の開催、交通指導員による朝夕の街頭指導等の実施により、人口1万人当たりの交通事故発生件数が減少するとともに、交通事故死亡者数は過去最少になりました。

防犯ボランティア団体等への防犯パトロール用品の支給や防犯研修会の実施等、自主防犯活動の支援を継続するとともに、広報啓発活動等を実施し、人口1万人当たりの刑法犯認知件数が減少しました。

空き家等の所有者等を対象とした相談会の開催や空き家等の所有者等に対する指導・助言を行い、空き家等の周辺の生活環境が改善されました。

消費者被害の救済のための生活相談や積極的な啓発活動を実施し、消費者の安全安心や市民の権利が確保されました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
急傾斜地崩壊対策事業	一般		岩手県事業である繋地区の対策工事及び山岸地区の用地測量に係る負担金	2	0	5
都市基盤河川改良事業	一般		一級河川南川の改修工事に係るJR東日本工事負担金	444	234	210
自主防災組織育成事業	一般		防災資機材等の交付、地域防災組織育成助成事業補助など	10	6	0
危機管理防災事業	一般		危機管理及び防災体制の構築・推進、危機管理指針の運用	18	22	0
防災施設整備事業	一般		避難場所標識整備、防災ラジオ及び避難所備蓄品（アルファ化米等）の購入など	28	25	0
盛岡地区広域消防組合負担金事務	一般		消防署等の運営、消防施設整備など	3,586	3,532	0
消防団管理事務	一般		消防団員報酬、出勤手当、消防団装備購入など	196	190	0
消防施設整備事業	一般		消防ポンプ自動車・小型動力ポンプ付積載車の更新、消防屯所地質調査・設計等	114	98	0
交通安全教育事業	一般		交通安全教室の開催	10	10	0
交通指導員活動事業	一般		交通指導員活動（行事、登下校時等における街頭指導）	44	46	0
防犯活動事業	一般		市防犯協会事業費助成、防犯活動支援	6	6	0
空き家等対策推進事業	一般		空き家等の相談受付、現地確認、適正管理に係る助言、空き家バンク物件購入者への改修費補助	24	5	0
消費者行政推進事業	一般		消費生活相談、多重債務者対策、食品に係る放射性物質の検査など	38	37	0
施策の計（一般会計）				4,521	4,212	215

- 急傾斜地崩壊対策事業

岩手県事業の繰越及び増額により、負担金である事業費の翌年度への繰越額が大きくなりました。

- 空き家等対策推進事業

空き家等改修事業補助金の申請が見込より少なかったこと、また、行政代執行に至る案件がなく、行政代執行委託料が皆減したことにより、実績額が小さくなりました。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移																																				
まちづくり評価アンケート調査「避難場所を知っている」と答えた市民の割合	↑	%	<table border="1"> <caption>「避難場所を知っている」と答えた市民の割合</caption> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>69.0</td><td>72.7</td><td>76.2</td><td>76.2</td><td>80.6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><th>目標値</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>75.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>80.0</td></tr> </table>	年度	当初値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	実績値	69.0	72.7	76.2	76.2	80.6							目標値						75.0					80.0
年度	当初値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																												
実績値	69.0	72.7	76.2	76.2	80.6																																		
目標値						75.0					80.0																												
まちづくり評価アンケート調査「防災対策をしている」と答えた市民の割合	↑	%	<table border="1"> <caption>「防災対策をしている」と答えた市民の割合</caption> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>60.7</td><td>57.9</td><td>62.1</td><td>54.4</td><td>42.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><th>目標値</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>70.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>80.0</td></tr> </table>	年度	当初値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	実績値	60.7	57.9	62.1	54.4	42.0							目標値						70.0					80.0
年度	当初値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																												
実績値	60.7	57.9	62.1	54.4	42.0																																		
目標値						70.0					80.0																												
人口1万人当たりの火災発生件数	→	件	<table border="1"> <caption>人口1万人当たりの火災発生件数</caption> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>1.7</td><td>1.6</td><td>1.5</td><td>1.4</td><td>1.2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><th>目標値</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1.7</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1.7</td></tr> </table>	年度	当初値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	実績値	1.7	1.6	1.5	1.4	1.2							目標値						1.7					1.7
年度	当初値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																												
実績値	1.7	1.6	1.5	1.4	1.2																																		
目標値						1.7					1.7																												
人口1万人当たりの刑法犯発生件数	→	件	<table border="1"> <caption>人口1万人当たりの刑法犯発生件数</caption> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>68.4</td><td>57.6</td><td>51.2</td><td>43.6</td><td>41.5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><th>目標値</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>68.4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>68.4</td></tr> </table>	年度	当初値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	実績値	68.4	57.6	51.2	43.6	41.5							目標値						68.4					68.4
年度	当初値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																												
実績値	68.4	57.6	51.2	43.6	41.5																																		
目標値						68.4					68.4																												
不適正な管理状態にある空き家等の相談件数	↑	件	<table border="1"> <caption>不適正な管理状態にある空き家等の相談件数</caption> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>60</td><td>178</td><td>139</td><td>122</td><td>102</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><th>目標値</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>85</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>85</td></tr> </table>	年度	当初値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	実績値	60	178	139	122	102							目標値						85					85
年度	当初値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																												
実績値	60	178	139	122	102																																		
目標値						85					85																												
消費生活相談の解決率（解決した件数／消費生活相談件数）	↑	%	<table border="1"> <caption>消費生活相談の解決率</caption> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>98.5</td><td>98.8</td><td>98.9</td><td>98.4</td><td>98.5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><th>目標値</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>99.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>99.0</td></tr> </table>	年度	当初値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	実績値	98.5	98.8	98.9	98.4	98.5							目標値						99.0					99.0
年度	当初値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																												
実績値	98.5	98.8	98.9	98.4	98.5																																		
目標値						99.0					99.0																												

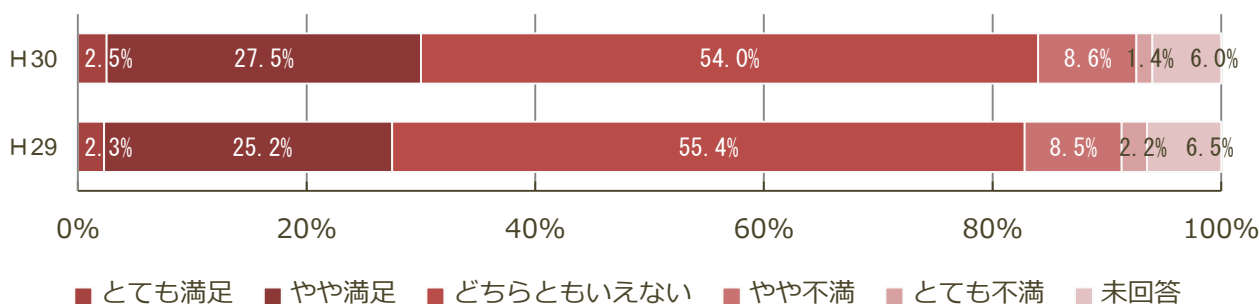
- 「避難場所を知っている」と答えた市民の割合／◎ 非常に順調に進捗

従来の防災マップについて、地図に加えて平時の備えや災害時の避難行動までを学習できるように充実を図って全面更新し、市内全戸に配布するとともに、この防災マップを活用して平時の備えと災害時の避難行動について、各地域で住民説明会を実施したことにより「避難場所」への認知度が大幅に向上したものと考えられます。

- ・ 「防災対策をしている」と答えた市民の割合／△ 遅れが生じている
具体的な防災対策が十分に浸透していないことや、東日本大震災後間もない時期の緊張感が徐々に薄れ、風化してきていること等が要因と考えられます。
- ・ 人口1万人当たりの火災発生件数／◎ 非常に順調に進捗
山火事防止パトロールや火災予防広報活動、一般家庭の防火点検等の活動が効果を現しているものと考えられます。
- ・ 人口1万人当たりの刑法犯発生件数／◎ 非常に順調に進捗
防犯ボランティア団体の支援や関係機関との顔の見える取組が効果を上げたものと考えられます。
- ・ 不適正な管理状態にある空き家等の相談件数／◎ 非常に順調に進捗
指標は、平成27年度の盛岡市空き家等の適正管理に関する条例施行による相談件数の一時的な増加と、その後の相談会等の実施により空き家等の改善が図られ、相談件数が減少する見込みを踏まえて相談件数の微増と設定したものであり、想定どおりで推移しています。
- ・ 消費生活相談の解決率（解決した件数／消費生活相談件数）／○ 順調に進捗
消費生活相談の解決率は、令和元年度の目標値を下回っているものの、概ね目標値で推移しています。また、相談件数は平成27年度以降減少傾向であり、出前講座の実施などの積極的な啓発活動が効果を現し、消費者の自立につながってきているものと考えられます。

■ 施策に対する市民の実感

「安全・安心な暮らしを確保するための防災対策や防犯，交通安全，消費者相談などの取組が行われている」と感じる市民の割合



■ 現状の成果，問題点と今後の方向性

危険箇所の解消

（現状の成果，問題点）

県が進める急傾斜地崩壊対策事業の進捗が図られました。また、土砂災害ハザードマップの作成及び配布が2箇所増加しましたが、土砂災害ハザードマップの作成の前提となる土砂災害警戒区域等の指定について、地元への説明に時間を要しています。

（今後の方向性）

急傾斜地崩壊対策事業及び土砂災害警戒区域等の指定の進捗が図られるよう、県に協力していきます。

地域防災力の強化

（現状の成果，問題点）

防災マップを全面更新して市内全戸に配布するとともに、この防災マップの住民説明会を実施したことにより、「避難場所」への認知度が大幅に向上しましたが、「防災対策をしている」又は「防災訓練に参加する」と答えた市民の割合が、減少又は横ばいで推移しており、防災対策への意欲の低下が心配されます。

（今後の方向性）

参加型の防災訓練の実施や手軽にできるシェイクアウト訓練の市民への普及のほか、自主防災組織の結成促進と育成強化、防災講座などによる防災に対する意欲の向上を図ります。

地域住民が主体となり、実情に即した地域の防災計画の作成を推進します。

消防・救急の充実

（現状の成果，問題点）

消防団の装備の充実や処遇の改善を進めていますが、全国的な傾向である消防団員の減少が続いています。また、準市街地での防火水槽の設置が進まず、大規模災害時に上水道が断水した場合の火災への対応が心配されます。

（今後の方向性）

消防団の装備の充実を進めるとともに、消防団体験入団の継続、学生消防団活動認証制度の周知、消防団員を優遇する店舗の登録事業の促進等により、消防団員の確保を図ります。

交通安全の推進

（現状の成果，問題点）

交通安全教室の開催、交通指導員による朝夕の街頭指導等の実施により、人口1万人当たりの交通事故発生件数が減少し、交通事故死亡者数も過去最少となりましたが、高齢化の進展に伴う高齢の歩行者や運転免許保有者が増加し、高齢者が関係する交通死亡事故の割合が高くなっています。

（今後の方向性）

老人クラブや病院など的高齢者が利用する施設において、歩行者又は運転者としての交通安全啓発活動を実施し、高齢者が関係する交通事故の抑止を図ります。

防犯対策の推進

（現状の成果，問題点）

防犯ボランティア団体等への防犯パトロール用品の支給や研修会の実施などの支援や、防犯協会や警察、町内会など関係機関との顔の見える取組が効果を上げ、刑法犯認知件数が減少していますが、子供に対する声かけ事案が増加傾向にあります。

（今後の方向性）

防犯パトロールに対する支援を継続するほか、防犯パトロールが十分に行われなかった場所をカバーするため、地域防犯カメラを設置する町内会等への支援を行い、犯罪の抑止を図ります。

空き家等対策の推進

（現状の成果，問題点）

適正に管理されていない空き家等の所有者に対して、指導・助言を行い、周辺的生活環境は改善されてきていますが、指導・助言が受け入れられない、管理方法が分からない等の理由により対応が遅れる場合があります。

（今後の方向性）

適正に管理されていない空き家等の所有者に対して、更なる指導・助言を行うとともに、空き家等の売却、賃貸、相続などに関する専門家による相談会を開催します。

消費者の自立支援

（現状の成果，問題点）

消費者被害の救済やその予防活動により、消費者の自立支援に取り組み、消費者の安全安心や市民の権利が確保されましたが、消費者をめぐる社会状況の変化、特に成人年齢引下げに伴う若年層への啓発など、消費者教育の啓発を更に推進する必要があります。

（今後の方向性）

消費者をめぐる社会状況に応じた消費者教育の啓発については、特に、若年層への啓発をすすめるため、教育委員会との連携による学校での出前講座を含めた啓発活動の手法を検討し、活用促進を図ります。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

全国各地で発生する大規模災害をはじめ、生活の身近なところで発生する火災や交通事故、刑法犯罪、消費生活被害など、あらゆる事案から市民の安心・安全な暮らしを確保するため、市と関係機関や組織団体、市民が連携して取り組んでいく必要があります。

施策9 地域コミュニティの維持・活性化

地域コミュニティがこれまで担ってきた多岐にわたる役割を維持し、活動を活性化するため、地縁又は目的を共にする団体などへの支援に取り組みます。

■ 主要事業の実績

町内会の負担軽減を目的に実施した町内会・自治会協働推進奨励金制度の浸透に取り組みました。

町内会の所有・管理する街路灯のリース契約を締結し、維持管理を行いました。

コミュニティ推進地区組織の活動促進に向けて、コミュニティリーダー研修会及び人材養成講座など地域課題の解決につながる情報提供等を行いました。

地域からの相談・要望や情報共有の機会を拡充するために、地域担当職員制度を見直し、出席する地域の会議等の範囲を拡大しました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
地区行政事務	一般		町内会、自治会活動に対する協働推進奨励金交付など	79	78	0
コミュニティ推進事業	一般		30のコミュニティ推進地区に対する活動費助成、相談受付及び情報提供など	13	24	0
公衆街路灯関連事業	一般		町内会などに対する公衆街路灯のLEDリース料、電気料及び設置費補助	89	92	0
地域協働推進事業	一般		地域づくり計画に基づく事業に対して事業費を補助	14	11	0
施策の計（一般会計）				196	205	0

・ コミュニティ推進事業

(一財)自治総合センターのコミュニティセンター助成事業に採択され、当初予算で見込んでいなかったコミュニティセンター助成を実施できたため、実績額が大きくなりました。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
まちづくり評価アンケート調査「この1年間に地域のコミュニティ活動に参加したことがある」と答えた市民の割合	↑	%	<p>当初値 46.5 H27 46.7 H28 43.8 H29 46.9 H30 44.4 R1 目標値(51.5) R6 目標値(56.5)</p>

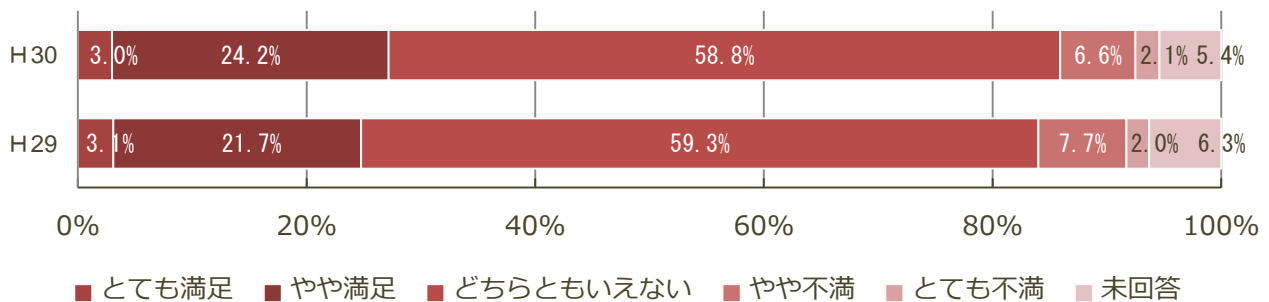
・ 「この1年間に地域のコミュニティ活動に参加したことがある」と答えた市民の割合

／△ 遅れが生じている

平成30年度まちづくり評価アンケートにおける「コミュニティ活動に参加した市民の割合」は44.4%と、前年度に比べ2.5ポイント減少しました。一方、「共に支え合い安心して暮らすことができる地域社会の実現に向けた取組」及び「町内会などの地域活動を支援する取組」に対する今後の重要度については、前年度に比べ増加していることから、引き続きコミュニティ団体が活動を継続できるような支援を継続して行うとともに、実態とニーズを把握し、市民参加の機会の拡大につながるような施策を、協働推進計画の見直しの中で検討します。

■ 施策に対する市民の実感

「町内会などの地域活動を支援する取組が行われている」と感じる市民の割合



■ 現状の成果、問題点と今後の方向性

コミュニティ活動の支援

（現状の成果、問題点）

盛岡市町内会・自治会協働推進奨励金制度について、制度実施3年目を迎え、町内会・自治会の制度に対する理解が進みました。

町内会等で世帯数が少ないなどの理由などから、活動が低調な町内会等の活動促進が課題となっています。

コミュニティリーダー研修会及び人材養成講座について、参加者アンケートの結果が好評でした。一方で、コミュニティリーダー研修会及び人材養成講座への参加者数が少ないことが課題です。

（今後の方向性）

盛岡市町内会・自治会協働推進奨励金制度の周知を通して、個別に町内会活動への助言を行います。また、内容について、検証を行い、見直しを検討します。

コミュニティリーダー研修会及び人材養成講座の内容について、地域活動に参加している市民のニーズに合わせたものにします。また、開催について、市民が参加しやすいような時期・場所の設定に努めます。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

社会の多様化などにより地域活動の担い手不足や硬直化が進み、地域活動を維持することが難しくなっている中、これまで担ってきた団体へ持続的な活動を支援するとともに、地域や社会の実相やその環境を把握し、NPOや企業などを含めた今後の地域協働のあり方も検討し、更なる地域活動の活性化に繋がるよう取り組む必要があります。

施策10 生活環境の保全

大気汚染、水質汚濁、騒音などの監視の継続や廃棄物の適正処理などを図り、良好で快適な生活環境の保全に取り組みます。

■ 主要事業の実績

資源物の分別の徹底のため、ごみ収集カレンダーや分別辞典などの印刷物を活用した情報発信や、きれいなまち推進員との連携に取り組みました。

不法投棄やタバコなどのポイ捨てに対して、監視やモラル向上への周知、啓発に取り組みました。

廃棄物処理施設の老朽化の進行に対応した設備改修及び維持管理により、廃棄物の適正処理に努めました。

盛岡市クリーンセンターにおいては、公害防止対策協議会及び公害監視委員会からの指導助言等をいただきながら焼却処理を行い、排ガス基準値遵守継続日数が3,000日を超え、地域住民との公害防止協定を継続して守ることができました。

環境負荷を低減させ良好な生活環境を保つため、大気、水質、騒音、振動などの環境監視、指導を行いました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
クリーンセンター設備改修事業	一般		焼却施設改修工事などの施設整備	284	267	0
公害防止対策事業	一般		大気、水質、騒音、振動などの測定、監視	23	22	0
施策の計（一般会計）				307	289	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
まちづくり評価アンケート調査「清潔で衛生的、公害がないといった点で、きれいなまちだと思う」と答えた市民の割合	↑	%	<p>当初値 75.8 H27 79.1 H28 77.4 H29 76.2 H30 75.5 R1 77.0 R6 80.0</p>
焼却処理施設での年間処理量*	↓	t	<p>当初値 96,367 H27 92,898 H28 91,320 H29 90,219 H30 90,037 R1 90,784 R6 84,711</p>

* 盛岡市一般廃棄物処理基本計画の改訂にあわせ、平成28年度に目標値を変更しています。

- ・ 「清潔で衛生的、公害がないといった点で、きれいなまちだと思う」と答えた市民の割合
 /△ 遅れが生じている

「環境衛生の確保」と「公害の防止」という観点で上記取組を行い、指標「焼却処理施設での年間処理量」のように「処理量の減少」が達成されつつある分野もありながら、アンケート結果としては平成27年度に目標値を達成後、縮小した事務事業はありませんが、翌年から減少に転じている状況となっています。

市民の認識が表れる指標であり、認識への影響が大きいと思われる取組などについて、盛岡市環境

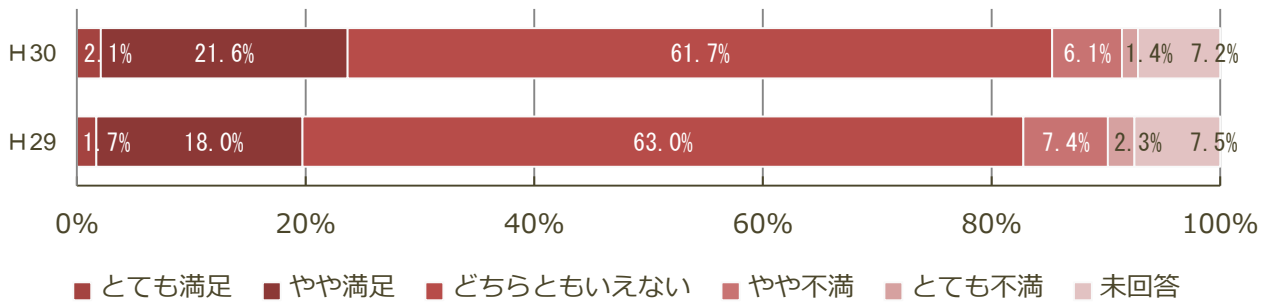
部のサイト「ecoもりおか」のコンテンツの充実や更新頻度を増やし情報提供に努めているところですが、さらに情報提供の仕方を含めた対応方法の検討が必要です。

・ **焼却処理施設での年間処理量／◎ 非常に順調に進捗**

ごみ減量及び資源化に向けた各種取組により、焼却処理されるごみが減少し、令和元年度目標値を達成しました。今後も重点的に取組を推進します。

■ **施策に対する市民の実感**

「身近な生活環境が保全されている」と感じる市民の割合



■ **現状の成果、問題点と今後の方向性**

環境衛生の確保

(現状の成果、問題点)

まちづくり評価アンケート調査で「きれいなまちだ」と答えた市民の割合が減少傾向にありますが、各種取組が目標に向け、概ね順調であることの市民への周知が必要です。また、市全体のごみ排出量等は減少していますが、更なる減少のためには事業系廃棄物の排出削減に取り組む必要があります。

市クリーンセンターは、施設稼働開始から21年が経過し老朽化が進行しており、適正処理継続のために計画的な設備改修が必要です。

(今後の方向性)

コミュニティ地区ごとの排出量、組成分析データにより得られた地区ごとの特徴や実態について更に分析を進め、地区の特性を踏まえた取組事例を集約・共有化することにより家庭系ごみ減量施策を推進するとともに、事業系廃棄物の排出削減にも取り組みます。また、これらの取組結果や目標に向けた進捗状況等について、機会を捉えて市民への周知啓発に継続して取り組み、意識改革を図ります。

市クリーンセンターの設備改修事業は、現在、総合計画実施計画における主要事業に位置付けられており、県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想の進捗を見据え、改修費用の抑制と財源の確保に努め、引き続き計画的に実施します。

公害の防止

(現状の成果、問題点)

大気及び水質については概ね良好な状況にありますが、一部環境基準の超過（光化学オキシダント、PM2.5、pH等）が見られるとともに、騒音についても前年度から実績値が低下しているなどの状況にあります。

(今後の方向性)

大気、水質、騒音等その他の環境項目について環境測定を継続するとともに、環境基準超過については原因の分析や、県や中核市等の取組状況の把握を継続して行います。

環境基準超過の改善に向けては、事業者の指導や市民への周知を継続して行います。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

県外からの来訪者から「街中のごみが無いきれいなまち」と言われることが多く、市民や事業者の理解と行動によるものと考えられるので、今後も効果的な環境教育、環境啓発など適切に対応する必要があります。

平成29年度の塵芥収集運搬体制の見直しにより、可燃ごみについて午前中の収集完了体制を構築できたことは大きな成果です。分別の徹底を図りながら、今後も収集から最終処分まで適正処理することにより快適な生活環境の保全に努めます。

大気、水質等について、環境基準適合率は概ね良好ではありますが、生活環境に関し、さらに向上させる必要があります。

基本目標2 盛岡の魅力があふれるまちづくり

施策11 歴史・文化の継承

地域に受け継がれている歴史や文化に誇りを持ち、次世代に伝えていくため、文化財の保護に取り組むとともに、市民が歴史や文化に理解を深め、身近に感じることができるよう、文化財の幅広い活用を図ります。

■ 主要事業の実績

文化財の保護と活用については、文化財の指定により保護を行い、青少年郷土芸能フェスティバル等の開催を支援し、活用を図り、無形民俗文化財保持団体の一部では後継者が増加しました。また、埋蔵文化財については、適切な調査・記録と保存・展示を行いました。

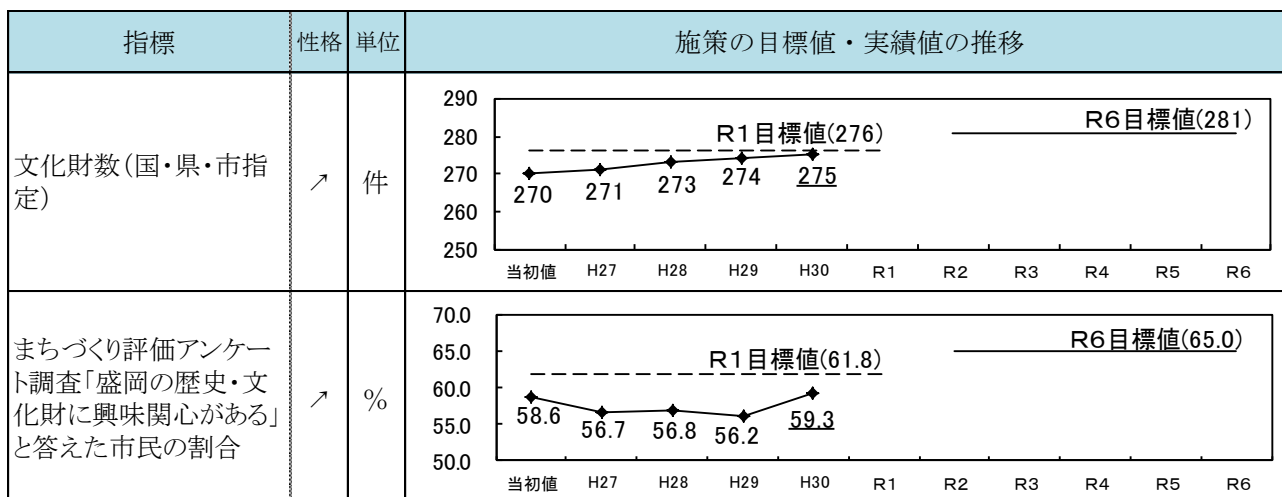
地域の歴史的風致を守り、次世代へ継承するため、盛岡市歴史的風致維持向上計画を策定しました。

博物館等施設の整備・充実については、各館とも事業の企画や案内周知に積極的に取り組み、9施設中、2施設で入館者が前年度より増加しました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
盛岡城跡保存整備事業	一般		石垣変位調査, 石垣基礎調査など	2	2	0
志波城跡保存整備事業	一般		用地取得, 保存活用計画策定など	44	39	0
遺跡の広場整備事業	一般	★	遺跡環境保全, 整備	1	1	0
玉山歴史民俗資料館・石川啄木記念館整備事業	一般	★	施設整備・運営手法の検討等	0	0	0
施策の計(一般会計)				47	41	0

■ まちづくり指標(成果指標)の状況



・ 文化財数(国・県・市指定) / ○ 順調に進捗

指定の文化財数は、前年度に比べ1件増加しました。既に指定となっている文化財等は存続できました。

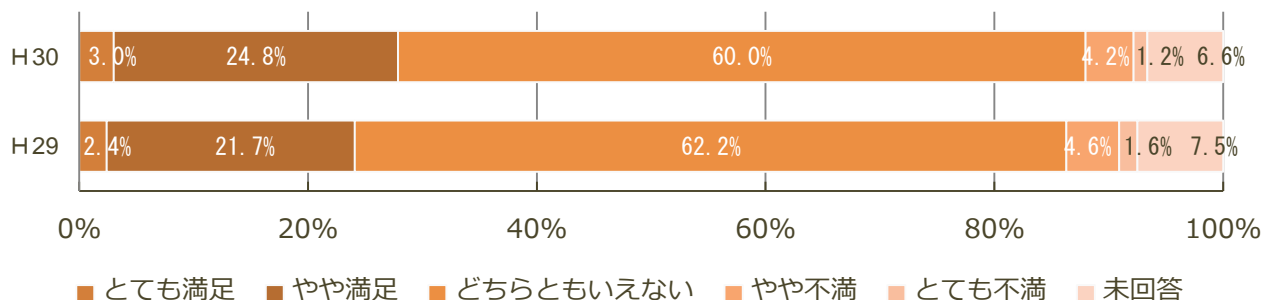
・ 「盛岡の歴史・文化財に興味関心がある」と答えた市民の割合減少 / ○ 順調に進捗

まちづくりアンケート調査「盛岡の歴史・文化財に興味関心がある」と答えた市民の割合が、3.1ポイント増加しました。

博物館施設等が、市民に対し、歴史・文化財を活用した事業や学習機会を提供しました。

■ 施策に対する市民の実感

「文化財の保護や活用が図られている」と感じる市民の割合



■ 現状の成果、問題点と今後の方向性

文化財の保護と活用

（現状の成果、問題点）

文化財の指定候補案件の調査が進み、新たに1件の文化財を指定したほか、補助金の支援等により文化財の保護が図られました。

有形文化財等において、周辺の環境も含め、適切な保存・修繕が難しくなっているものがあります。

無形民俗文化財は、深刻な後継者不足に直面している団体もあり、民俗芸能保持団体の特性に応じた対策が必要となっています。

埋蔵文化財の出土資料は、増え続け、従来の施設には収まりきらず、仮設の施設にも仮置きしている状況です。

（今後の方向性）

文化財等の保存・修繕のため、必要に応じて、町内会等地元住民への協力要請を行います。

盛岡市歴史的風致維持向上計画等に基づき、補助制度を活用しながら、文化財の保護と活用に取り組みます。

民俗芸能保持団体の後継者不足について、盛岡市無形民俗文化財保存連絡協議会と連携しながら支援策を講じます。また、地域における行事等を捉えて、発表の機会を確保し、民俗芸能の周知を図ります。

埋蔵文化財発掘の出土資料を、活用頻度等により再配置を行うとともに、空き教室等を利用するなど、収蔵場所の確保を図ります。

未指定の文化財も含め、文化財をまちづくりに生かしつつ、地域社会との協働でその承継に取り組む必要があるため、文化財保存活用地域計画の策定の検討を行います。

博物館等施設の整備・充実

（現状の成果、問題点）

原敬記念館及びもりおか歴史文化館の2施設では、施設の周年事業や国が推進した明治戊辰150年事業等の効果により入館者が増加しましたが、その他の施設は減少し、9施設全体では横ばいとなりました。

各施設とも施設・設備の老朽化が進み、修繕が必要な箇所が増え、来館者の受入環境が改善できない箇所があります。

入館者からは、魅力的でわかりやすい展示説明等をはじめ、使いやすい快適な施設環境の維持・整備が求められています。

（今後の方向性）

各種企画展をはじめ、魅力的で話題性を捉えたイベントの開催のほか、各施設の情報案内・広報の強化を図るとともに、施設外へ出向く「出前講座」の充実に取り組みます。

学校や他団体のイベント等と連携するなど、機会を捉えて幅広くPRを行い、利用促進を図ります。玉山歴史民俗資料館・石川啄木記念館の整備を進めます。

施設や設備の修繕については、優先順位を検討し、計画的に対応していきます。

文化財保存活用地域計画の策定に係る検討において、博物館等施設での保存・活用のあり方も検討します。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

地域に受け継がれている歴史や文化に親しむこと、そして、それを次世代に継承することは、地域づくりにとって大切なことですが、市民の関心は高くないと捉えています。周年イベントをきっかけとして、更に創意工夫、改善を図る必要があります。

また、博物館等施設については、市民が関心を持ち訪れてみたいと思うような魅力的な施設であり続けるよう、計画的に施設の修繕・改修・整備を行っていく必要があります。

今後も、市民が地域の歴史や文化に興味を持ち、施設の来館者の増加にもつながるよう、ソフト・ハード両面から、施策展開に努めます。

施策12 芸術文化の振興

誰もが芸術文化に親しみ、豊かな生活が送れるように、優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、市民の自主的、創造的な芸術文化活動を支援します。

■ 主要事業の実績

平成30年3月に策定された「盛岡市芸術文化推進指針」に基づき、具体的な取組の内容等をまとめた「盛岡市芸術文化推進計画」の策定に取り組みました。策定にあたり多様な活動団体からアンケート調査や意見交換により、幅広く意見、要望を聴取しました。また、平成30年7月に設置した「盛岡市芸術文化推進審議会」にお諮りし、多角的かつ専門的な見地から意見を頂戴しました。

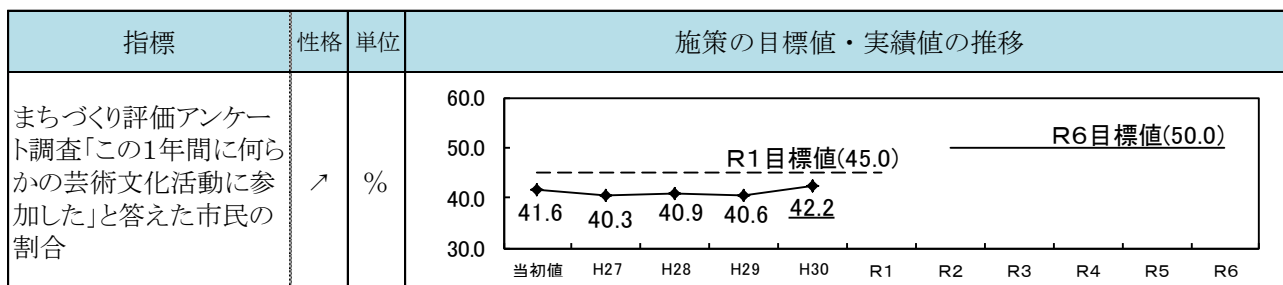
盛岡芸術協会が主催する盛岡芸術祭を共催し、市民のすぐれた芸術文化活動の成果を発表する機会と広く市民に鑑賞の機会を提供するため支援しました。

建設から20年以上経過し設備が老朽化している文化会館の計画的な施設修繕や更新のため、舞台設備更新調査を実施しました。平成30年度は市民文化ホールと渋民文化会館を対象に実施しました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
芸術文化活動振興事業	一般	★	芸術団体などが行う芸術文化活動の振興	8	8	0
文化会館活動事業	一般	★	パイプオルガン・演劇・合唱等関連講座の開催、舞台公演・美術展など芸術鑑賞機会の提供、情報誌の発行	22	20	0
施策の計（一般会計）				30	28	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

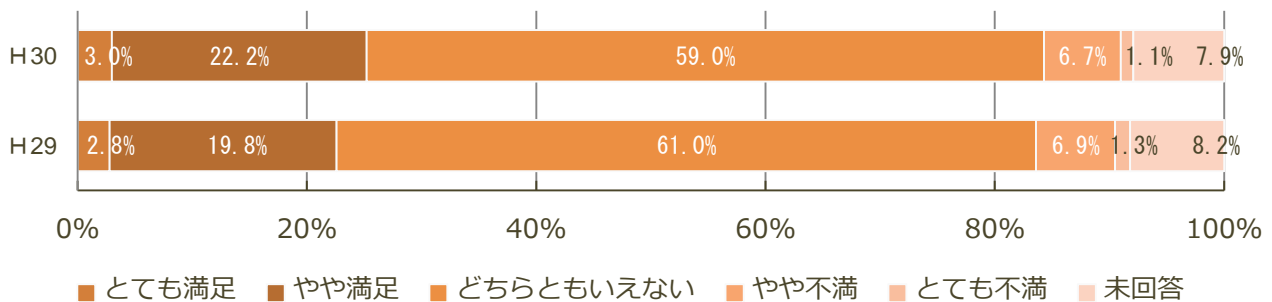


- 「この1年間に何らかの芸術文化活動に参加した」と答えた市民の割合／○ 順調に進捗している
市民の価値観が多様化していることから、コンサートや演劇、美術展などの芸術鑑賞事業や各種講座などにより、芸術文化に親しむ機会を提供しており、盛岡市文化振興事業団の主催事業の鑑賞者数は増加しました。

市民文化ホール展示ホールで開催の展示会の関連企画として、子ども向けのワークショップを開催し、親子で来場して楽しめるよう工夫しました。

■ 施策に対する市民の実感

「芸術文化に親しむ機会が身近にある」と感じる市民の割合



■ 現状の成果、問題点と今後の方向性

芸術・文化活動の充実

（現状の成果、問題点）

（公財）盛岡市文化振興事業団が主催する鑑賞事業数は昨年並みでしたが、人気作家や著名人の展示会の開催があり、多数の来場がありました。

芸術文化活動の振興を図るため、自主的な活動を促進する機会として、盛岡芸術祭を共催していますが、盛岡芸術協会の構成員の高齢化により、参加・出展者数が減少傾向にあります。

（今後の方向性）

芸術文化団体等の自主的な芸術活動への支援を検討します。

文化施設の整備と活用

（現状の成果、問題点）

舞台修繕調査を行い、修繕箇所を把握しました。一方、多額の費用がかかることが判明し、財源不足が課題となっています。

（今後の方向性）

舞台設備更新調査結果に基づき、緊急度が高い修繕について先行して着手しながら、同時に修繕計画を策定します。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

（公財）盛岡市文化振興事業団は、コンサートや演劇、美術展などの芸術鑑賞事業など芸術文化に親しむ機会を提供し、芸術文化活動の充実に努めています。しかし、市民の価値観が多様化していることから、市民ニーズの把握に努めるとともに、それぞれの文化会館の特色を生かしながら、魅力ある事業展開に取り組む必要があります。

文化施設利用者へのサービスの向上のため、舞台設備更新調査を踏まえ、計画的に設備の更新、修繕を実施する必要があります。また、市民の自主的・創造的な芸術文化活動が活発に行われるように、なお一層、文化施設の利用を図る必要があります。

施策13 スポーツの推進

誰もがスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康でいきいきと暮らすことができるように、スポーツをする環境やスポーツを支える環境づくりを進めるとともに、スポーツを通じたまちの魅力の創出などに取り組めます。

■ 主要事業の実績

すべての市民がスポーツに参画する機会の確保を目指し、スポーツ推進委員や（公財）盛岡市スポーツ協会を中心とした各種競技団体、総合型地域スポーツクラブ等と連携しながら各種事業に取り組ましました。

市民が継続してスポーツを楽しめるよう、老朽化した施設の大規模改修を計画的に行い、利用者の利用環境の向上を図りました。

東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン事業として水球カナダの事前キャンプを受け入れ、日本代表との合同合宿やエキシビジョンマッチを行ったほか、ラグビーワールドカップ2019™におけるナミビアの公認チームキャンプ地に決定しました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
生涯スポーツ推進事業	一般	★	指導者養成，スポーツ教室開催，体育団体育成，学校体育施設開放事業，スポーツ大会開催支援，スポーツ・パル事業など	61	81	0
都南東部体育館（仮称）整備事業	一般		用地取得予定地の不動産鑑定評価及び測量業務委託	0	2	0
盛岡南公園野球場（仮称）整備事業	一般		民間活力導入に係るアドバイザー業務委託	28	28	0
盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業	一般		ホストタウン事前合宿受入れ並びにホストタウン事前合宿及びラグビーワールドカップ2019公認チームキャンプに係るトレーニング機器購入	24	32	0
施策の計（一般会計）				113	142	0

・ 生涯スポーツ推進事業

スポーツ振興くじ助成金が採択され、下小路中学校夜間照明施設修繕を実施したため、実績額が大きくなりました。

・ 都南東部体育館（仮称）整備事業

地元協議を進めた結果、建設予定地が決定したため、用地取得関連費用が増額となりました。

・ 盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業

ホストタウン事業の中で日本代表との合同合宿及びエキシビジョンマッチが決定したことや、ラグビーワールドカップ2019™公認チームキャンプ地に決定したことにより、トレーニング機器の調達が必要になったため、実績額が大きくなりました。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

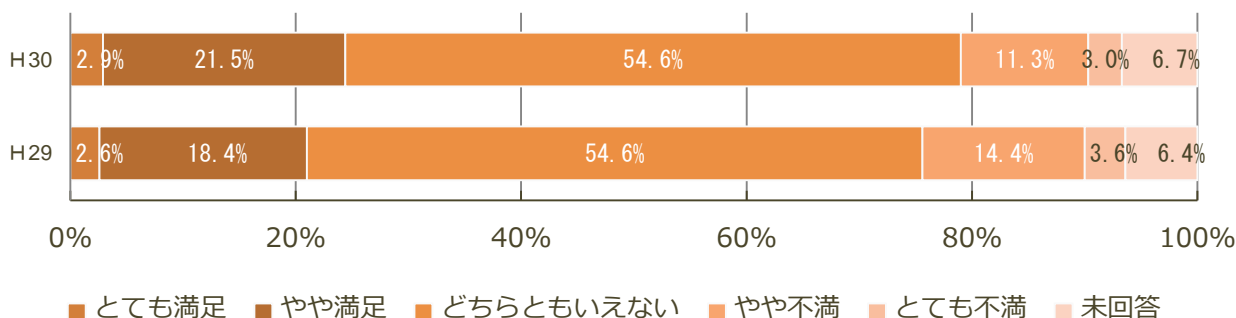
指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
まちづくり評価アンケート調査「週1回以上スポーツをしている」と答えた市民の割合	↑	%	<p>当初値 31.1 H27 28.9 H28 27.3 H29 31.4 H30 45.3 R1 R2 R3 R4 R5 R6</p> <p>R1目標値(56.0) R6目標値(71.0)</p>

・ 「週1回以上スポーツをしている」と答えた市民の割合／○ 順調に進捗

「週1回以上スポーツをしている」と答えた市民の割合は、平成29年度、30年度と増加傾向にありますが、30年度においてスポーツの範囲が競技スポーツだけではなく健康づくりのために行うウォーキング（散歩等を含む）やラジオ体操等の運動も含む旨をアンケートの項目に分かりやすく表記したことで、これまで判断を迷っていた方々を取り込むことができ、割合が増加したことが要因に挙げられます。

■ 施策に対する市民の実感

「スポーツ・レクリエーションを楽しむ機会の確保や施設の整備が整っている」と感じる市民の割合



■ 現状の成果、問題点と今後の方向性

ライフステージに応じたスポーツ活動等の推進

（現状の成果、問題点）

平成29年度と30年度は国体開催前の事業数に戻っていますが中間年の令和元年度の目標を上回っています。

各種スポーツ大会やスポーツ教室等に保護者も一緒に参加できるスポーツ機会の提供に努めました。

事業内容が類似・重複していないか検討する必要があります。

事業参加者は子供や高齢者の参加が多いが、働く世代参加者が少ない傾向にあります。

（今後の方向性）

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会で生まれた有形・無形の様々な遺産（レガシー）を発展させ、着実に次世代に引き継ぐ取組が必要であり、市や（公財）盛岡市スポーツ協会や各競技団体、総合型地域スポーツクラブが行っている各種スポーツ大会やスポーツ教室の周知促進を図ります。

各種スポーツ団体と協議を行いながら、スポーツに親しむ機会の少ない人が気軽にスポーツに取り組めるよう努めます。

スポーツ施設の整備充実

（現状の成果、問題点）

大規模改修工事等の影響により、施設利用者数は平成29年度より減少しましたが、当初の利用者数より施設利用者は増加傾向にあります。

利用者が快適に利用できるよう、不具合備品や競技用具の更新のほか、施設を計画的に修繕する必要があります。

（今後の方向性）

施設利用者増加につながる自主事業の拡大について指定管理者に要請します。

公共施設保有最適化・長寿命化計画の着実な推進を図ります。

施設の維持管理に係る費用の確保について検討します。

スポーツ団体等との連携強化

（現状の成果，問題点）

（公財）盛岡市スポーツ協会や各競技団体，総合型地域スポーツクラブ等の事業数が微増となりました。

各競技団体や総合型地域スポーツクラブへの活動支援が必要です。

総合型地域スポーツクラブは平成29年度に1団体増加したところですが，目標達成が難しい状況です。

（今後の方向性）

（公財）盛岡市スポーツ協会や各競技団体，総合型地域スポーツクラブが各教室や大会を開催しやすいようにするため，連携を強化し，情報提供を行います。

総合型地域スポーツクラブの活動状況について継続して周知を図るとともに，人材確保に努めます。

総合型地域スポーツクラブの創設に向けた研修会を開催します。

プロスポーツ等との連携

（現状の成果，問題点）

プロスポーツチームの会員数がJ・Bリーグとも減少傾向にあります。

プロスポーツチームが市のスポーツ推進事業を受託した実績がありません。

（今後の方向性）

練習環境の確保，ホームゲームの開催，広報活動に係る支援を継続します。

プロスポーツ団体を受託者としたスポーツ推進事業及びプロスポーツ支援事業を検討します。

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の遺産の継承

（現状の成果，問題点）

ホストタウン事業として水球カナダ事前キャンプの受入れを行い，その中で日本代表との合同合宿やエキシビジョンマッチを行い，男女の試合合わせて1,864人が来場しました。

東京2020オリンピック・パラリンピックやラグビーワールドカップ2019™では，選手と市民の交流より大会優先であるため，時間や場所の関係で希望する市民が参加できない場合があります。

（今後の方向性）

ホストタウン事業を始めとした事前キャンプの受け入れに際し市民交流や周知啓発の充実を図ることで，東京2020オリンピック・パラリンピック，ラグビーワールドカップ2019™の感動を共有し，希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の遺産（レガシー）を未来へ継承していきます。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

市民が継続してスポーツを楽しむための利用環境の向上を図るため，施設の修繕を計画的に行うとともに，（公財）盛岡市スポーツ協会を中心とした各競技団体や総合型地域スポーツクラブ，スポーツ推進委員等と連携を図りながら市民がスポーツを行う機会の提供を進めていく必要があります。

また，希望郷いわて国体・いわて大会の遺産（レガシー）を次世代に継承するため，ラグビーワールドカップ2019™の公認チームキャンプや東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたカナダを相手国とするホストタウン事業を推進することで継続してスポーツの振興に取り組みます。

施策14 「盛岡ブランド」の展開

盛岡が住みたいまち、住んでみたいまち、訪ねてみたいまちとなるため、盛岡ならではの魅力や価値である「盛岡ブランド」を市民と共に磨き、育み、都市ブランド*の確立を目指します。

さらに、効果的に市内外に発信することにより「盛岡ブランド」を展開します。

*観光地や地場産業、文化・暮らしなどの個別のブランドにより生み出される都市の価値観やイメージのことです。

■ 主要事業の実績

小学校の総合学習で盛岡ブランドを取り上げ、子どもたちの郷土愛の醸成を図りました。

盛岡ブランドフォーラムやもりおか暮らし物語表彰により、市民への普及啓発を行いました。

首都圏の若者世代を中心とした「対象者」に、盛岡の価値や魅力を伝えるプロモーション素材を作成し、それを活用したプロモーション活動を行いました。

地域おこし協力隊の活動により、東京でのPR活動や、SNSを活用した情報発信の仕掛け作り、ウェブへの記事の提供などを行いました。

関係人口を機軸とした移住・定住・交流人口対策事業として「盛岡という星で」プロジェクトを立ち上げ、新たなアプローチで情報発信やネットワーク形成を行いました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
盛岡ブランド確立事業	一般	★	首都圏等における盛岡市の認知度向上につながるプロモーション活動、ブランドフォーラムの開催（共催）など	3	3	0
施策の計（一般会計）				3	3	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移																
まちづくり評価アンケート調査「盛岡が好き」と答えた市民の割合	↑	%	<table border="1"> <caption>「盛岡が好き」と答えた市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>78.0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>77.7</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>78.5</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>76.9</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>81.4</td> </tr> <tr> <td>R1目標値</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>R6目標値</td> <td>80.0</td> </tr> </tbody> </table>	時期	値	当初値	78.0	H27	77.7	H28	78.5	H29	76.9	H30	81.4	R1目標値	80.0	R6目標値	80.0
時期	値																		
当初値	78.0																		
H27	77.7																		
H28	78.5																		
H29	76.9																		
H30	81.4																		
R1目標値	80.0																		
R6目標値	80.0																		
地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」	↑	位	<table border="1"> <caption>地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」</caption> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>117</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>R1目標値</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>R6目標値</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>	時期	値	当初値	58	H27	63	H28	117	H29	62	H30	90	R1目標値	50	R6目標値	50
時期	値																		
当初値	58																		
H27	63																		
H28	117																		
H29	62																		
H30	90																		
R1目標値	50																		
R6目標値	50																		
観光客入込数	↑	万人回	<table border="1"> <caption>観光客入込数</caption> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>472</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>509</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>508</td> </tr> <tr> <td>R1目標値</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>R6目標値</td> <td>520</td> </tr> </tbody> </table>	時期	値	当初値	472	H27	509	H28	500	H29	500	H30	508	R1目標値	500	R6目標値	520
時期	値																		
当初値	472																		
H27	509																		
H28	500																		
H29	500																		
H30	508																		
R1目標値	500																		
R6目標値	520																		

・ 「盛岡が好き」と答えた市民の割合／◎ 非常に順調に進捗

小学校との連携により授業参画を行った内容を、市内の小学校にリーフレットとして周知したことで、総合学習で盛岡ブランドを周知する機会が増加し、子どもたちの郷土愛の醸成を図ることができ

ました。

ブランドフォーラムの開催時期や場所を変更したほか、ポスターを制作し行政施設での掲示を行うなど集客の増加に努めたことにより、盛岡ブランドフォーラムの参加者数が増加し、より多くの市民への普及啓発を行うことができました。

盛岡の価値や魅力を伝えるプロモーション素材を写真と動画の2種類を制作したことで、素材活用の幅を広げ多様なプロモーション活動を行うことができました。

・ **地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」** / △ 遅れが生じている

本指標は政令市や観光都市が上位を占める傾向にあり、取組の成果が順位を押し上げるまでに至りませんでした。

首都圏の若者世代を中心とした「対象者」に、盛岡の価値や魅力を伝えるプロモーション素材を作成し、それを活用したプロモーション活動を行ったほか、関係人口を機軸とした移住・定住・交流人口対策事業として「盛岡という星で」プロジェクトを立ち上げ、新たなアプローチで情報発信やネットワーク形成を行うなど、それぞれの活動に対し、訴求する相手方（ターゲット）を設定したことで、効果的な訴求につながりました。

・ **観光客入込数** / ◎ 非常に順調に進捗

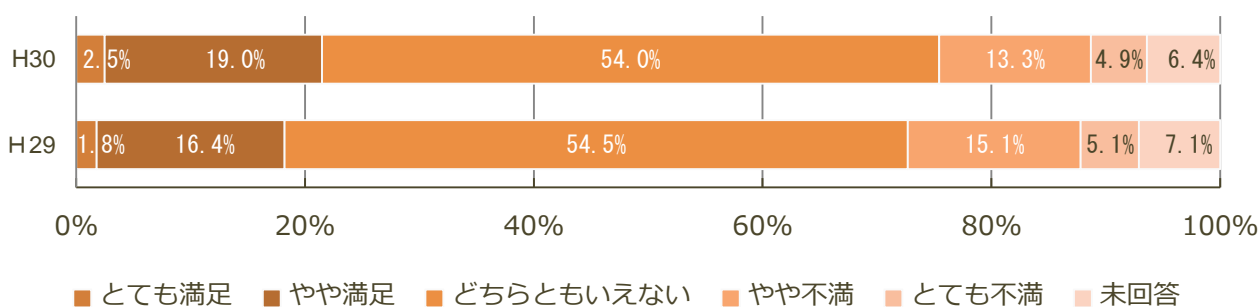
東京盛岡ふるさと会との連携や盛岡デーでの発信、「盛岡という星で」プロジェクトなど、それぞれの活動に対し、訴求する相手方（ターゲット）を設定したことで、効果的な訴求につながりました。

民間事業者などと連携し、ターゲットを明確にしたプロモーションの方向性を構築したうえで事業を実施しました。

地元商店街等8団体で組織した「北上川に舟っこを運航する盛岡の会」が12名乗りの木造船を製作し、北上川において木造船「もりおか丸」による運航社会実験を実施することで、舟運復活への実現に向けた取組を市内外にPRができました。

■ **施策に対する市民の実感**

「盛岡の価値や魅力を育み、市内外へ発信している」と感じる市民の割合



■ **現状の成果、問題点と今後の方向性**

市民・事業者との意識共有

（現状の成果、問題点）

小学校との連携により、出前事業の実施校を増加させ、子どもたちの郷土愛の醸成を図ることができました。

盛岡の価値や魅力を伝えるプロモーション素材を写真と動画の2種類を制作し、素材活用の幅を広げ多様なプロモーション活動を行うことができました。

（今後の方向性）

市民の郷土愛を醸成するにあたり、年に1度のブランドフォーラムに拘らず、より効果的な手法を検討、実施します。

市民のシビックプライド醸成と市外に向けたプロモーションの考え方を整理し、令和2年度から取り組む新たな方針・戦略を策定します。

情報発信の強化

(現状の成果, 問題点)

訴求する相手方(ターゲット)を設定することで、より効果的な情報発信を行うことができました。一方で、盛岡からの転出者や盛岡デーへの来訪者など、東京盛岡ふるさと会以外で盛岡と関わりがある人との継続的な連携が十分とは言えない状況です。

(今後の方向性)

新たな情報発信の手法の試行や検証を通じて、市外において盛岡と関わりがある人と連携するための効果的な情報発信の手法を確立します。

東京圏の盛岡出身など縁のある方を対象にしぼり、関係人口の創出の機会を増やします。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

小学校での授業参画やブランドフォーラムの開催などにより市民の関心を広げる取組を展開しています。また外国人観光客の入込数は増加していますが、魅力度における順位が低下していることから、事業の効果を検証しながら新たな情報発信の手法を構築する必要があります。

ブランド推進計画の成果と課題を整理し、令和2年度から取り組む新しい計画を策定しシティプロモーションの推進とシビックプライドの醸成に努める必要があります。

施策15 良好な景観の形成

市民と共に、自然環境と歴史的環境とが調和した盛岡らしい魅力ある景観を保持するなど、良好な景観の形成を図ります。

■ 主要事業の実績

都市景観シンポジウム、都市景観賞などを通し市民への景観に対する意識の向上を図り、景観計画区域行為届の審査・指導により良好な景観形成となるよう誘導し、併せて景観計画の周知を行いました。

景観重要建造物、景観重要樹木等の維持保全を図り、市所有の保存建造物等を公開しました。

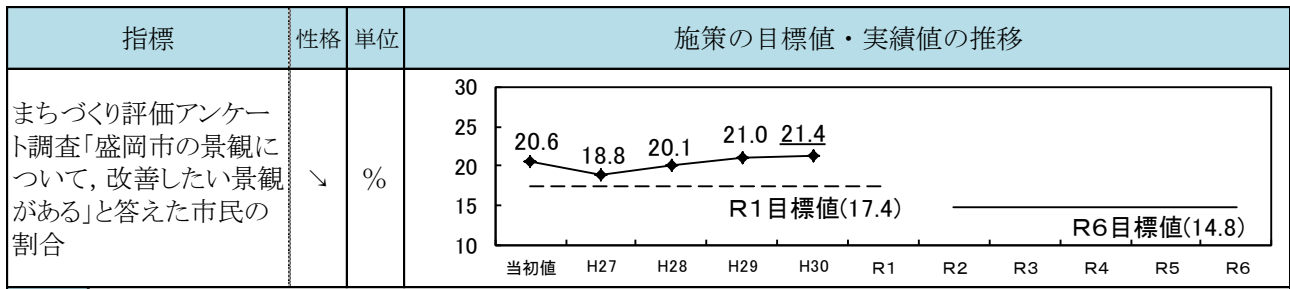
屋外広告物の許可により、景観計画との整合と公衆への危害防止を図りながら、町内会・自治会を通じてチラシを配布するなどしたことにより、屋外広告物制度の周知を図りました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
都市景観形成指導事業	一般	★	景観指導、都市景観シンポジウムの開催、都市景観賞の決定・表彰など	1	1	0
景観計画推進事業	一般		盛岡ふれあい覆馬場プラザ指定管理料、紺屋町番屋建物調査、武田邸庭園入口屋根修繕、保存建造物修復事業補助など	23	27	0
屋外広告物事務	一般		屋外広告物の許可、屋外広告物業の登録、簡易除却ボランティア活動の推進など	3	3	0
施策の計（一般会計）				27	31	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移																								
まちづくり評価アンケート調査「誇れる市街地の景観があると思う」と答えた市民の割合	↑	%	<table border="1"> <caption>まちづくり評価アンケート調査「誇れる市街地の景観があると思う」と答えた市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>70.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>70.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>69.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>65.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>72.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td></td> <td>74.7</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> <td>79.3</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	70.1		H27	70.8		H28	69.7		H29	65.9		H30	72.2		R1		74.7	R6		79.3
年度	実績値	目標値																									
当初値	70.1																										
H27	70.8																										
H28	69.7																										
H29	65.9																										
H30	72.2																										
R1		74.7																									
R6		79.3																									
まちづくり評価アンケート調査「誇れる田園や丘陵地の景観があると思う」と答えた市民の割合	↑	%	<table border="1"> <caption>まちづくり評価アンケート調査「誇れる田園や丘陵地の景観があると思う」と答えた市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>59.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>59.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>52.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>52.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>58.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td></td> <td>69.4</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> <td>79.3</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	59.6		H27	59.6		H28	52.3		H29	52.3		H30	58.9		R1		69.4	R6		79.3
年度	実績値	目標値																									
当初値	59.6																										
H27	59.6																										
H28	52.3																										
H29	52.3																										
H30	58.9																										
R1		69.4																									
R6		79.3																									
まちづくり評価アンケート調査「誇れる山間地の景観があると思う」と答えた市民の割合	↑	%	<table border="1"> <caption>まちづくり評価アンケート調査「誇れる山間地の景観があると思う」と答えた市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>69.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>71.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>66.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>65.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>70.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td></td> <td>74.6</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> <td>79.3</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	69.9		H27	71.1		H28	66.6		H29	65.3		H30	70.0		R1		74.6	R6		79.3
年度	実績値	目標値																									
当初値	69.9																										
H27	71.1																										
H28	66.6																										
H29	65.3																										
H30	70.0																										
R1		74.6																									
R6		79.3																									
まちづくり評価アンケート調査「屋外広告物(屋外に表示・設置されているはり紙や看板など)は、景観に配慮して表示・設置されていると思う」と答えた市民の割合	↑	%	<table border="1"> <caption>まちづくり評価アンケート調査「屋外広告物(屋外に表示・設置されているはり紙や看板など)は、景観に配慮して表示・設置されていると思う」と答えた市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>28.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>28.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>26.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>26.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>29.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td></td> <td>31.1</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> <td>33.6</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	28.1		H27	28.8		H28	26.8		H29	26.2		H30	29.1		R1		31.1	R6		33.6
年度	実績値	目標値																									
当初値	28.1																										
H27	28.8																										
H28	26.8																										
H29	26.2																										
H30	29.1																										
R1		31.1																									
R6		33.6																									



- 「誇れる市街地の景観があると思う」と答えた市民の割合／△ 遅れが生じている

市所有の景観重要建造物等の公開により景観意識の向上を図っているが、老朽化が進み、計画的な改善が必要となってきています。また、建設費用の高騰などを背景に特徴的なデザインを取り入れるのではなく、画一的な建物の建設などが増える傾向が見られることも、誇れる市街地の景観があるとの評価につながらない一因と考えられます。
- 「誇れる田園や丘陵地の景観があると思う」と答えた市民の割合／△ 遅れが生じている

田園・丘陵地は新たな建造物等が建設されることが抑制される地域ですが、建設可能な新たな建造物等が建設される際においても景観に配慮するよう誘導しながら、今ある景観の維持、保全を図ることが必要です。
- 「誇れる山間地の景観があると思う」と答えた市民の割合／△ 遅れが生じている

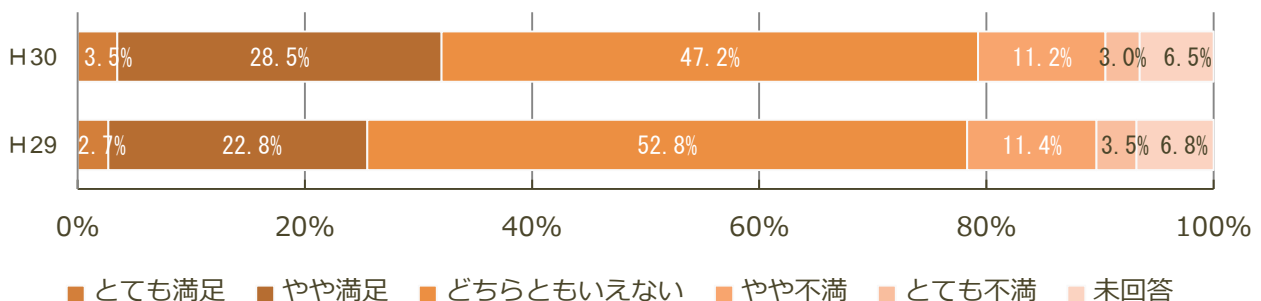
山間地は新たな建造物等が建設されることが抑制される地域ですが、建設可能な新たな建造物等が建設される際においても景観に配慮するよう誘導しながら、今ある景観の維持、保全を図ることが必要と考えます。
- 「屋外広告物は、景観に配慮して表示・設置されていると思う」と答えた市民の割合／△ 遅れが生じている

町内会・自治会を通じてチラシを配布するなどしたことにより、屋外広告物制度の周知を行いました。が、まだ制度が広く浸透しているとはいえない状況であり、さらに屋外広告物の制度の周知を徹底し、適正な屋外広告物の設置を進める必要があります。
- 「盛岡市の景観について、改善したい景観がある」と答えた市民の割合／△ 遅れが生じている

改善したい景観が市街地、田園丘陵地、山間地のいずれであるかを把握する必要がありますが、市街地においては景観に対する配慮が不足している建設等や、景観重要建造物等の老朽化による汚れ等により、次世代に継承すべき魅力ある盛岡固有の景観が失われつつあることも一因と考えられます。

■ 施策に対する市民の実感

「盛岡らしい景観が形成されている」と感じる市民の割合



■ 現状の成果，問題点と今後の方向性

景観保存対策の充実

（現状の成果，問題点）

市所有の景観重要建造物を公開することにより，保存建造物の認識を高めました。

景観重要樹木の樹勢診断により，樹木の状態を把握することで適切な維持保全につながりました。

歴史的街並み整備事業の申請がなく，歴史的街並みの修景を進めることができませんでした。

景観重要建造物の改修が進まず老朽化が進むことが，まちづくり評価アンケート調査において誇れる景観があると回答した割合が年々減少している要因のひとつと考えられます。

（今後の方向性）

景観重要樹木について，より一層の樹勢診断等の活用を図り，枯渇のないよう維持保全に努めます。

歴史的街並み整備事業の周知を図り，鉦屋町の歴史的街並みの修景を進めます。

市所有の保存建造物の維持保全のため，計画的な改修を図ります。

良好な景観形成の誘導

（現状の成果，問題点）

都市景観シンポジウム，都市景観賞等により市民の都市景観に関する意識の向上を図りました。

屋外広告物制度の周知のため，町内会・自治会を通じてチラシを配布するなどしましたが，広く浸透しているとはいえない状況です。

（今後の方向性）

市民がより一層盛岡の景観に興味を持ってもらえるよう，都市景観シンポジウムや都市景観賞の内容の充実を図ります。

屋外広告物の制度の周知の方法を検討し，屋外広告物の適正化を継続的に取り組みます。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

都市景観シンポジウム，都市景観賞等を開催し都市景観に関する意識の向上を図っていますが，成果指標であるまちづくり評価アンケートの向上が見られません。都市景観シンポジウム，都市景観賞の内容の充実化等についても検討が必要です。

また，景観重要建造物等については，老朽化に対応するために計画的な改修を進める必要があるほか，屋外広告物については，制度が広く認識されていないことから市民等へ周知の方法を検討する必要があります。

なお，まちづくり評価アンケートの評価の低下の要因について把握に努める必要があります。

施策16 計画的な土地利用の推進

地域の特性をいかし、機能的で魅力的な都市を形成するため、自然環境の保全と人々の営みとの調和を考慮しながら、コンパクトで効率的な市街地を形成するなど、計画的で適正な土地利用を推進します。

■ 主要事業の実績

都市計画法に基づく区域区分等の見直しに向けた都市計画基礎調査や開発許可制度，国土利用計画法に基づく土地取引事後届出制度，国土調査法に基づく地籍調査などにより，国土利用計画盛岡市計画や都市計画マスタープランに基づく適正な土地利用が図られました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
都市計画区域区分変更事業	一般		区域区分編入予定箇所の現地調査及び選定作業	0	0	0
開発許可事務事業	一般		都市計画法に基づく開発・建築の許可事務，大規模盛土造成地の把握と安全性の確認	1	1	0
施策の計（一般会計）				1	1	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
都市として計画的に整備し，開発し，保全する必要がある区域を指定する割合 (市域における都市計画区域の割合 ^{*1})	→	%	<p>当初値 50.3 H27 50.3 H28 50.3 H29 50.3 H30 50.3 R1 R2 R3 R4 R5 R6</p> <p>R1目標値(50.3) R6目標値(50.3)</p>
農用地として保全し土地利用する割合 (市域における農用地区域の割合 ^{*2})	→	%	<p>当初値 8.4 H27 8.5 H28 8.5 H29 8.5 H30 8.5 R1 R2 R3 R4 R5 R6</p> <p>R1目標値(8.4) R6目標値(8.4)</p>
森林として保全し土地利用する割合 (市域における森林区域の割合)	→	%	<p>当初値 73.2 H27 73.2 H28 73.2 H29 73.2 H30 73.2 R1 R2 R3 R4 R5 R6</p> <p>R1目標値(73.2) R6目標値(73.2)</p>

*1 都市計画区域内の市街化調整区域と農用地区域，森林区域とが重複している区域があるため，3区域の割合の合計は100.0%を超えます。

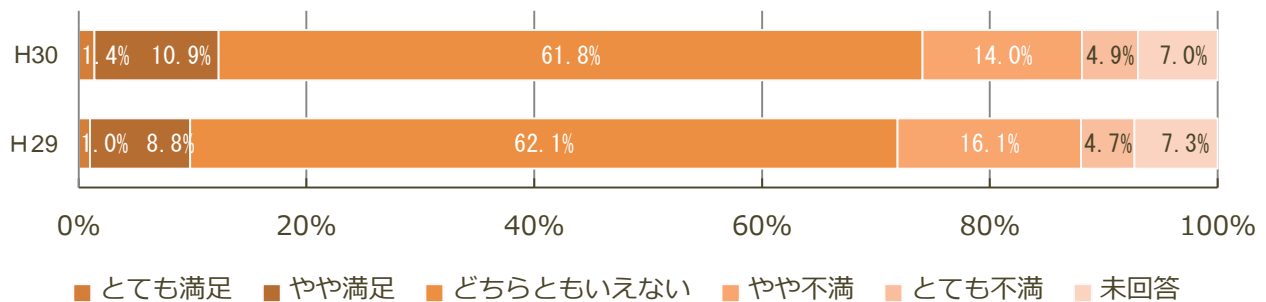
*2 「農用地として保全し土地利用する割合」の当初値は，平成26年度の速報値としています。

- ・ 市域における都市計画区域の割合／◎ 非常に順調に進捗
- ・ 市域における農用地区域の割合／◎ 非常に順調に進捗
- ・ 市域における森林区域の割合／◎ 非常に順調に進捗

関連する上位計画や制度等の適切な運用及び関係施策や計画における相互連携による調整を図ったことから，目標に即した整備，開発，保全の方針が適正に図られています。また，開発及び建築行為の窓口相談等において十分な指導を行い，市街化区域及び市街化調整区域内の適正な土地利用を図りました。

■ 施策に対する市民の実感

「地域の特性を生かした土地利用の計画、管理などが行われている」と感じる市民の割合



■ 現状の成果、問題点と今後の方向性

土地利用に関する計画の策定・見直し

（現状の成果、問題点）

目標に即した整備、開発、保全の方針が適正に図られています。

将来における都市部及び農村部の生活サービス、コミュニティ、社会資本の衰退が懸念されます。

将来における森林資源の保全維持管理の継続が必要となっています。

（今後の方向性）

人口減少、少子化、高齢化等の社会構造の変化に対応したコンパクトで持続可能なまちづくりに資するため立地適正化計画を策定し、「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりを推進します。

農用地や森林を生産機能の場として、また、豊かな自然景観や水源涵養資源として、保全・活用するよう市街地の集約化と相乗効果が得られるような総合的で計画的な土地利用を進めます。

土地利用の管理・指導

（現状の成果、問題点）

市街化区域及び市街化調整区域内の適正な土地利用が図られました。

開発許可及び建築許可の件数が多く、相談内容が多岐に及び時間を要するため相談者の待ち時間が増えています。

審査基準の緩和に関する相談や調査、資料収集が必要で、複雑な相談内容への対応に時間を要しています。

（今後の方向性）

より効率的な窓口対応を図るため、説明資料等の工夫等を検討します。

市街化調整区域における開発許可基準については、地域の実情等に応じ、継続してその見直しについて検討していきます。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

目標に即した整備、開発、保全の方針が適切に図られていますが、今後とも各種法令に基づく事務事業を円滑に進めていくとともに、適正な土地利用が図られるよう基準等の見直しが必要です。

また、人口減少、少子高齢化等が進行する中、高齢者や子育て世代が安心して快適な生活を送ることができる環境を実現するとともに、将来のまちのあり方について検討を進め、コンパクトで持続可能なまちづくりに資する立地適正化計画の策定を進める必要があります。

基本目標3 人を育み未来につなぐまちづくり

施策17 子どもの教育の充実

子ども一人ひとりの個性をいかし、学力を定着させ、生きる力を育むことができるように、学校や家庭、地域などが連携しながら、子どもの教育の充実と健全な育成を図ります。

■ 主要事業の実績

教員の指導力向上のための取組を行い、児童生徒の学力向上を図るとともに、道徳教育・先人教育の充実などにより、豊かな心の育成を進めました。

また、スクールアシスタントや不登校生徒等対策相談員を配置し、個別に配慮が必要な児童生徒への支援に取り組みました。

学校施設については、グラウンド整備工事、屋内運動場大規模改修工事等を行ったほか、適切な維持保全に努めました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
教育振興事業（小学校・中学校）	一般		児童生徒の学力検査、知能検査の実施、小学校社会科副読本「わたしたちの盛岡」の印刷など	52	52	0
先人教育推進事業	一般		先人カレンダーの作成など	1	1	0
生徒指導強化推進事業	一般		スクールアシスタント、不登校生徒等対策相談員の各小中学校への配置、スクールガードリーダーの委嘱など	54	54	0
教育活動推進事業	一般		少人数指導非常勤講師2名の配置、学校司書11名の配置など	11	11	0
小学校整備事業	一般		土淵小中(グラウンド整備等)、仁王小・大新小(校舎大規模改修実施設計)、見前小(校舎大規模改修基本設計)	357	159	297
中学校整備事業	一般		仙北中(第二屋内運動場等整備実施設計)、城西中(校舎大規模改修実施設計)、厨川中(屋内運動場大規模改修工事)	86	76	7
学校プール整備事業	一般		見前小、中野小(実施設計)	13	10	0
小中学施設防災対策事業	一般		好摩小、見前中(屋内運動場等非構造部材地震対策工事実施設計)	10	7	0
(仮称)盛岡学校給食センター建設事業	一般		PFI導入検討、地質調査、埋蔵文化財調査など	158	111	18
施策の計（一般会計）				743	480	323

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【小学校4年生】	↑	ポイント	<p>○国語 R1目標値(113.0) R6目標値(113.0)</p> <p>○算数 R1目標値(110.0) R6目標値(110.0)</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6</p>

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移	
小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【中学校2年生】	↗	ポイント	<p>○国語</p> <p>当初値 103.8 H27 105.0 H28 105.8 H29 104.6 H30 104.4 R1 R2 R3 R4 R5 R6</p> <p>R1目標値(107.0) R6目標値(107.0)</p>	<p>○数学</p> <p>当初値 102.2 H27 101.4 H28 102.2 H29 103.0 H30 102.2 R1 R2 R3 R4 R5 R6</p> <p>R1目標値(105.0) R6目標値(105.0)</p>
体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【小学校5年生】	↗	ポイント	<p>○男</p> <p>当初値 97.8 H27 99.7 H28 97.8 H29 97.6 H30 97.9 R1 R2 R3 R4 R5 R6</p> <p>R1目標値(101.0) R6目標値(101.0)</p>	<p>○女</p> <p>当初値 100.5 H27 100.1 H28 99.5 H29 100.1 H30 100.2 R1 R2 R3 R4 R5 R6</p> <p>R1目標値(101.0) R6目標値(101.0)</p>
体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【中学校2年生】	↗	ポイント	<p>○男</p> <p>当初値 100.4 H27 99.9 H28 101.0 H29 99.6 H30 101.0 R1 R2 R3 R4 R5 R6</p> <p>R1目標値(102.0) R6目標値(102.0)</p>	<p>○女</p> <p>当初値 100.2 H27 100.1 H28 100.0 H29 99.9 H30 101.7 R1 R2 R3 R4 R5 R6</p> <p>R1目標値(102.0) R6目標値(102.0)</p>

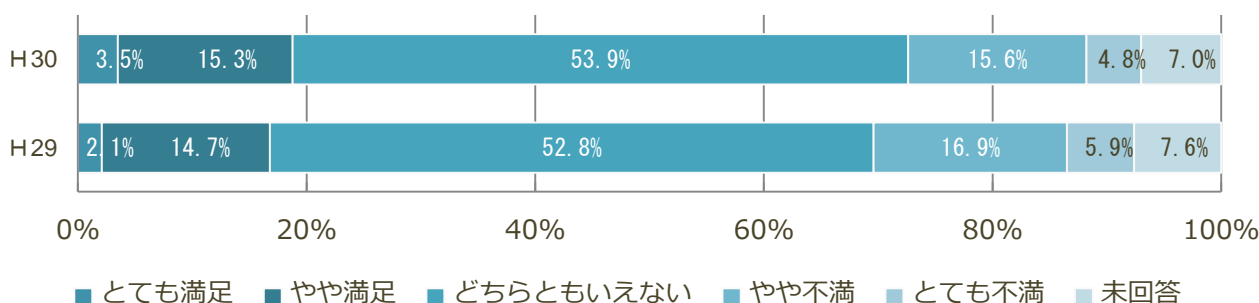
- ・ 小中学校学力検査の全国水準（100）との比較【小学校4年生：国語】／△ 遅れが生じている
「要点をまとめること」「叙述に即した文学的文章の読み取り」において平均正答率が低いことから、読解力を高める授業改善が必要です。
- ・ 小中学校学力検査の全国水準（100）との比較【小学校4年生：算数】／△ 遅れが生じている
「加法・乗法についての性質」「数値線の分数の読み」において無答率が高い傾向があることから、式の表す意味や数の構成の理解を図る授業改善が必要です。
- ・ 小中学校学力検査の全国水準（100）との比較【中学校2年生：国語】／△ 遅れが生じている
「要点をまとめること」「要点の読み取り」「叙述に即した読み取り」において平均正答率が低いことから、読解力を高める授業改善が必要です。
- ・ 小中学校学力検査の全国水準（100）との比較【中学校2年生：数学】／△ 遅れが生じている
「正負の数の活用・説明」「比例の利用・説明」において無答率が高いことから、説明力を高める授業改善が必要です。
- ・ 小中学校学力検査の全国水準（100）との比較【中学校2年生：英語】／○ 順調に進捗
盛岡市学力向上推進事業において、全市的な共通取組内容である「学習課題を把握し、見通しをもつ活動」「考え、学びあう活動」「振り返る活動」が授業に位置付けられてきたことによるものと考えられます。
「文章の内容理解」において無答率が高いことから、語彙力や読解力を高める授業改善が必要です。
- ・ 体力運動能力調査の全国水準（100）との比較【小学校5年生：男】／△ 遅れが生じている
上体起こし（筋力・筋持久力）とソフトボール投げ（投力）の結果が、全国との比較において低い結果となりました。普段から、望ましい姿勢づくりや体育の授業での運動量を確保するとともに、盛岡市と盛岡市スポーツ協会と協力し、SAQトレーニングの取組を更に充実させる必要があります。
- ・ 体力運動能力調査の全国水準（100）との比較【小学校5年生：女】／○ 順調に進捗
握力（筋力）と上体起こし（筋力・筋持久力）、50m走（走力）が全国水準を下回っているものの、

その他の5種目において全国水準を上回る結果となりました。特にソフトボール投げが大きく伸びており、SAQトレーニングの取組とともに、教育研究所における投運動に係る研究成果の普及に努めたことがその要因の一つと考えられます。

- 体力運動能力調査の全国水準（100）との比較【中学校2年生：男】／○ 順調に進捗**
 20mシャトルラン（全身持久力）と50m走（走力）、反復横とび（敏捷性）が全国平均を下回っているものの、その他の5種目において全国平均を上回る結果となりました。特に、長座体前屈（柔軟性）の結果が向上しています。体育の授業において、準備運動で敏捷性に係る運動を取り入れたり、正しい姿勢で走ることを意識した活動を取り入れたりするなど、指導改善を推進する必要があります。
- 体力運動能力調査の全国水準（100）との比較【中学校2年生：女】／○ 順調に進捗**
 50m走（走力）と反復横跳び（敏捷性）が全国水準を下回っているものの、その他の6種目において、全国水準を上回る結果となりました。特に、長座体前屈（柔軟性）とハンドボール投げ（投力）の結果が向上しています。体育の授業において、準備運動で敏捷性に係る運動を取り入れたり、正しい姿勢で走ることを意識した活動を取り入れたりするなど、指導改善を推進する必要があります。

■ 施策に対する市民の実感

「将来を担う子どもたちを育てる小中学校の教育内容や施設の整備が充実している」と感じる市民の割合



■ 現状の成果、問題点と今後の方向性

小中学校教育の充実

（現状の成果、問題点）

学力検査では、NRT検査結果において指標項目全てが全国平均よりも高い水準でしたが、「量と測定」「資料の活用」等の大領域で平成29年度を下回っている分野や無回答が多い問題があります。

体力運動能力調査では、小学校5年生女子で全国標準値を上回っている種目が増え、中学校2年生でも男女とも大幅に体力の向上が見られます。一方、対象学年全てにおいて、改善が図られていますが、走力等では、全国標準値を下回っています。

（今後の方向性）

各種学力調査を検証機会とした指導改善のCAPDサイクル(検証改善のサイクル)の構築のため、Cの段階としての目標の達成度の確認と、それを受けた取組内容の重点化を、学校全体で組織的に取り組む体制の構築を推進します。また、校内研究会では「考えを深める学び合い」の保障を目指した指導・助言を行い、授業改善を促します。

学校における組織的な取組の評価を推進するため、各小中学校で作成する「調査結果活用レポート」の内容を校内の全教職員で共有し、活用を図るよう支援します。

体力運動能力分野では、「走る」に特化し、体力の向上を図ります。また、体力向上に係る実践を研究発表会や公開講座で広めることにより、各学校に啓発しながら体力向上を図ります。

幼稚園教育の充実

（現状の成果、問題点）

施設整備の面では満足度が上がりましたが、教育内容についての保護者の満足度は昨年度より低下しています。

(今後の方向性)

少人数の園の特色を生かし、一人一人の子どもの性格や長所等を把握して、きめ細かな幼児教育を提供するとともに、園だよりやクラスだよりを中心に保護者への情報発信を図ります。小学校隣接の特色を生かし、幼稚園教育と小学校教育の相互理解と円滑な接続及び交流活動の推進を図ります。

高等学校教育の充実

(現状の成果、問題点)

就職率は100%でしたが第一志望の学校への進学及び国公立大学への合格率は目標を下回りました。

(今後の方向性)

他校視察や教員研修による教員の実践的指導力の向上を図ります。岩手大学の教職員大学院と連携し、生徒が意欲を高め、主体的に活動する授業づくり及び対話による授業展開についての研修を実施し、生徒の意欲が引き出される授業の改善へとつなげます。

教職員研修の充実

(現状の成果、問題点)

夏・冬の公開講座と研究発表大会のうち、必ず1回は参加するよう各学校へ呼びかけを行ったことにより、公開講座の参加人数は年々増加しています。一方で、参加人数は増えていますが、長期休業中の開催に、学校から負担が大きいとの声も寄せられています。

アンケートの手法について、平成30年度は研修ニーズ把握に重点を置きアンケートを実施したため、研修人数増加の根拠の把握は不十分でした。

(今後の方向性)

公開講座の開催時期と研修日程を検討します。参加者アンケートの内容及び方法を検討します。

公開講座について、夏と冬に開催としていたものを、夏のみで開催に変更します。

今後、より質の高い研修を行うためには、参加者の満足の内容も可能な限り把握するとともに、アンケートの方法について吟味します。

学校施設の整備・充実

(現状の成果、問題点)

平成29年度までに実施した6校に加え、新たに1校の大規模改修に着手できました。

学校を含む公共施設について、限られた財源を効果的に活用し計画的な保全の実施と施設の長寿命化を図り、次世代に大きな負担を強いることなく、「公共施設の保有の最適化」を推進し、持続可能な市民サービスの提供を目指す必要があります。

(今後の方向性)

「長寿命化工事実施マニュアル」に基づき、事業費の精査を行い、限られた財源を効果的に活用することにより、将来にわたって様々なニーズに対応できる施設整備に努めます。

「盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」と整合を図りつつ、施設の複合化が円滑に進むよう関係団体、関係部署等と緊密な調整を進めます。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

盛岡市学校教育の目標を、「子どもたち一人一人に、自立して社会で生きていくための基礎を育む」とし、全市的な取組を総合的に進めており、一定の効果が出ているものと認識しています。

成果指標としている小中学校の学力については、学力向上推進事業による授業改善等の取組により、全ての指標で全国水準を上回る傾向が維持され、体力運動能力については、平成29年度に比べ改善された項目が増加しています。しかし、学力、体力運動能力とも、なお課題があることから、要因を分析しながら、引き続き全市的な取組を展開していく必要があります。

施策18 生涯学習の推進

誰もが楽しみや生きがいを持ち、豊かに暮らすことができるように、いつでもどこでも学ぶことができる環境の構築を図ります。

■ 主要事業の実績

市民ニーズを把握しながら、各公民館等において、家庭教育支援・青少年教育・成人教育・高齢者教育・芸術文化活動・生涯学習推進・地域連携など幅広いテーマで学習機会の提供に努めました。

また、菟川地区公民館の駐車場整備等を行うとともに、市立図書館の大規模改修等に係る基本設計業務委託の予算化を図り、市民の良好な学習環境の整備に努めました。

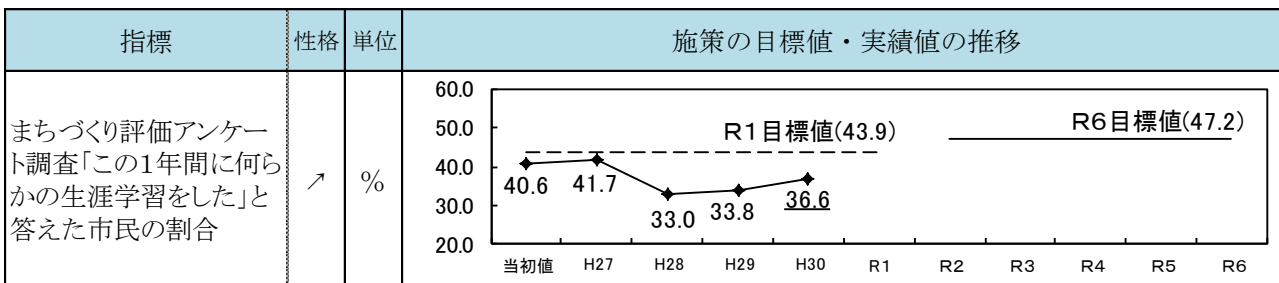
(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
社会教育促進事業	一般	★	学校・家庭・地域連携推進事業, 生涯学習推進事業, 社会教育団体活動支援, 成人のつどい式典実施など	10	9	0
社会教育施設整備事業	一般		菟川地区公民館建設	57	39	0
施策の計 (一般会計)				66	48	0

・ 社会教育施設整備事業

駐車場外整備工事について、見積額と契約依頼の積算額に差があったほか、契約により請負差金が生じたため、実績額が小さくなりました。

■ まちづくり指標 (成果指標) の状況



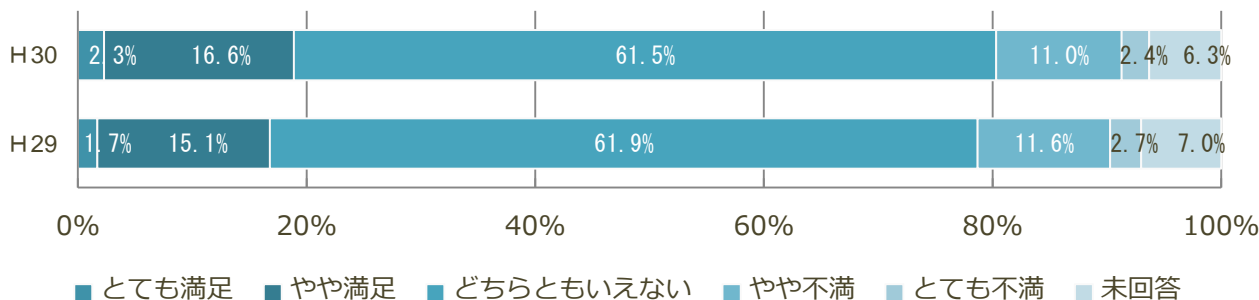
・ 「この1年間に生涯学習をした」と答えた市民の割合 / Δ 遅れが生じている

社会教育施設における学習講座は、多くの参加が期待できる市民が学びたいテーマだけでなく、防災や環境など社会の変化に応じて学んでほしいテーマとのバランスを図りながら実施する必要がことや、講座開催が日中に偏っていることが、主催講座の参加者が伸びない要因と思われます。

学習活動の機会や時間の確保が難しい働き世代・子育て世代の講座参加者数が少ない状況にあります。また、ライフスタイルの多様化、情報通信機器の発達等により、生涯学習に対する市民意識が変化していることが背景にあるものと考えています。

■ 施策に対する市民の実感

「いつでもどこでも学ぶことができる各種講座の開設や生涯学習環境が整っている」と感じる市民の割合



■ 現状の成果、問題点と今後の方向性

社会教育の充実

（現状の成果、問題点）

学びの循環推進事業では、多彩な講座メニューを用意し、市民の継続的な学習活動に活用されていますが、依頼講師に偏りがあるほか、社会的課題をテーマとする講座への講師派遣が減少しています。

家庭教育支援や青少年教育など社会教育事業の提供により、市民の学習機会の充実が図られるとともに、中学生リーダーや新成人のリーダーが育成されています。

（今後の方向性）

社会教育に関する事業の効果的な周知方法を検討するとともに、家庭教育支援、青少年教育など社会教育に係る学習機会の充実と団体の育成支援を継続します。

社会教育施設の整備・充実

（現状の成果、問題点）

菟川地区公民館の駐車場整備等を行い、移転整備事業を完了しました。また、市立図書館の大規模改修等に係る基本設計業務委託の予算化を進めました。

老朽化の進む他の社会教育施設の計画的な改修が必要となっているほか、新たな施設整備要望への対応も必要となっています。

（今後の方向性）

老朽化した社会教育施設の計画的な改修に努めるとともに、「公共施設保有の最適化と長寿命化のための基本方針」との整合を図りながら、市民ニーズに対応した新たな施設整備に取り組みます。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

社会教育施設では、市民の生涯学習を支援するため、市民ニーズを捉え、多様な講座の開催に努めているところですが、防災・環境など社会的な課題に関する講師への派遣依頼が減少し、依頼を受ける講師に偏りがあるなど、幅広く学習機会に接することができるように更なる創意工夫、改善が必要と考えています。

また、社会教育施設についても老朽化が進んでおり、市民が安全・安心に利用できる施設であることに加え、利便性の高い施設となるよう修繕・改修・整備を計画的に実施していく必要があります。

今後も、市民の学習意欲を高め期待に応えられるよう、ソフト・ハード両面から、生涯学習推進のための環境づくりに努める必要があります。

施策19 社会を担う人材の育成・支援

将来を担う若い世代や女性がライフスタイルに合わせ、社会のさまざまな場面で活動できるように、人材の育成や情報の提供などの支援に取り組みます。

■ 主要事業の実績

県が設置する「ジョブカフェいわて」に、カウンセラーを配置し、若者の就業支援を行いました。

国が設置する「もりおか若者サポートステーション」において、ボランティア活動の場の提供や臨床心理士によるカウンセリングなどを実施し、若年無業者の就業に向けた支援を行いました。

高校生が市内の民間企業でのインターンシップを経験できるよう、参加企業の拡充を図るとともに、高校生とのマッチングを行いました。また、高校生を対象とした職業観の形成や地元定着の意識付けを図るための研修や、高校生や高校の教員を対象とした企業見学会を実施しました。さらに、将来の地元定着を目的とした冊子「モリオカシゴトカメラ」を作製し、盛岡広域管内の高校1年生に対して配布しました。

若者の地元定着を支援するために、就職後3年目までの若手社員を対象に、コミュニケーションスキル向上研修、キャリア開発研修等を実施しました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
若者の就業支援事業	一般		ジョブカフェいわて、若者サポートステーションの運営業務委託、新社会人就職定着支援など	17	17	0
施策の計（一般会計）				17	17	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

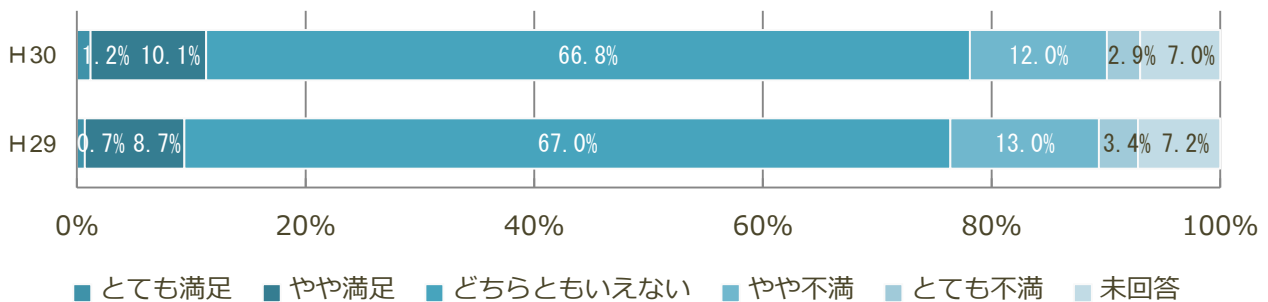
指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移																								
地域若者サポートステーションの支援を受けて就職を決定した人数*	↑	人	<table border="1"> <caption>地域若者サポートステーションの支援を受けて就職を決定した人数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>116</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>116</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>66</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>68</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>50</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>-</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>-</td> <td>140</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	116	-	H27	116	-	H28	66	-	H29	68	-	H30	50	-	R1	-	140	R6	-	140
年度	実績値	目標値																									
当初値	116	-																									
H27	116	-																									
H28	66	-																									
H29	68	-																									
H30	50	-																									
R1	-	140																									
R6	-	140																									
ジョブカフェいわての利用者数	↑	人	<table border="1"> <caption>ジョブカフェいわての利用者数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>29,529</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>32,310</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>31,938</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>42,851</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>51,501</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>-</td> <td>30,000</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>-</td> <td>30,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	29,529	-	H27	32,310	-	H28	31,938	-	H29	42,851	-	H30	51,501	-	R1	-	30,000	R6	-	30,000
年度	実績値	目標値																									
当初値	29,529	-																									
H27	32,310	-																									
H28	31,938	-																									
H29	42,851	-																									
H30	51,501	-																									
R1	-	30,000																									
R6	-	30,000																									

* 厚生労働省への報告が義務付けられている対象者の人数を採用していますが、平成27年度から報告対象が変更されたため、指標も「進路を決定した人数」から「就職を決定した人数」に見直しました。当初値は27年度の実績値としています。

- ・ **地域若者サポートステーションの支援を受けて就職を決定した人数**／△ 遅れが生じている
各関係機関や病院との連携が図られており、延べ利用者数も前年度並を維持し、一定数就職することはできたものの、目標値の半分以下にとどまっています。
- ・ **ジョブカフェいわての利用者数**／◎ 非常に順調に進捗
岩手県が設置する「ジョブカフェいわて」において、就職等に関するカウンセリング等の業務を行っていますが、県事業との連携により、きめ細やかなカウンセリングが実施できていることもあり、利用者は目標を大きく上回っています。

■ 施策に対する市民の実感

「ライフスタイルに合わせた、若い世代や女性の活躍を支援する取組が行われている」と感じる市民の割合



■ 現状の成果、問題点と今後の方向性

若い世代の活躍支援

（現状の成果、問題点）

若年無業者となる背景は、心身の健康上の理由、人間関係に関する不安、多種多様で複雑な要因があり、家族が公にすることを避ける例も多いため、支援を必要とする若年無業者の全容把握は困難です。

もりおか若者サポートステーションの新規登録者は前年と比べて増加しており、延べ利用者数も前年並みを維持していますが、利用者の抱える問題が複雑化していることから、一人の支援に対し、以前に比べて時間を要しています。

「ジョブカフェいわて」は、若年者の就労に関する相談の拠点として十分に認知されています。

（今後の方向性）

若年者は今後の社会を担う貴重な人材であり、就労や職場定着は重要な課題となっていることから、引き続き若年者や若年無業者の就労支援を行います。

もりおか若者サポートステーションの更なる利用促進のため、周知・PRに努めます。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

「ジョブカフェいわて」や「もりおか若者サポートステーション」と連携を図りながら、若い世代や女性が活躍できるよう、今後も様々な支援を展開していきます。

施策20 地球環境の保全と自然との共生

地球環境や豊かな自然を次世代に引き継ぐため、地球温暖化対策やごみの減量化・資源化の推進、水や緑の保全などに取り組み、地球環境の保全と自然との共生を推進します。

■ 主要事業の実績

近郊自然歩道9路線について、ガイドマップの配布及び環境部ホームページ上に詳細なコースマップや花暦、鳥暦などを掲載し、適切な維持管理を行い、利用者の利便及び安全確保に努めました。

環境学習講座を23回開催したほか、環境部ホームページや広報を活用し環境啓発を行いました。

全てのコミュニティ地区ごとの家庭ごみ排出状況を把握し、住民懇談会を実施するなど廃棄物の発生抑制、資源の再使用・再利用などに取り組むとともに、廃棄物処理の広域化を推進するため、構成8市町でごみの減量や廃棄物のリサイクルについて検討しました。

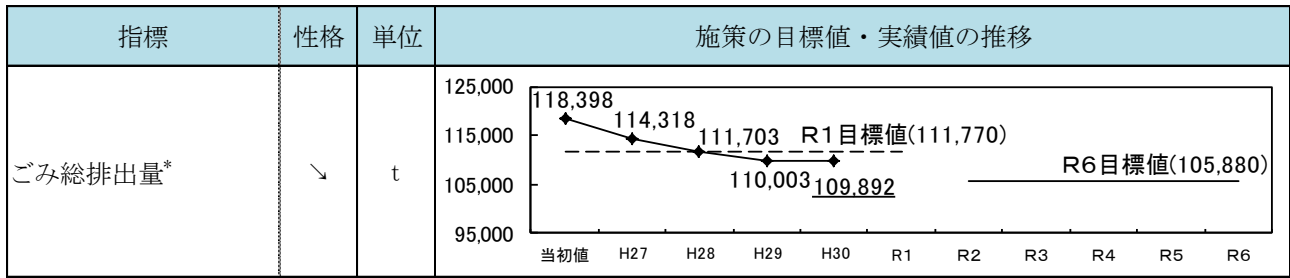
「盛岡市住宅用太陽光発電システム等設置費補助金」を実施し、太陽光発電システム等の普及を図りました。また、「盛岡市における木質バイオマスエネルギーの地域循環型システムの構築に関する研究」を岩手大学と共同で実施しました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
地球環境啓発事業	一般		環境啓発イベント及び環境学習講座の開催、環境部ウェブサイト保守管理など	7	7	0
資源集団回収報奨金交付事業	一般		資源集団回収を行う団体に対する報奨金の交付など	34	31	0
地域循環型生ごみ処理推進事業	一般		地域循環型生ごみ処理の推進のための大型処理機の維持管理	1	1	0
地球温暖化対策実行計画推進事業	一般		太陽光発電システム設置への補助、地球温暖化対策実行計画推進基金の積立てなど	19	20	0
生出地域エコタウン事業	一般	★	電気自動車のリース、LED照明のリース	2	2	0
施策の計（一般会計）				64	59	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
まちづくり評価アンケート調査「自然が守られていると思う」と答えた市民の割合	↑	%	<p>80.8 82.6 82.7 80.4 81.1</p> <p>R1目標値(83.0) R6目標値(86.0)</p>
まちづくり評価アンケート調査「CO ₂ の発生抑制やごみの減量など、地球環境にやさしい生活を常に心がけている」と答えた市民の割合	↑	%	<p>80.7 78.4 79.2 77.1 79.6</p> <p>R1目標値(83.0) R6目標値(86.0)</p>



* 盛岡市一般廃棄物処理基本計画の改訂にあわせ、平成28年度に目標値を変更しました。

・ 「自然が守られていると思う」と答えた市民の割合／△ 遅れが生じている

平成28年度まではほぼ目標値を達成していましたが、平成29年度は実績値が当初値を下回り、平成30年度も目標達成には至っていません。実施した事業については従来と同様の事業を実施していますが、近郊自然歩道設置総延長等が目標に達していないほか、「自然環境が保全されている現状」の周知が不十分であったことが考えられます。

頻発する自然災害や地球温暖化に関する報道などが影響していることも思料されるため、盛岡市環境部のサイト「ecoもりおか」のコンテンツの充実や更新頻度を増やし、環境に関する情報提供に努めているところですが、さらに情報提供の仕方など対応方法の検討が必要です。

・ 「CO₂の発生抑制やごみの減量など、地球環境にやさしい生活を常に心がけている」と答えた市民の割合／△ 遅れが生じている

前年度より実績値が上昇しました。市の地球温暖化対策実行計画の改定をはじめ、異常気象やそれに伴う自然災害が頻発していること、地球温暖化に関する報道も多かったことなどにより、地球温暖化への関心が高まったことが要因として考えられます。

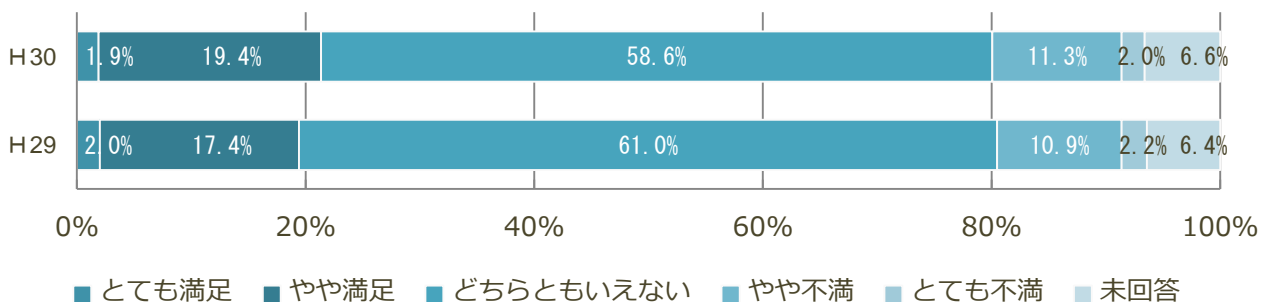
しかし、令和元年度目標値には達していないことから、今後も、地球温暖化対策としてのCO₂削減の重要性や再生可能エネルギー導入の推進、ごみの減量など、取り組みやすい内容を分かりやすく市民に情報発信し、「地球環境にやさしい生活」について市民の意識を高めていく必要があります。

・ ごみ総排出量 ／◎ 非常に順調に進捗

当初値より年々ごみ総排出量が減少し令和元年度の目標を達成しており、ごみの発生抑制やリサイクルの取組が成果として現れています。

■ 施策に対する市民の実感

「エネルギーの有効利用や廃棄物の発生抑制など、環境への負荷を軽減する取組が行われている」と感じる市民の割合



■ 現状の成果、問題点と今後の方向性

自然の保護と活用

（現状の成果、問題点）

近郊自然歩道や登山道の情報を提供するとともに適切な管理を行い、市民が自然に親しむ場所を提供することができました。

玉山地域の近郊自然歩道について検討中ではありますが、関係者との協議に時間を要しています。

（今後の方向性）

森林や河川などのかけがえのない自然や多様な生物が生息する環境を適切に守り、次世代に引き継ぐとともに、自然に親しむ機会を増やし、より多くの市民が自然を感じられる環境づくりを進めます。

環境を大切に作る心の育成

（現状の成果、問題点）

環境学習講座やエコライフ推進イベントの参加者数、環境部ホームページの閲覧者数が増加傾向にあります。

環境啓発を広く行うため、環境学習講座や環境部ホームページの内容を充実させる必要があります。

地球環境にやさしい生活を常に心がけている市民の割合が上昇と下降を繰り返しており、令和6年度目標への道筋が見えない状況です。

（今後の方向性）

市民や事業者に環境保全に向けた取り組みやすい情報を分かりやすく提供するとともに、環境学習講座の開催や環境啓発の周知を行い、環境を大切に作る市民・事業者を育成します。

資源循環型社会の形成

（現状の成果、問題点）

家庭ごみ（資源を除く）の減量に向けての各種事業により、分別排出及び資源化に対する市民の意識が高まり、ごみ総排出量、1人1日当たりの排出量とも着実に減少しています。

事業系ごみの減量・資源化を促進するための具体的な方策を検討する必要があります。

（今後の方向性）

市民・事業者・行政の三者が協働して、廃棄物の発生抑制、資源の再使用・再生利用などの取組をさらに進めることにより、「循環型社会」の推進を目指します。

事業系ごみの搬入規制導入により、資源化の推進及びごみ総排出量の一層の削減を目指します。

地球温暖化対策の推進

（現状の成果、問題点）

住宅用太陽光発電システム等への補助により、138件の太陽光発電システムが設置されました。

岩手大学と共同研究した木質バイオマスエネルギーの地域循環型システムの構築について、具体的な事業化を検討する必要があります。

（今後の方向性）

温室効果ガスの排出量削減のため、太陽光、風力、木質バイオマスなどの再生可能エネルギーの普及促進を図るとともに、市民や事業者への省エネ行動の啓発などを進めます。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

ごみの発生抑制、再使用及び再生利用（3R）推進により、ごみの排出量は着実に減少していますが、事業系ごみの減量・資源化については、古紙の搬入規制など早期に実効性のある施策を展開する必要があります。

地球温暖化対策、自然環境保全について、講座を多数開催するなど施策の推進に努めているところであり、今後も再生可能エネルギーの拡大、市民の省エネ行動の啓発など効果的に進める必要があります。

基本目標4 人が集い活力を生むまちづくり

施策21 農林業の振興

生産地であり、かつ、消費地である地域特性をいかし、都市部との交流を図りながら、地産地消をベースとした付加価値の増大につながる農林業を推進するとともに、山林農地の有する国土保全・水源かん養などの多面的機能を維持・発揮するため、農林業者の経営力の向上や後継者の育成などの支援に取り組めます。

■ 主要事業の実績

地域で作成した「地域農業マスタープラン」を推進するため、「農地調整支援員」を配置し、担い手への農地の利用集積、集約化の支援を行ったほか、「農業経営改善支援員」の配置、2年目となる「親元就農給付金事業」の取組により、新規就農者及び担い手の育成・確保に努めました。

「もりおかの食と農バリューアップ推進戦略」に基づき、多様な主体が参画できる交流サイトの運用開始やロゴマーク「美食王国もりおか」の作成、「盛岡美食の夜」の開催、6次産業化等スタートアップ支援事業などを実施し、異業種連携の促進と盛岡産農畜産物の認知度向上を図りました。

農業用水路などの農業施設の維持管理のほか、農村地域の生活環境の保全に向けた地域一体となった取組を推進しました。また、国の中山間地域等直接支払事業を活用し、耕作放棄の防止と農地の多面的機能の維持・確保に努めました。

健全な森林の育成を促進するとともに、「市産材流通推進アクションプラン」に基づき、市産材の安定供給と地域林業の活性化に取り組めました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
水田農業構造改革事業	一般		米の計画的生産と水田を有効に活用した麦、大豆等の生産の定着と拡大に係る助成	14	14	0
いわて地域農業マスタープラン実践支援事業	一般		農業者が組織する団体等に対する農業機械導入・施設整備等に係る経費の補助	20	13	0
果樹産地化事業	一般		早期多収及び省力化を図ることができるりんごの「わい化栽培」のための苗木、支柱などの購入経費補助	1	1	0
食と農の連携推進事業	一般		6次産業化・地産地消の推進に資する戦略づくりとそれに基づく事業者育成や販路開拓支援の展開、盛岡の食の魅力発信など	30	36	0
中山間地域等直接支払事業	一般		中山間地域で耕作放棄防止を内容とする協定に基づき継続して農業生産活動を行う農業者などを支援するための交付金の支給	53	53	0
環境保全型農業直接支払交付金事業	一般		農地・農業用水等の資源や環境の良好な保存に有用な、生物多様性の保全に効果の高い営農活動や有機農業に取り組む団体への補助	15	10	0
畜産振興事業	一般		畜産農家に対する高能力素牛の導入や畜産技術の指導・普及に係る支援など	13	62	0
有害鳥獣対策事業	一般		市鳥獣被害防止計画に掲げる有害鳥獣の捕獲及び被害防除の実施	4	4	0
市産材利用拡大推進事業	一般	(★)	市産材利用住宅の新築等への補助や町内会等による公共的な施設整備への市産材提供	3	3	0
多面的機能支払交付金事業	一般		水路や農道等の管理、軽微な補修及び長寿命化等の活動への交付金支出	244	239	0
農業基盤整備事業	一般	(★)	農業者などが組織する団体が行う農道整備や土地改良への助成を行い、農業生産基盤の整備を支援	71	141	0

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
森林適正管理推進事業	一般	★	森林の造林や除間伐, 林内作業道の開設などに対する助成など	5	5	0
市有林造成事業	一般	★	市有林の造成と公益的機能の充実のために行う森林の保育, 間伐, 作業道改良など	65	46	10
地籍調査事業	一般		根田茂地区の境界の立会及び測量並びに28年度に調査した砂子沢及び梁川地区の測量成果の閲覧及び地籍図の作成	18	9	23
施策の計 (一般会計)				555	635	33

- **いわて地域農業マスタープラン実践支援事業**

導入牛舎の構造を木造からパイプ構造に見直したことにより, 補助対象事業費が減少したため, 実績額が小さくなりました。

- **畜産振興事業**

畜産クラスター施設整備事業補助金が皆増したため, 実績額が大きくなりました。

- **農業基盤整備事業**

国の二次補正予算による県営事業の実施に伴い, 市の負担額も増額となり, 実績額が大きくなりました。

- **地籍調査事業**

国の二次補正予算に採択され, 地籍調査の進捗を図ったため, 実績額 (翌年度繰越額を含む) が大きくなりました。

■ まちづくり指標 (成果指標) の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移																								
農業総生産額*	↗	百万円	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>7,697</td><td>7,700</td><td>7,643</td><td>8,830</td><td>9,439</td><td>8,876</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>9,053</td></tr> </table>	年度	当初値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	実績値	7,697	7,700	7,643	8,830	9,439	8,876					9,053
年度	当初値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																
実績値	7,697	7,700	7,643	8,830	9,439	8,876					9,053																
林業総生産額*	↗	百万円	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>532</td><td>900</td><td>932</td><td>958</td><td>830</td><td>922</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>966</td></tr> </table>	年度	当初値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	実績値	532	900	932	958	830	922					966
年度	当初値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																
実績値	532	900	932	958	830	922					966																
新規就農者数	↗	人	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>71</td><td>97</td><td>111</td><td>126</td><td>150</td><td>121</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>171</td></tr> </table>	年度	当初値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	実績値	71	97	111	126	150	121					171
年度	当初値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																
実績値	71	97	111	126	150	121					171																
農用地の利用集積面積	↗	ha	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>2,476</td><td>2,981</td><td>3,044</td><td>3,170</td><td>3,270</td><td>4,230</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4,581</td></tr> </table>	年度	当初値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	実績値	2,476	2,981	3,044	3,170	3,270	4,230					4,581
年度	当初値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																
実績値	2,476	2,981	3,044	3,170	3,270	4,230					4,581																

* 推計方法の変更や新しい統計結果等により遡及改訂をしており, 過去の公表値と異なります。

・ **農業総生産額**／◎ **非常に順調に進捗**

平成30年度の農業生産額が上昇した要因は、主として養鶏業に拠るものであり、基幹農作物である米については微増、野菜と果樹については微減となっています。

平成30年度は、米の生産数量目標が廃止され新たな米政策が始まった年ですが、特に大きな混乱もなく新制度に移行することができました。今後も、需要に応じた米政策を推進する必要があります。

野菜等園芸作物については、気象条件に左右されやすい面がありますが、引き続き産地化と生産施設整備による生産性の向上を推進する必要があります。

果樹については、「盛岡りんご」を中心に、市場での競争力を高めるための戦略的な取組を推進する必要があります。

・ **林業総生産額**／△ **遅れが生じている**

平成30年度は、素材生産量の減少に伴い総生産額が低下しましたが、素材価格は全国的に上昇傾向にあることから、市産材利用の促進による素材生産量の増加を図ることで、林業総生産額の向上が見込まれます。

・ **新規就農者数**／◎ **非常に順調に進捗**

国の「農業次世代人材投資事業」による支援に加え、平成29年度に市単独の「親元就農給付金事業」を創設したほか、「農業経営改善支援員」によるきめ細かな相談業務により、平成25～30年度までの6か年で79人、平成30年度は24人の新規就農者を確保しました。

農業者の高齢化、担い手不足に対応するため、引き続き新規就農者の育成・確保に努めるとともに、新規就農者が地域農業を牽引する担い手に成長できるよう、関係機関と連携した支援を継続する必要があります。

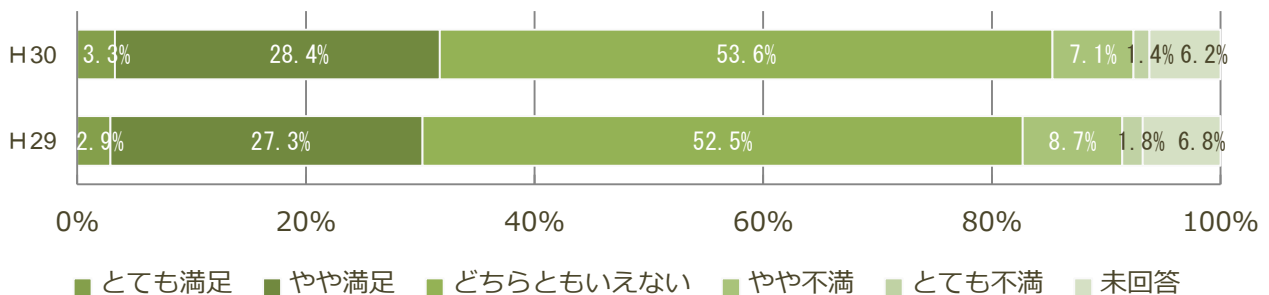
・ **農用地の利用集積面積**／△ **遅れが生じている**

担い手への農地集積は、令和元年度目標値の約77%であり、目標達成は困難な状況にあります。要因は、「貸し手」と「借り手」のマッチングがうまくいっていない部分があること、特に中山間地域においては、耕作条件が悪いことなどから集積が進みにくい環境にあることが考えられます。

地域農業マスタープラン（人・農地プラン）の実質化に向けた検討会などの機会を捉え、集積を進めるための各種支援策を具体的に紹介しながら農地中間管理事業の周知を図るとともに、集積目標については、各地域の実情に応じた目標設定を検討する必要があります。

■ **施策に対する市民の実感**

「地域特性を生かした、地産地消の取組が進んでいる」と感じる市民の割合



■ **現状の成果、問題点と今後の方向性**

経営力・生産意欲の向上と後継者の育成

（現状の成果、問題点）

「もりおかの食と農バリューアップ推進戦略」の重点取組期間の最終年度となっていることから、事業の総仕上げに向けた取組を推進するとともに、これまでの取組の検証を行う必要があります。

新規就農者については、地域農業を牽引する担い手に成長できるように支援を継続する必要があります。

カラス、ニホンジカ、ツキノワグマ等有害鳥獣により、毎年2千万円以上の農作物被害が発生しているほか、近年は、イノシシやハクビシンなどの新たな鳥獣による被害も拡大しているため、対策の強化が必要です。

（今後の方向性）

・盛岡への来訪者・新規就農者・食に関わる担い手の増加に向け、多様な主体による交流のさらなる拡大と継続的成長の実現を目指し、本市の農業や食産業が潤うことによる地域経済の活力の底上げを図ります。

・新規就農者の確保対策を引き続き進めるとともに、親元就農給付金制度を見直し、定年帰農者など新たなニーズに応えるほか、スマート農業や輸出支援など、新たな担い手の掘り起こしにつなげる取組を行います。

・猟友会等関係機関と連携しながら、鳥獣被害対策実施隊員の育成・確保に係る支援など、有害鳥獣被害対策を強化します。

・森林資源の循環利用のため、市産材の需要拡大を推進するほか、新しい森林経営管理制度に対応し、適切な経営管理が行われていない森林における施業の促進や、林業労働力の確保に向けた取組を進めます。

生産基盤の整備

（現状の成果、問題点）

水田、畑、樹園地の面積は、いずれも横ばい傾向にあり、農家の労働力不足に起因する耕作放棄地の増加、公共事業に伴う農地の減少が要因となり、増加に転じ難い状況にあります。中山間地域においては、過疎化や高齢化の進展により集落内の農地を維持していくことが困難な状況にあり、耕作放棄地の再生、農地の利用集積を一層推進する必要があります。

木材価格の低迷などを受け、利用期を迎えているにも関わらず放置される人工林が増加していることから、森林所有者の森林経営意欲を向上させ、森林資源の循環利用を促進する取組を進める必要があります。

（今後の方向性）

・地域特性に応じた土地改良事業、老朽化した水路の更新・改修を推進するほか、地域協働による農用地保全活動への支援を行います。

・担い手に対する農地の集積・集約化を推進するほか、スマート農業の導入を推進し、生産性の向上を図ります。

・消費者から選ばれる産地を目指し、消費者と市場のニーズに対応できる生産体制の構築を推進します。

・商業店舗や公共施設等における市産材利用を推進し、市民に市産材の魅力を発信することにより市内の森林資源の循環利用を促進します。

・森林資源の詳細な現況調査を実施し、林業経営体との連携による森林の適正管理を推進します。

・再造林や保育・間伐作業への支援を安定的かつ継続的に行い、森林経営に対する森林所有者の意欲の低下を防ぎます。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

「農林業の振興」における重要課題のひとつは、農林業従事者の高齢化、後継者不足に伴う労働力不足であり、担い手農家、新規就農者、林業経営体、林業就業者の育成・確保が急務となっています。このことに対応するため、「農業分野」においては、引き続き関係機関と連携し、担い手農家への農用地の利用集積を推進するほか、新規就農者への支援を行う必要があります。「林業分野」においては、林

業の成長産業化と森林資源の適正管理を図るため、令和元年度からスタートした「森林経営管理制度」に対応し、森林環境譲与税を活用しながら、基礎データとなる森林所有者の意向調査をはじめとする、新たな事務事業に取り組むこととしています。

また、生産性を向上させ、儲かる農林業の実現のため、生産基盤、生産施設の整備を推進するとともに、ICTやロボット技術を活用したいわゆるスマート農業、スマート林業の導入、普及に向けた取組を推進する必要があります。

戦略プロジェクトである「食と農」・「ものづくり」応援プロジェクトにおいては、盛岡産農畜産物の高付加価値化と販路拡大に向け、平成29年度に策定した「もりおかの食と農バリューアップ推進戦略」に基づく10のアクションプランを着実に実施する必要があります。

施策22 商業・サービス業の振興

商業の活発な事業活動を展開させるため、地域特性をいかしたにぎわいのある商店街の形成や、生産者、消費者、商業者等の連携の促進、多様なサービス業の育成・活性化の支援など、商業・サービス業の振興を図ります。

■ 主要事業の実績

盛岡商工会議所等と連携し、各商店街に対し、盛岡市商店街連合会を通じたイベント開催等への補助などを行ったほか、地方創生交付金事業を活用し、魅力のある商品を扱う県内の生産者と中心市街地の商店街等の個店とのマッチングを図る事業を実施するなど、商店街・個店の魅力向上を図りました。

また、中心市街地の商店街の活性化を図るため、空き店舗出店費補助金（空き店舗への新規出店者に対する改装費の一部を助成する制度）による空き店舗の活用を促進したほか、「MORIO-Jカード」を活用した地域ポイントカード事業の実施により、中心市街地の回遊性の維持に取り組みました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
商店街活性化支援事業	一般	(★)	商店街のイベント、商店街からの情報発信、個店の魅力アップ、空き店舗対策などの支援	10	9	0
商工団体育成事業	一般		商工団体に対する事業費補助などの活動支援	36	36	0
商店街等指導事業	一般		商店街や業界団体等に対する経営指導、商店街の組織強化に対する支援	1	1	0
中央卸売市場活性化事業	市場		市場活性化ビジョンの推進（活性化アクションプランへの助言指導業務委託、卸売市場開放デー開催など）	1	1	0
施策の計（一般会計）				46	45	0
施策の計（一般会計以外）				1	1	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
卸・小売の年間販売額*	↑	億円	<p>当初値 10,724 H26 10,220 H28 12,664 R1目標値(11,300) R6目標値(11,800)</p>
サービス業の事業所数*	↑	事業所	<p>当初値 4,639 H26 5,207 H28 5,000 R1目標値(4,900) R6目標値(5,100)</p>

* 経済センサスにより数年に一度調査している項目であるため、調査がない年度の数値は掲載していません。

・ 卸・小売の年間販売額／◎ 非常に順調に進捗

平成26年度に比べて特に卸売業の販売額が増加していますが、岩手県内の経済情勢において緩やかな回復の動きが継続していることから、当市においても同様の傾向にあることが要因と思われます。一方、小売の年間販売額は26年度に比べて増加していますが、日中の小売顧客は郊外型大型店舗に

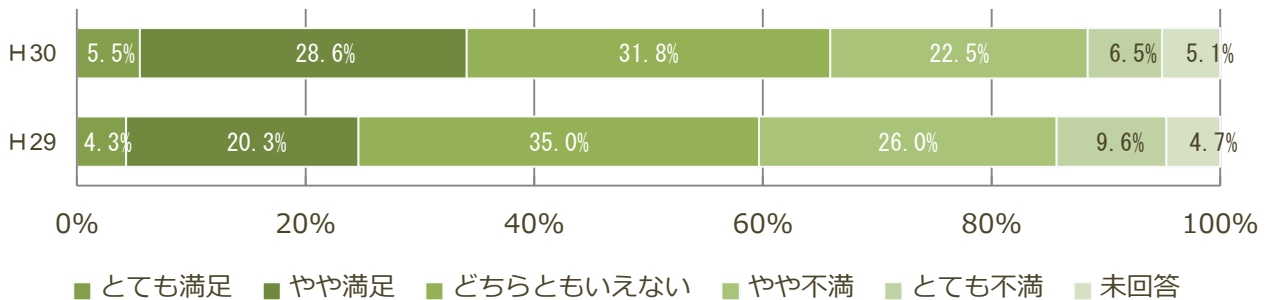
流れており、中心市街地における小売業は引き続き厳しい状況にあります。

・ サービス業の事業所数／◎ 非常に順調に進捗

平成26年度との比較では減少していますが、当初値に比べるとサービス業全般に上昇しています。特に医療、福祉部門の事業所数の増加が顕著であり、高齢者の増加による社会的ニーズの高まりが要因と思われます。

■ 施策に対する市民の実感

「商店街で買い物がしやすい」と感じる市民の割合



■ 現状の成果、問題点と今後の方向性

魅力ある商店街の形成支援

(現状の成果、問題点)

商店街や起業者等への補助制度により、各種集客イベントが開催され、来街者の誘引や新規出店が図られ、中心市街地の年間小売販売額の減少を食い止めているものの、中心市街地の店舗が、小売業から飲食・サービス業に業態変化しており、日中の通行量が減少する流れに歯止めがかかっていません。

観光客入込数は増加しており、交通の利便性に繋がる基盤整備事業やソフト事業の実施による一定の効果は見られますが、年間を通した通行量の増加に至っていません。

(今後の方向性)

平成29年度に策定した、「盛岡市商業振興ビジョン」に基づき、商業振興施策を体系的、計画的に推進していくとともに、令和元年度末に運用開始予定の「盛岡市立地適正化計画」とも連携しながら、「中心市街地活性化つながるまちづくりプラン」に沿って、関係団体が相互に連携し、社会構造の変化に対応した持続可能な中心市街地の形成に取り組みます。

各種事業を推進していくにあたって、市の補助金、負担金は重要な財源となっていることから、補助制度は必要と考えられますが、市としても各事業の内容について十分な精査を行ったうえで交付額を算定していく必要があります。

ロジスティクス機能の充実

(現状の成果、問題点)

平成29年3月に作成した「市場活性化ビジョン2017」により、場内業者と開設者が一体となって活性化等に取り組むことにより、卸売市場の役割や魅力の発信を行うことができました。

卸売・運輸・通信事業者数は、基準年と比べて増加傾向にあるものの、卸売市場の年間取扱高は減少しており、生鮮食料品の安定供給、効率的な物流に対する市場の役割が相対的に低下してきています。

(今後の方向性)

「活性化ビジョン2017」の令和元年度行動計画を場内業者と一体となって策定し、その着実な実行に取り組めます。

改正市場法に対応する必要があるため、活性化ビジョンの中間年度でもあるため、事業者と一体となり、市場活性化ビジョンの見直し作業を進めます。

盛岡市公共施設等総合管理計画による個別計画として、新たに（仮称）盛岡市中央卸売市場施設・設備保全（長寿命化）計画を作成し、市場機能の維持及び適正化を図ります。

多様なサービス業の振興

（現状の成果、問題点）

観光客やインバウンドが増加したことや盛岡三大麺の認知度が向上したことなどにより、それらをターゲットにしたサービス業の新規出店や人員増を行う事業者が増え、サービス業の新規求人数の増加に寄与しました。

補助金の活用が個店の魅力向上や売上増など直接の成果につながるよう取り組む必要があります。

（今後の方向性）

各種事業を推進するに当たり、市の財政的支援は重要であり、補助制度は必要であると考えられます。

平成29年度に策定した「盛岡市商業振興ビジョン」に基づき、商業振興施策を体系的、計画的に推進していきます。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

国内、県内経済が、穏やかな回復傾向にある中、卸・小売の年間販売額とサービス業の事業所数は、令和元年度の目標値を上回っていますが、中心市街地においては、郊外型大型店舗の影響により、小売販売額は、逡減傾向にあります。また、令和元年度に入り、中心市街地の中核商業施設が閉鎖した影響も踏まえ、魅力ある商店街や個店づくり、集客イベントの開催支援など、関係団体と連携を図りながら、中心市街地の活性化への取組を強化する必要があります。

卸売市場における生鮮食料品の流通については、出荷団体や小売店などのニーズに対応した品揃えの充実と集荷力の向上に努めながら、活発な市場取引のほか、改正市場法に対応した取組を推進する必要があります。

施策23 工業の振興

製造業等の活発な事業活動を展開させるため、大学や公的研究機関などとの連携を進めるとともに、企業の新技術や商品開発、海外展開を支援するほか、新事業創出や起業の支援、産業集積基盤の整備、ものづくり人材の育成など、工業の振興を図ります。

■ 主要事業の実績

企業サポート専門員を配置し、企業訪問を引き続き実施する体制を整え、165件の企業訪問を行いました。

平成30年度は、計画していた企業数である2社より多い4社が、補助事業を活用し大学等と共同研究を実施しました。また、新たに固定資産を投下した15社を含む19社に対して、56件・48,693,890円の固定資産税相当額の補助を行いました。

周辺市町と連携して実施した起業家塾@もりおかの卒塾生による2件の新規創業がありました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
工業振興事業	一般		製造業者や事業者に対する助成制度の運用、企業訪問による企業経営課題への助言・指導支援、浜民運動場測量など	19	68	0
新産業等用地整備事業	一般		道明地区の産業等用地整備	100	74	0
地場・伝統産業振興事業	一般	(★)	盛岡市産業まつり、いわての物産展等の開催支援	5	6	0
産業支援事業	一般		経営相談窓口の設置及び専門家派遣、新分野進出企業の支援	2	2	0
産学官連携研究センター管理運営事業	一般		産学官連携研究センターの管理運営	19	19	0
新事業創出支援センター管理運営事業	一般		新事業創出支援センターの管理運営	8	8	0
産業支援センター管理運営事業	一般		産業支援センターの管理運営	16	16	0
施策の計（一般会計）				169	192	0

・ 工業振興事業

盛南地区(306街区)に係る一般会計再取得土地代金が増加したため、実績額が大きくなりました。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
製造品出荷額等*	↑	千万円	<p>20,000 16,000 12,000 8,000</p> <p>10,171 10,107 15,018 11,929 11,962</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6</p> <p>R1目標値(10,511) R6目標値(11,017)</p>

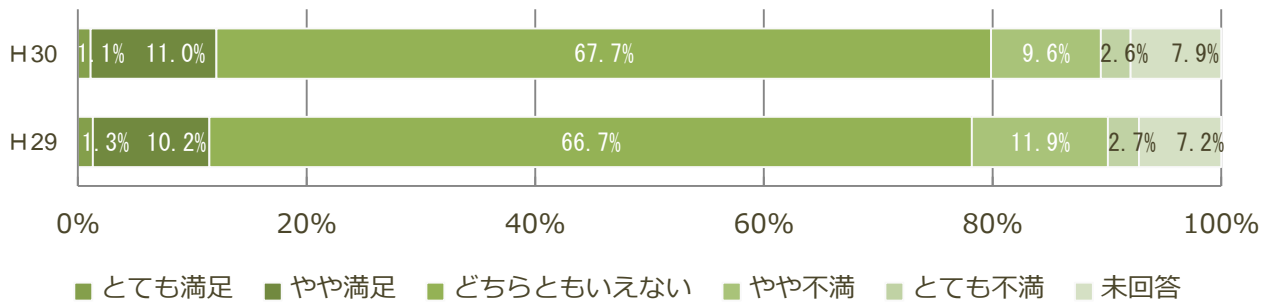
* 計画策定時は、速報値を当初値に用いて目標値を設定していましたが、確定値が目標値を超えたため、28年度に目標値を変更しています。

・ 製造品出荷額等／○ 順調に進捗

製造品出荷額等の実績値が増加しており、企業の設備投資に対する補助事業も活用されていることから、市のリーディング産業である金属製品製造業などの業績が好調であることが指標に表れたものと認められます。

■ 施策に対する市民の実感

「大学や公的研究機関などとの連携や、新事業創出や起業の支援など、工業の振興への取組が行われている」と感じる市民の割合



■ 現状の成果、問題点と今後の方向性

地場企業の経営力の強化

（現状の成果、問題点）

経営改善等研修会について、市の事業として開催したのものもありましたが、研修会等の開催数が減少しています。

企業サポート専門員を配置し、企業訪問を引き続き実施する体制をとり、年間100件を目標に実施していますが、目標を大きく上回る165件の企業訪問を行いました。

国内外を対象とした販路開拓支援事業の内、国外の出展が2件ありました。

（今後の方向性）

企業訪問により事業者の意向を把握し、事業者の共通する課題の解決が図られるような研修会を実施するとともに、事業者の意向や個別課題等の把握に努め、情報提供や助言・指導を行います。また、一層計画的・効率的な企業訪問ができるよう努めます。

販路開拓支援事業については、一層の周知に取り組みます。

産学官金連携と新事業育成の支援

（現状の成果、問題点）

平成30年度は、計画していた企業数である2社より多い4社が、補助事業を活用し大学等と共同研究を実施しましたが、製品化には更に研究が必要な状況にあります。また、産+学+官+金+民による新事業育成の支援体制が有効に機能するように取り組む必要があります。

（今後の方向性）

補助事業等の周知を実施します。

インキュベーションマネージャー等と情報交換を実施し、インキュベーション施設の活用と有効な支援策について研究します。

高等教育機関、産業従事者等と連携し、人材の育成にかかる支援策について検討します。

新技術の製品化・事業化につなげるため、産学官金の関係者と緊密に情報交換を行い、交付金の活用も検討しながら、実効性のある支援策について研究します。

上記検討結果を踏まえた支援を実施します。

企業集積と生産基盤の拡充促進

（現状の成果、問題点）

製造業等の新たな企業立地が進んでおらず、盛岡テクノパークの残地も未売却となっています。

（今後の方向性）

盛岡テクノパークの残地について、引き続きPRに努めるとともに入居企業の用地拡充の方向性を併せて検討します。

盛岡テクノパークの残地や整備中の道明地区に工場の集積が図られるよう補助制度の見直しを図ります。

道明地区において新たな産業等用地の整備に取り組みます。

創業・起業の支援

(現状の成果, 問題点)

周辺市町と連携して実施した起業家塾@もりおかの卒業生による2件の新規創業がありました。

起業家塾を受講した創業者または創業希望者がインキュベーション施設へ入居し、インキュベーションマネージャー等の支援を受けるといった流れの創業が少ない状況にあります。

(今後の方向性)

同様の創業者向け施策の周知を実施します。

インキュベーション施設連絡会議の実施により起業家情報を共有します。

インキュベーション施設への入居メリットなどの情報を、起業家塾で周知するとともに、アフターフォローやホームページ等により創業者に周知します。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

国内、県内経済が、穏やかな回復傾向にある中、製造品出荷額は、令和元年度の目標値を上回っています。引き続き、積極的な企業訪問に努め、地場企業の経営力強化や産学官連携、新事業育成支援、創業・起業支援の取組を推進するとともに、道明地区新産業等用地の整備を進め、企業の集積と生産基盤の拡充促進を図る必要があります。

また、成長分野である医療機器製造、ライフサイエンス、ヘルスケア関連産業の集積を進めるため、関係企業の海外展開やクラスター形成の支援を進めるほか、県、TOLIC、盛岡ヘルスケア産業協議会など、関係団体との連携強化を図る必要があります。

施策24 観光の振興

盛岡に多くの人を訪れるようにするため、地域資源を活用した観光地域づくりと広域的な観光交流の促進に努め、積極的な情報発信により、国内外の旅行者やコンベンションの誘致を推進するとともに、祭り・イベントの充実や特産品などの物産の振興、おもてなしの心の醸成や受入態勢の整備など、観光の振興を図ります。

■ 主要事業の実績

盛岡の歴史・文化やまち並み、伝統芸能などの地域資源を活用したイベント開催や、首都圏等で開催する盛岡デーや観光と物産展を通じた魅力発信・特産品のPRなどにより、盛岡ファンの獲得・拡大に努め、目標とする観光客入込数500万人回を達成しています。また、関係団体や民間事業者と連携したMICE誘致の取組や、広域連携による滞在・周遊型観光の取組の推進、「東北絆まつり2018盛岡」の開催など、広く国内外に向けて盛岡の認知度・知名度の向上を図りました。

全国的に外国人観光客が増加傾向にある中、盛岡広域圏や東北六市連携による海外プロモーションの展開、まちなか観光における多言語対応や外国語による情報発信等により、外国人観光客入込数は過去最高となる53,432人回となりました。

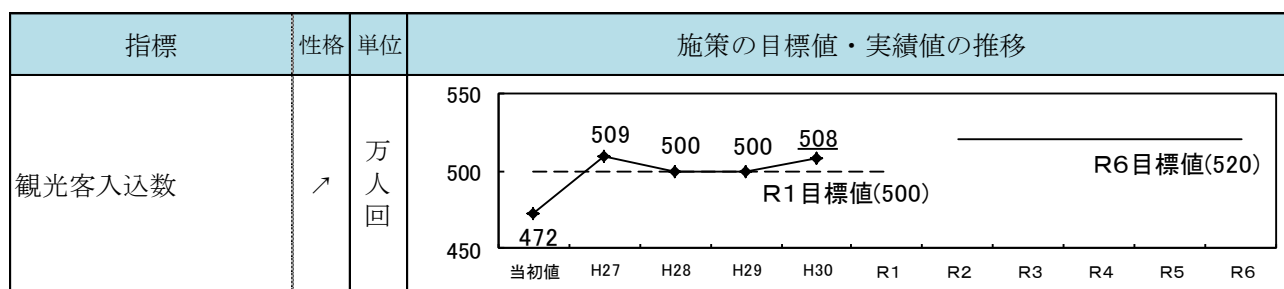
(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
盛岡デー等観光PR事業	一般	(★)	盛岡デー、東北絆まつりなどの開催による総合的な観光PR活動	229	229	0
祭り・イベント振興事業	一般		伝統行事・祭り支援（盛岡さんさ踊り、チャグチャグ馬コ、盛岡秋まつり山車など）、イベント開催支援（盛岡花火の祭典など）	53	53	0
MICE（マイス）誘致推進事業	一般		盛岡広域圏内を主会場として開催する一定規模以上の会議やコンベンションなどに対する補助	25	8	0
広域観光推進事業	一般		関係団体（岩手県観光協会、八幡平国立公園協会、盛岡駅観光案内所など）への支援・補助	18	17	0
道の駅設置事業	一般	★	整備方針の検討	1	1	0
施策の計（一般会計）				325	307	0

・ MICE（マイス）誘致推進事業

国際会議や全国規模の大会等については、前年若しくは前々年に開催が決定されている場合が多く、助成の申請が想定を下回ったため、実績額が小さくなりました。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況



・ 観光客入込数／◎ 非常に順調に進捗

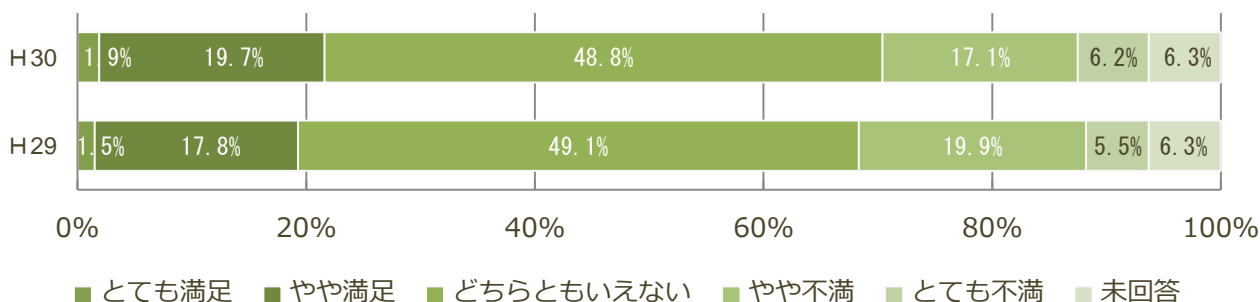
盛岡広域圏や東北六市連携によるプロモーション活動、地域資源を活用したイベント開催や情報発

信等により、観光地域としての認知度の向上や目的地としての選択につながっているものと考えられます。

外国人観光客入込数の増加の要因として、いわて花巻空港の国際定期便（台北桃園，上海浦東）就航による効果が大きく、今後、更なる増加が期待されることから、外国人受入環境整備やプロモーション活動の強化、相互交流の促進が課題となります。

■ 施策に対する市民の実感

「観光地としての魅力が溢れている」と感じる市民の割合



■ 現状の成果，問題点と今後の方向性

観光情報の発信と観光客誘致の推進

（現状の成果，問題点）

観光客入込数は中間目標値（500万人回）を達成し、交流人口が拡大しました。

盛岡デーなど各種物産展等の開催を通じた誘客宣伝・特産品PRにより、盛岡の認知度向上や目的地としての選択につながりました。

祭り等主催団体への支援や、年間を通じて祭り・イベントの充実を図ったことにより誘客・交流人口の拡大につながりました。

滞在型・周遊型観光を推進する中で、盛岡泊のインセンティブをより強く訴えていく必要があります。

（今後の方向性）

祭り行事やイベント，まちなか観光の充実を図るとともに、観光資源の掘り起こしやブラッシュアップを行い、盛岡の旬な観光情報を積極的に発信していきます。

盛岡デーや観光と物産展などのプロモーション展開により、盛岡ファンの獲得・拡大に努めます。

広域連携による取組を推進し、観光地域としてのエリアの知名度・認知度の向上を図ります。

観光地域づくりと滞在型観光の推進

（現状の成果，問題点）

MICE開催助成制度が東北の県庁所在地では最も遅かったこともあり、コンベンションシティとしての情報発信を強化していく必要があります。

国内旅行市場は伸び悩み傾向にあり、魅力ある観光地域として訴求力を高め、滞在型観光を推進する必要があります。

（今後の方向性）

東北六市連携によるプロモーションについては、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機とした一層の誘客拡大を目指し、各市の夏祭りを軸としながら東北の自然や文化，食の魅力などをテーマに広域観光ルートの提案を行い、周遊型・滞在型観光を促進していきます。

広域12市町の枠組みによる盛岡・八幡平広域観光推進協議会の活動等を通じ、圏域の滞在型・周遊型観光を促進していきます。

MICE誘致については、(公財)盛岡観光コンベンション協会等関係団体や民間事業者と連携して取組を進めていきます。

国際観光の推進

(現状の成果, 問題点)

外国人観光客が増加傾向にある中、現状では、Wi-Fi環境の整備やまちなか観光における多言語対応、外国語による情報発信などの外国人の受入環境が十分ではありません。

(今後の方向性)

主要ターゲット国をタイ及び台湾に設定し、広域連携による観光プロモーションを強化するとともに、外国人観光客を対象としたリピーター獲得の取組や情報発信について研究します。

Wi-Fi環境整備のほか、写真やピクトグラムを活用するなど、外国人観光客受入環境の整備を推進します。

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催や2021年の東北デスティネーションキャンペーンを契機とした一層の誘客拡大を目指します。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

観光客入込数は令和元年度目標値を達成し、外国人観光客入込(宿泊)数も前年比56%増と大きく増加しています。経済的な効果の大きい市内宿泊観光客数は前年比6.3%の増加となりました。引き続き、広域連携によるプロモーション活動を通じて、観光地域としての認知度の向上を図るとともに、観光資源のブラッシュアップや情報発信の強化により、盛岡ファンの拡大やリピーターづくりを図っていく必要があります。

施策25 雇用の創出

若い世代を中心とした市民の多様な働く場を確保するため、商工団体等との連携を図るとともに、積極的な企業誘致を展開するほか、創業支援などにより、多様な雇用の創出を図ります。

また、勤労者が安心して働くことができるように、労働環境の向上を促進します。

■ 主要事業の実績

岩手県中小企業団体中央会ほか6つの商工関係団体に対して、岩手労働局、県と合同で要請活動を行い、雇用拡大を図りました。また、若年層の地元定着を図るため、ハローワークや県等との連携による就職面談会を実施したほか、就職を目指す高校生を対象とした研修会や地元企業の協力によるインターンシップを実施しました。

地元企業を対象に、採用力向上に向けた新しい採用手法に関するセミナーや、自社の魅力を伝えるプレゼンテーションの方法、学生を振り向かせる採用イベント作りの方法に関する研修会を実施しました。また、企業の採用担当者との座談会を実施し、学生の就職活動の実状や、就職活動中の学生の心境等を知り、今後の採用活動方法を検討する機会を設定しました。

企業誘致については、県と連携した誘致を推進するとともに、「在京盛岡広域産業人会」を通じた首都圏企業の情報収集のほか、「立地セミナー」の開催に取り組んだことにより、1社の誘致に結びつきました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
盛岡広域企業誘致推進事業	一般	(★)	情報関連・研究開発・食料品製造系企業などの誘致	49	52	0
雇用対策推進事業	一般		もりおか就職面接会の開催、正規雇用など雇用拡大に向けた取組	2	2	0
勤労者対策事業	一般		勤労者福祉団体への補助、勤労者向け融資制度の預託	75	75	0
施策の計（一般会計）				126	129	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
盛岡公共職業安定所管内の有効求人倍率	↑	倍	<p>当初値 0.94 H27 1.13 H28 1.19 H29 1.29 H30 1.38 R1 目標値(1.00) R6 目標値(1.00)</p>
盛岡公共職業安定所管内の就職率*	↑	%	<p>当初値 37.4 H27 37.6 H28 38.1 H29 39.1 H30 38.3 R1 目標値(40.0) R6 目標値(42.5)</p>

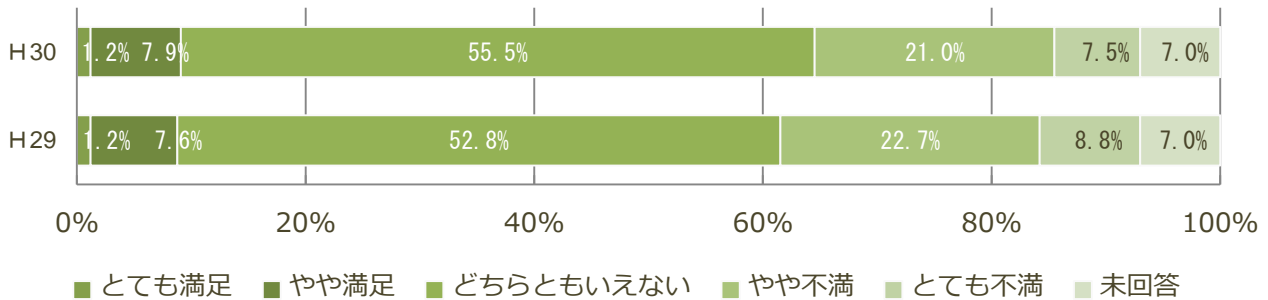
* 就職率＝就職件数÷新規求職申込件数

- 盛岡公共職業安定所管内の有効求人倍率／◎ 非常に順調に進捗
好調な経済動向を背景に、高い求人倍率を維持しています。
- 盛岡公共職業安定所管内の就職率／○ 順調に進捗
昨年度より数値は下がったものの、この5年間では2番目に高い数字であり、求人倍率も高い数字

を維持していることから、達成は可能と見込まれます。

■ 施策に対する市民の実感

「企業の誘致や雇用対策の取組が行われている」と感じる市民の割合



■ 現状の成果、問題点と今後の方向性

企業の誘致

（現状の成果、問題点）

誘致による企業の新規立地に適当な産業用地が少ないこと、地域人材の確保が難しいことなどにより、誘致に成功した企業はIT系の企業に限定されています。

（今後の方向性）

新たな補助事業の創設、首都圏等の企業訪問による情報収集や各種情報提供の実施、県及び広域市町と連携した企業立地セミナー等の開催など、新産業等用地への誘致を見据えた取組を推進し、産学官金の関係者との緊密な連携により、ヘルステック分野やリーディング産業に位置付けている製造業等の企業誘致を図ります。

雇用対策の推進

（現状の成果、問題点）

高い求人倍率を背景に、職を求めやすい状況となっていますが、人員を充足できない企業の人材確保や雇用のミスマッチが課題となっています。

（今後の方向性）

企業の採用力向上や若者の企業定着を図るための研修会、地元企業を知る機会となるインターンシップ事業を実施するほか、ジョブカフェ等と連携した支援により、企業の人材確保及び雇用のミスマッチを防ぐための取組を行います。

勤労者福祉の充実

（現状の成果、問題点）

勤労者福祉については、勤労者福祉サービスセンターの会員数の減少に歯止めがかからず、平成26年度から5年連続して年度末会員数4,000人を下回っており、目標数に届いていません。一方、会費収入は前年度を上回っていることから、延べ会員数は昨年度を上回ることができています。

勤労者融資については、平成30年度から開始した自動車購入融資が65件利用され、多くの勤労者の福利厚生に寄与しました。しかし、自動車購入融資の申込が多すぎ、生活資金や教育資金の貸付原資がなくなる可能性があったため、年度途中で新規貸付を制限せざるを得ませんでした。

（今後の方向性）

勤労者福祉サービスセンターについては、会員の増加を図るため、積極的な加入促進活動を継続実施します。

勤労者融資については、昨年度は年度途中で新規貸付を制限したことから、令和元年度は協調倍率を2倍から3倍に変更し、より多くの貸付申し込みに対応していきます。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

国内、県内経済が、穏やかな回復傾向にある中、企業の採用意欲は引き続き高い状況が続いており、盛岡公共職業安定所管内の有効求人倍率は、令和元年度の目標値を大きく上回っています。一方、企業側では、必要な人員を確保できない状況が見られるほか、若者の首都圏への流出が続いており、企業の採用力の向上と若者の地元定着につながる取組を推進する必要があります。

企業誘致については、道明地区新産業等用地への誘致を見据え、本市の強みである産学官連携のほか、連携協定を締結した4金融機関、友好都市である東京都文京区など、多様なネットワークを最大限に活用するとともに、県及び広域市町と連携した取組を推進する必要があります。

施策26 都市基盤施設の維持・強化

快適な市民生活と活発な産業活動を支えるため、道路や橋りょう、公園、上下水道施設などの都市基盤施設の適切な維持管理と機能強化を図ります。

■ 主要事業の実績

良好な住宅地の誘導については、未検査リスクの明示により重要性を認識させたことで、完了検査率が100%となり、建築物の適正化を図りました。

安全・快適な道路環境の向上については、市道改良率の向上、除雪指定路線の延長及び橋梁修繕工事の実施により、道路利用者の安全で快適な通行を確保しました。

都市公園の整備と利用促進については、公園等の整備による一人当たりの公園面積の増加と、イベントの開催等により、公園の魅力向上を図りました。

都市緑化の推進については、花苗配布や企業や住民の協力によるハンギングバスケット設置数日本一など、私的空間の緑化を図りました。

安定給水の確保については、耐震管の採用や計画的な経年管更新事業により耐震化率が向上し、安全でおいしい水を安定供給しました。

汚水処理の充実については、汚水管整備や浄化槽補助金により汚水処理人口普及率が向上し、衛生的な水環境を確保しました。

雨水浸水対策の推進については、雨水排水施設整備により下水道雨水施設整備率が向上し、浸水被害の解消と都市機能を確保しました。

既成市街地の再整備については、土地区画整理事業及び生活環境整備事業の実施により生活環境整備率が向上し、定住人口の増加が図られました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
建築指導事務	一般		建築指導・確認審査、中間検査、完了検査に係る事務など	4	3	0
耐震診断・改修促進事業	一般		木造住宅の耐震診断及び耐震改修に対する補助など	51	48	0
道路橋りょう維持管理事業	一般		市道舗装補修、点検や道路照明灯電気料など	619	637	8
橋りょう維持補修事業	一般		毘沙門橋、沢田橋、246-1号橋、新鱸山橋の改修工事並びに6-2号線外2橋及び534-1号橋の橋りょう定期点検負担金	306	81	174
道路除排雪事業（除排雪委託ほか）	一般		バス路線及び通学路等の除排雪、主要交差点及び急坂部への凍結防止剤の散布など	655	619	0
道路除排雪事業（除雪車両等購入費）	一般		グレーダ及び町内会等へ貸し出す小型除雪機の購入	40	36	0
身近な暮らしを支える道路事業	一般	(★)	高櫓線、本町通一丁目名乗沢2号線、みたけ4号線、下田生出線、津志田白沢線など	1,713	807	965
都市公園整備事業	一般		中央公園、高松公園、岩山公園の整備など	257	151	30
旧盛岡競馬場跡地（自由広場ゾーン）整備事業	一般		人工芝グラウンド、交流広場の整備	327	311	0
お城を中心としたまちづくり事業	一般		盛岡城跡石垣修復工事、樹木伐採、バラ園撤去、遺構等測量図化など	72	49	0

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
公園等維持管理事業	一般		公園施設の修繕，街路樹の維持管理など	192	225	0
花と緑のまちづくり事業	一般		花と緑のガーデン都市づくり，地域緑化支援など	19	17	0
上水道安全対策事業	水道		重要給水施設配水管の整備	355	103	257
配水管整備事業	水道		配水能力増強事業，経年管対策事業，未給水地域解消事業，配水調整ブロック整備事業など	1,734	857	643
水道水源水質保全促進事業	水道		水源かん養林植栽地下刈り	3	3	0
浄配水場施設整備事業	水道		浄水場（米内，中屋敷，沢田，新庄など）の設備更新，工事など	1,049	771	165
鉛製給水管解消事業	水道		鉛製給水管の布設替工事に対する補助	3	1	0
公共下水道汚水施設整備事業	下水		汚水管渠の整備など	989	239	586
流域下水道建設負担金事業	下水		北上川上流流域下水道都南処理区の整備（流域幹線及び処理場施設整備への負担金）	135	122	0
公共下水道改築更新事業	下水		既存施設の耐震調査，管更生工事	120	28	8
浄化槽整備事業	一般	(★)	浄化槽設置整備に対する補助	27	18	0
公共下水道雨水施設整備事業	下水		雨水管渠の整備など	828	415	451
太田地区整備事業	一般		建物等移転補償，道路築造，宅地造成など	1,449	1,225	265
都南中央地区整備事業	一般		建物等移転補償，道路築造など	337	161	86
道明・下飯岡地区整備事業	一般		建物等移転補償，道路築造，宅地造成など	719	447	228
優良建築物等整備事業	一般		優良建築物等整備事業への補助（中央通三丁目地区）	104	40	34
施策の計（一般会計）				6,890	4,877	1,788
施策の計（一般会計以外）				5,215	2,539	2,109

- ・ お城を中心としたまちづくり事業

文化財保存事業費補助金の交付額が当初の見込みを下回ったことに伴い，事業費を減額したため，実績額が小さくなりました。

- ・ 配水管整備事業

請負差金及び事業延期，入札不調等に伴う年度内施工の中止により，実績額が小さくなりました。

- ・ 浄配水場施設整備事業

工事の不調，不落により次年度以降に実施時期を変更したため，実績額が小さくなりました。

- ・ 公共下水道汚水施設整備事業

入札不調，不落により次年度以降に実施時期を変更したため，実績額が小さくなりました。

- ・ 浄化槽整備事業

補助申請件数が当初の見込みを下回ったため，実績額が小さくなりました。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移																																				
市道改良率*	↑	%	<table border="1"> <caption>市道改良率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>73.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>74.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>74.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>74.8</td> <td>R1目標値(74.8)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>74.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> <td>R6目標値(75.7)</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	73.9		H27	74.4		H28	74.6		H29	74.8	R1目標値(74.8)	H30	74.8		R1			R2			R3			R4			R5			R6		R6目標値(75.7)
年度	実績値	目標値																																					
当初値	73.9																																						
H27	74.4																																						
H28	74.6																																						
H29	74.8	R1目標値(74.8)																																					
H30	74.8																																						
R1																																							
R2																																							
R3																																							
R4																																							
R5																																							
R6		R6目標値(75.7)																																					
まちづくり評価アンケート調査「公園や街路樹などの街の中の緑が多いと思う」と答えた市民の割合	↑	%	<table border="1"> <caption>まちづくり評価アンケート調査の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>74.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>74.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>78.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>78.9</td> <td>R1目標値(80.0)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>77.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> <td>R6目標値(80.0)</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	74.2		H27	74.7		H28	78.1		H29	78.9	R1目標値(80.0)	H30	77.8		R1			R2			R3			R4			R5			R6		R6目標値(80.0)
年度	実績値	目標値																																					
当初値	74.2																																						
H27	74.7																																						
H28	78.1																																						
H29	78.9	R1目標値(80.0)																																					
H30	77.8																																						
R1																																							
R2																																							
R3																																							
R4																																							
R5																																							
R6		R6目標値(80.0)																																					
水道管路の耐震化率	↑	%	<table border="1"> <caption>水道管路の耐震化率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>23.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>24.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>25.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>26.4</td> <td>R1目標値(29.6)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>27.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> <td>R6目標値(34.6)</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	23.3		H27	24.9		H28	25.5		H29	26.4	R1目標値(29.6)	H30	27.4		R1			R2			R3			R4			R5			R6		R6目標値(34.6)
年度	実績値	目標値																																					
当初値	23.3																																						
H27	24.9																																						
H28	25.5																																						
H29	26.4	R1目標値(29.6)																																					
H30	27.4																																						
R1																																							
R2																																							
R3																																							
R4																																							
R5																																							
R6		R6目標値(34.6)																																					
汚水処理人口普及率（処理区域内人口／行政区域内人口）	↑	%	<table border="1"> <caption>汚水処理人口普及率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>95.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>95.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>95.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>95.7</td> <td>R1目標値(96.0)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>95.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> <td>R6目標値(97.8)</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	95.0		H27	95.2		H28	95.3		H29	95.7	R1目標値(96.0)	H30	95.9		R1			R2			R3			R4			R5			R6		R6目標値(97.8)
年度	実績値	目標値																																					
当初値	95.0																																						
H27	95.2																																						
H28	95.3																																						
H29	95.7	R1目標値(96.0)																																					
H30	95.9																																						
R1																																							
R2																																							
R3																																							
R4																																							
R5																																							
R6		R6目標値(97.8)																																					
面的整備による生活環境整備率（整備済路線延長／整備計画路線延長）	↑	%	<table border="1"> <caption>面的整備による生活環境整備率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>29.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>30.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>31.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>33.7</td> <td>R1目標値(63.0)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>38.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> <td>R6目標値(97.0)</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	29.0		H27	30.5		H28	31.7		H29	33.7	R1目標値(63.0)	H30	38.1		R1			R2			R3			R4			R5			R6		R6目標値(97.0)
年度	実績値	目標値																																					
当初値	29.0																																						
H27	30.5																																						
H28	31.7																																						
H29	33.7	R1目標値(63.0)																																					
H30	38.1																																						
R1																																							
R2																																							
R3																																							
R4																																							
R5																																							
R6		R6目標値(97.0)																																					

* 平成28年度に新しく追加した指標です。

・ 市道改良率／◎ 非常に順調に進捗

未舗装道路において舗装実績を積み重ねたことにより、令和元年度の目標値を達成することができました。平成30年度の道路改良実績は851mであり、市道認定実績を上回っています。ここ数年同様の傾向となっていることが改良率の向上に繋がっています。

・ 「公園や街路樹などの街の中の緑が多いと思う」と答えた市民の割合／△ 遅れが生じている

公園活性化交流広場によるイベント開催等で大規模公園における利用促進が図られている一方、公園内の老朽施設や樹木管理に関する苦情も増えていることから、今後は、公園が市民の憩いとして快適な空間となるよう、適切な維持管理および施設更新に努める必要があります。

・ 水道管路の耐震化率／△ 遅れが生じている

平成30年度は予定した工事の受注のため、工事規模や発注時期を工夫し概ね計画した工事が実施できました。しかし、計画期間内では発注工事の不調・不落により、経年管対策事業等の遅れが生じているため、令和元年度の目標値に達することが困難な状況です。

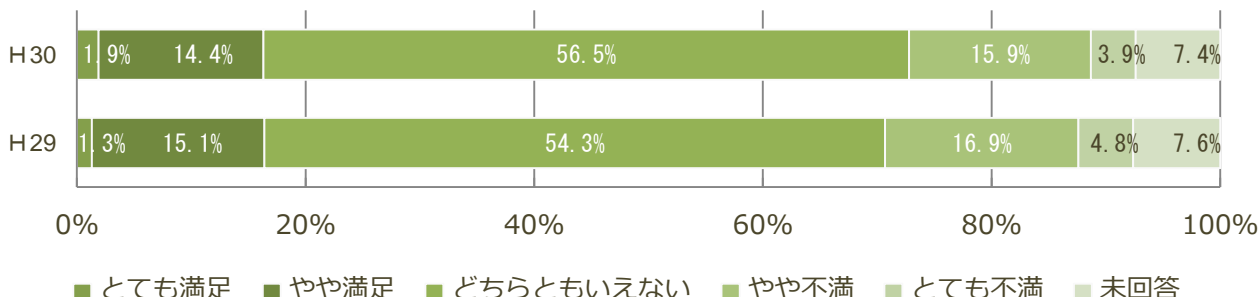
・ 汚水処理人口普及率（処理区域内人口／行政区域内人口）／○ 順調に進捗

未整備地区や土地区画整理事業地区等の下水管渠の整備や浄化槽設置整備事業の推進により、汚水処理人口普及率は令和元年度の目標値を達成する見込みです。

- 面的整備による生活環境整備率（整備済路線延長/整備計画路線延長）／△ 遅れが生じている
必要とする予算の確保が十分にできていないため、平成30年度で38.1%と進捗が遅れており、現在の予算規模では令和元年度の目標値に達することが困難な状況です。

■ 施策に対する市民の実感

「快適で暮らしやすい居住環境が整っている」と感じる市民の割合



■ 現状の成果、問題点と今後の方向性

良好な住宅地の誘導

（現状の成果、問題点）

建築確認申請に係る完了検査申請が未提出となっている物件に対して、未検査となった場合のリスク等を記載した督促状を送付したことにより、完了検査率が平成29年度と比較し2.1%向上しました。

旧耐震木造住宅の耐震診断及び耐震改修の補助事業について、建物所有者の高齢化及び建物の経年劣化による改修工事費の増大等の理由により、応募者が減少し近年募集戸数に達していません。

（今後の方向性）

完了検査申請の未提出物件に対しては、平成30年度に引き続き同内容の督促状を建築主に対して送付し、完了検査率の向上を図ります。

旧耐震木造住宅の耐震診断及び耐震改修補助事業の周知・啓発を目的とした戸別訪問を、今後も年2回以上実施するとともに、耐震改修工事については、国が新たに創設を予定している補助メニューを積極的に活用することで、応募者の確保を図ります。

安全・快適な道路環境の向上

（現状の成果、問題点）

市道改良率が平成30年度に引き続き令和元年度の目標値を達成しました。

道路整備や橋りょう維持補修等の予算の安定的な確保が十分にできていません。

（今後の方向性）

市道の改良について、毎年舗装新設実績を積み重ねることにより、平成30年度実績で令和元年度の目標を達成することができており、事業は順調に推移していることから、このまま維持を図ります。

予算確保については、「道路橋梁整備促進同盟会等」及び「道路対策協議会」において、国への要望活動を行い、交付金の安定的な予算確保につなげます。

都市公園の整備と利用促進

（現状の成果、問題点）

公園整備等により、一人当たりの公園面積が増加しました。また、公園活性化交流広場の開催によりイベントの開催を促したことにより、平成27年度に利用件数の目標値を達成しています。

公園整備後の適正な運営（維持）管理に必要な維持管理費用の財源確保が困難となっています。

（今後の方向性）

公園整備の新たな手法である公募設置管理制度（Park-PFI）を活用し、民間事業者による公園施設

整備や収益施設から利益の一部を公園運営（維持）管理に充てることにより、魅力ある公園として持続的に機能の充実を図ります。

都市緑化の推進

（現状の成果，問題点）

花苗の配布等により各町内の緑化が図られたほか、企業や住民の協力によりハンギングバスケット設置数が日本一を継続しています。一方で、公園等の緑化活動を行なっている市民への支援や、施設の補修や更新が不十分です。また、適正な維持管理のための予算確保が困難となっており、街路樹の害虫の発生や枝の張り出しなどマイナス面の影響により、緑（化）地の推進にあたって地元理解を得る上での課題となっています。

（今後の方向性）

新たな財源確保と、市民・事業所・団体等が協働で緑のまちづくりを行う仕組みづくりの検討を行います。

安定給水の確保

（現状の成果，問題点）

耐震管の採用による管路整備や老朽施設の計画的な更新により、管路耐震化率は27.4%、有効率は96.4%に達しており、災害に強い水道施設の構築が進捗していますが、水道施設工事の入札不調があり、計画的な施設更新を阻む一因となっています。

水道法の水質基準に適合した安全な水道水を給水区域内に安定的に供給しています。

（今後の方向性）

計画的に水道施設工事を実施するため、工事規模や発注時期の調整等により、継続して年間を通した工事発注を実施することにより、工事業者が受注しやすい発注方法等の検討に努めます。

安全な水道水の安定供給を持続するとともに、水道事業に関する情報発信、経営の健全化に努めます。

汚水処理の充実

（現状の成果，問題点）

未整備地区や土地区画整理事業地区等の下水管渠の整備や浄化槽設置整備事業の推進により、汚水処理人口普及率は微増しており、汚水処理未整備地区の解消に向けて進捗しています。

未整備地区は、集落が点在する郊外部が多数あり、管渠整備による普及率の伸びが低調であるほか、既存施設の老朽化が進行しています。

（今後の方向性）

未整備地区における投資効果等を検討し、整備計画等の見直しを進め、効果的・効率的な管渠整備を進めます。また、既存施設の定期点検や巡視の強化等による予防保全的な維持管理を実施するとともに、老朽施設の計画的な修繕・改築を進めます。

雨水浸水対策の推進

（現状の成果，問題点）

未整備地区や土地区画整理事業地区等の下水管渠の整備により、下水道雨水施設整備率は微増しており、大雨浸水の解消に向けて進捗しています。

他事業関連の影響により、計画的な幹線整備の進捗が停滞している箇所があるほか、既存施設の老朽化が進行しています。

（今後の方向性）

他事業の担当部署と調整し、計画的に未整備地区の幹線整備と面的整備を推進します。

施設整備による浸水対策には長期間を要するため、短期的に対応できる浸水被害箇所の側溝整備や柵改良等のほか、既存施設の点検清掃や土のうステーションの設置等のソフト的な浸水防除対策を継続します。

既成市街地の再整備

（現状の成果，問題点）

土地区画整理事業及び生活環境整備事業により，住環境整備や宅地造成が進み，住宅や店舗等が建設され定住人口が増加していますが，必要とする予算の安定確保が困難となっており進捗が遅れています。

（今後の方向性）

確実な予算確保のため，国や県への要望活動を行うとともに，工法や換地設計の見直しなど，事業費の圧縮等による実効性のある事業計画へ変更します。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

快適な市民生活と活発な産業活動を支える都市基盤施設である道路や橋りょう，公園，上下水道施設は，それぞれの整備事業や土地区画整理事業，生活環境整備事業の進捗により，確実に整備が進んでいます。また，施設の老朽化に対しても，維持管理計画や長寿命化計画により，維持更新が進められています。一方で，これらの事業を進める財源確保が課題となっており，より効果的・効率的な整備や，民間活力の活用を検討していく必要があります。

近年，自然災害が多発しており，特にも地震への対策として，橋りょうや上下水道施設の耐震化の促進と，旧耐震木造住宅の耐震診断・耐震改修工事の周知・啓発を進める必要があります。

施策27 交通環境の構築

幹線道路の整備や公共交通機関の利便性の向上を図るほか、自転車走行環境や歩行環境の整備などに取り組むことにより、総合的な交通体系を確立するとともに、マイカー利用の抑制と公共交通や自転車利用の促進を図り、環境にやさしく快適な交通環境を構築します。

■ 主要事業の実績

公共交通機関の利便性向上と利用促進については、「まちなか・おでかけパス」の年間発売枚数が平成29年度に目標である10,000枚を超え、平成30年度は更に増加しました。また、バスや鉄道利用者数は令和元年度目標を超え、増加傾向にあります。一方で、自動車の交通分担率は減少の目標に対し増加傾向にあり課題となっています。

自転車、歩行者のための交通環境の充実については、自転車走行空間の整備や放置自転車対策事業により、自転車の利用促進と歩行環境の向上を図りました。

都市活動を支える幹線道路の整備については、都市計画道路等の整備による幹線道路改良率の向上と公共交通の利用促進施策により、主要幹線道路の混雑度の減少を図りました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
公共交通利用促進対策事業（整備関連）	一般		バスの日イベント負担金，ノンステップバス導入補助	19	19	0
公共交通利用促進対策事業（ソフト事業）	一般		盛岡駅前広場誘導業務委託，まちなか・おでかけパス事業補助金，広域生活路線維持事業補助金など	60	61	0
自転車の安全と利用促進に関する事業（整備関連）	一般		自転車走行空間整備工事	13	13	0
自転車の安全と利用促進に関する事業（ソフト事業）	一般		自転車ネットワーク計画のパンフレット作成	1	1	0
都市の骨格を形成する街路事業	一般	(★)	梨木町上米内線（第Ⅱ工区），明治橋大沢川原線(大通工区)など	711	98	523
施策の計（一般会計）				803	190	523

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
平日の主要幹線道路の混雑度	↓	割合	<p>当初値 1.11 H27 1.04 H28 1.03 H29 1.02 H30 0.95 R1 R2 R3 R4 R5 R6</p> <p>R1目標値(1.09) R6目標値(1.08)</p>
交通の手段分担率の変化(自動車)	↓	%	<p>当初値 59.3 H27 63.9 H28 64.7 H29 66.6 H30 67.6 R1 R2 R3 R4 R5 R6</p> <p>R1目標値(56.0) R6目標値(53.0)</p>

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移																
交通の手段分担率の変化(バス, 鉄道)	↑	%	<table border="1"> <caption>交通の手段分担率の変化(バス, 鉄道)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>14.7</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>12.5</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>12.6</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>14.0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>13.0</td> </tr> <tr> <td>R1目標値</td> <td>17.0</td> </tr> <tr> <td>R6目標値</td> <td>19.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	値	当初値	14.7	H27	12.5	H28	12.6	H29	14.0	H30	13.0	R1目標値	17.0	R6目標値	19.0
年度	値																		
当初値	14.7																		
H27	12.5																		
H28	12.6																		
H29	14.0																		
H30	13.0																		
R1目標値	17.0																		
R6目標値	19.0																		
交通の手段分担率の変化(徒歩, 自転車など)	↑	%	<table border="1"> <caption>交通の手段分担率の変化(徒歩, 自転車など)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>26.0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>23.6</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>22.7</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>19.3</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>19.4</td> </tr> <tr> <td>R1目標値</td> <td>27.0</td> </tr> <tr> <td>R6目標値</td> <td>28.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	値	当初値	26.0	H27	23.6	H28	22.7	H29	19.3	H30	19.4	R1目標値	27.0	R6目標値	28.0
年度	値																		
当初値	26.0																		
H27	23.6																		
H28	22.7																		
H29	19.3																		
H30	19.4																		
R1目標値	27.0																		
R6目標値	28.0																		
1日当たりのバス・鉄道利用者数	↑	人	<table border="1"> <caption>1日当たりのバス・鉄道利用者数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>71,962</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>76,192</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>75,191</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>75,309</td> </tr> <tr> <td>R1目標値</td> <td>74,400</td> </tr> <tr> <td>R6目標値</td> <td>74,600</td> </tr> </tbody> </table>	年度	値	当初値	71,962	H27	76,192	H28	75,191	H29	75,309	R1目標値	74,400	R6目標値	74,600		
年度	値																		
当初値	71,962																		
H27	76,192																		
H28	75,191																		
H29	75,309																		
R1目標値	74,400																		
R6目標値	74,600																		

・ 平日の主要幹線道路の混雑度／◎ 非常に順調に進捗

平日の主要幹線道路の混雑度は、平成27年度において令和元年度の目標値を下回った以降も年々減少しています。幹線道路の整備が着実に進んでいることと、「まちなか・おでかけパス」事業の推進により、マイカーから公共交通への転換が図られていることが、混雑度を下げている要因と考えます。

・ 交通の手段分担率の変化(自動車)／△ 遅れが生じている

通勤時における自動車の交通手段分担率は増加傾向にあります。

「まちなか・おでかけパス」による高齢者のバス利用が増加している一方、通勤者の「マイカーから公共交通への転換」の取り組みが十分に浸透していない可能性があり、更なる検証が必要です。

・ 交通の手段分担率の変化(バス, 鉄道)／△ 遅れが生じている

通勤時におけるバスや鉄道の交通手段分担率は増加傾向にありましたが、平成30年度において1.0%の下降となりました。モビリティマネジメントなどの利用促進策を浸透させる必要があります。

・ 交通の手段分担率の変化(徒歩, 自転車など)／△ 遅れが生じている

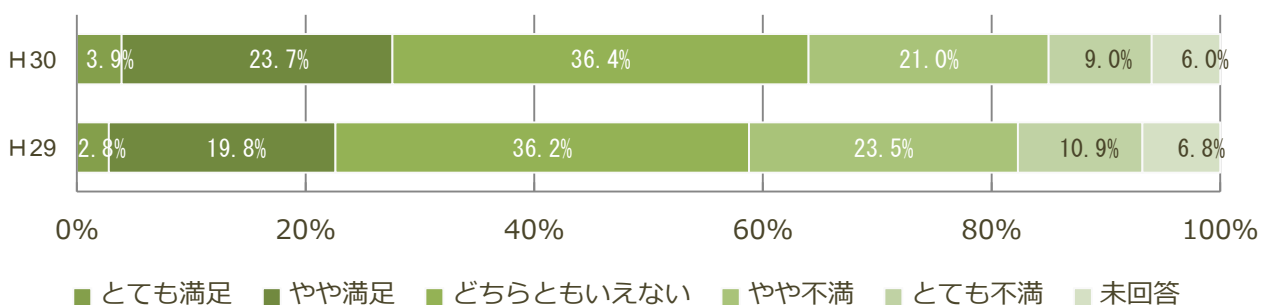
自転車走行空間ネットワークの形成には長期間を要するため、効果発現には時間がかかるものと考えられます。

・ 1日当たりのバス・鉄道利用者数／◎ 非常に順調に進捗

まちなか・おでかけパスにより、高齢者のバス利用が増加しているものと考えられます。

■ 施策に対する市民の実感

「幹線道路や公共交通機関が利用しやすい」と感じる市民の割合



■ 現状の成果、問題点と今後の方向性

総合交通計画の推進

（現状の成果、問題点）

都市計画道路整備プログラムを実効性のあるプログラムに見直し、成果指標の「快適に移動できる」と答えた市民の割合が向上しました。

社会情勢の変化に合わせ、各種計画の見直しや策定を行う必要があります。

（今後の方向性）

国に対し財源確保を引き続き要望するほか、厳しい財源の状況にあって効果的・効率的な整備が図られるプログラムの策定を検討します。

社会情勢の変化に対応した都市計画道路ネットワークを検討し、関連計画との整合性を踏まえた、盛岡交通戦略の次期計画の策定を検討します。

地域公共交通網形成計画に位置づけた「公共交通空白地区を解消する移動手段の確保・導入」事業について、市民や交通事業者と連携・協力しながら検討します。

公共交通機関の利便性向上と利用促進

（現状の成果、問題点）

高齢者対象の「まちなか・おでかけパス」利用者は増加しているとともに、1日当たりのバス・鉄道利用者も目標値を達成し増加傾向にあります。「まちなか・おでかけパス」の販売枚数が目標である年間10,000枚を超え、バス事業者への補助金の上限を緩和したものの、まだバス事業者の負担が大きいことから、引き続き制度の見直しが必要です。

公共交通については、持続性向上を図るためにも、利便性向上により利用者を増やすとともに、効率化が求められています。

（今後の方向性）

引き続き、公共交通利用促進についてPRを実施していくほか、「まちなか・おでかけパス」については、制度の検証結果等を踏まえ、バス事業者等と協議しながら継続できるよう見直しを行ってまいります。また、地域公共交通網形成計画に基づき、路線バス運行の効率化を図るため、路線網の見直し・再編について検討します。

自転車、歩行者のための交通環境の充実

（現状の成果、問題点）

盛岡市自転車ネットワーク計画に基づき、市道本町通二丁目小鳥沢2号線において自転車走行空間の整備を実施しましたが、財源の関係から整備区間が十分ではなく、市民アンケートにおいても「自転車で快適に移動できる」と答えた割合が目標値に達していません。

放置自転車対策については、様々な情報発信等の取組により、盛岡駅周辺での放置数は減少していますが、盛岡駅から駐輪場まで遠いとの理由で、未だに放置自転車がある状況です。

（今後の方向性）

国、県と連携した自転車走行空間のネットワークの推進について、整備時期の調整や、国の補助制度を活用した整備など財源確保の検討も合わせながら整備に取り組みます。

放置自転車対策について、情報発信等を強化するとともに、利便性の高い駐輪場に関する検討を行います。

都市活動を支える幹線道路の整備

（現状の成果、問題点）

都市計画道路等の整備において、区間毎の完成や供用を行うことにより、幹線道路改良率が上昇しました。

事業費が十分でないことと入札不調等による発注の遅れにより、事業の完了に遅れがでています。

（今後の方向性）

「道路橋梁整備促進同盟会」、「道路対策協議会」等において、国への要望活動を行い、交付金の安定的な予算確保につなげます。

入札不調等によるスケジュールの遅れを回避するため、早期発注に努めます。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

平日の主要幹線道路の混雑度は年々減少傾向にあり、幹線道路の事業進捗により、着実にネットワーク形成が進んでいます。一方で、事業を進める財源確保が課題となっており、より効果的・効率的な整備により、早期に効果が発揮できるネットワークの形成を図る必要があります。

バス・鉄道利用者数は増加していますが、自動車の交通分担率は増加傾向で、「まちなか・おでかけバス」の利用者が増加していることから、更なる検証が必要です。また、通勤時におけるバス・鉄道の交通分担率が下降し目標を下回っており、更なる利用促進策を進める必要があります。

現在策定中の「地域公共交通網形成計画」の検討の中で、公共交通の現状を把握し、バス、鉄道、タクシーの役割分担や連携による、利便性向上を検討していく必要があります。

施策28 国際化の推進

産業や教育，文化，スポーツなど幅広い分野において，諸外国との交流を促進し，市民の国際感覚の醸成を図るとともに，外国人が訪れやすく，暮らしやすい環境の整備を進めます。

また，企業の国際競争力向上への支援や国際的に活躍できる人材の育成など，国際化の推進を図ります。

■ 主要事業の実績

（公財）盛岡国際交流協会と連携し，中学生ビクトリア市研修の参加者がビクトリア市での学校体験やホームステイ体験を通して姉妹都市交流への理解を深めることにより，国際交流の次代を担う人材育成に取り組みました。また，市民や外国籍市民を対象とした各種講座を開催し，異文化への相互理解に取り組みました。

ビクトリア駐在日本国名誉総領事の来盛時に，経済関係者と交流する機会を設定しました。

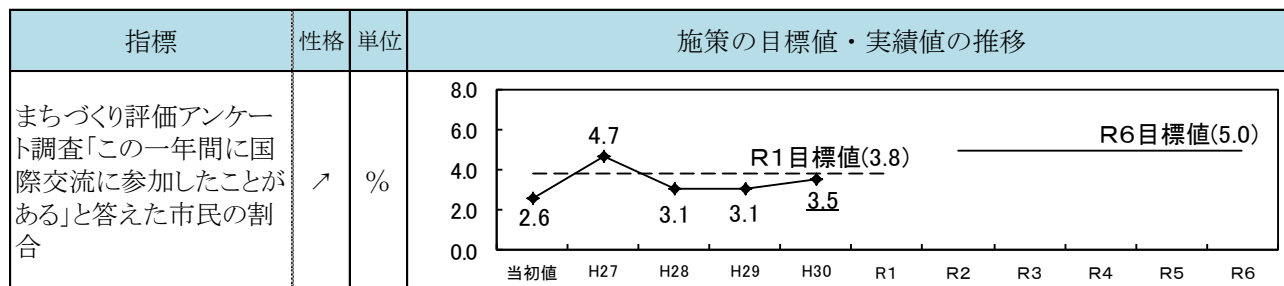
ホストタウン交流事業において，カナダナショナルチームの事前キャンプ誘致実現に向け，スポーツ担当部門と連携し取り組みました。

東北 I L C 準備室や岩手県などの関係機関と連携し，国際リニアコライダー誘致に向けた国等への要望活動を行ったほか，市民向けの出前講座などを開催し，I L C の普及に努めました。

（単位 百万円）

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
姉妹都市等国際交流事業	一般	★	姉妹都市カナダ・ビクトリア市との交流や諸外国との各種交流事業	24	22	0
国際交流関係事業	一般		アールム大学からの短期留学生の受入れ，教師・生徒のインディアナ州への派遣	2	2	0
施策の計（一般会計）				26	24	0

■ まちづくり指標（成果指標）の状況



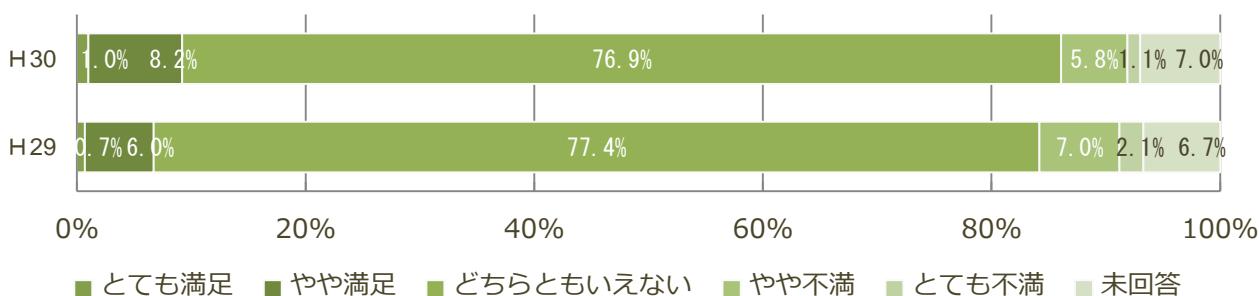
・ 「この一年間に国際交流に参加したことがある」市民の割合／○ 順調に進捗

中学生ビクトリア市研修に対する企業協賛金を受け，平成30年度は協賛金受領前より3名増員し派遣することができました。また，ホストタウン機運醸成イベントを開催したほか，（公財）盛岡国際交流協会と連携し，事前キャンプで来盛したカナダチームと交流しました。

一方，協会主催の講座の多くは規模が小さいため，多くの市民が参加できるよう事業の内容を工夫し，より広く国際交流の機会を提供する必要があります。

■ 施策に対する市民の実感

「異文化にふれ国際交流に参加する機会が充実している」と感じる市民の割合



■ 現状の成果、問題点と今後の方向性

国際交流の推進

（現状の成果、問題点）

市と（公財）盛岡国際交流協会が連携しながら各種講座・イベントを開催し、市民の国際交流への理解及び関心を深めることができました。一方で、協会の賛助会員数が個人は18口、団体も1口と若干増加しましたが、会員数がほぼ横ばいの状況です。さらに多くの市民の参加が必要なことから、魅力ある事業の展開と情報発信が必要です。

「盛岡ーインディアナ州交流派遣事業」及び「アラム大学留学生研修事業」において、事業の経費に即した適切な補助金を交付したことにより、留学生が市内中学校の英語指導助手的な役割として配置になることで、市内中学生と交流が深まり、英語教育の充実と国際理解教育の推進が図られました。

（今後の方向性）

会員向けサービスの充実など、賛助会員にとっても魅力ある事業や特典を検討します。

平成31年3月にリニューアルしたホームページを活用するだけでなく、フェイスブックやマスメディアを通じた情報発信の強化による協会の活動周知と理解促進に取り組みます。

国際都市づくりの推進

（現状の成果、問題点）

国際リニアコライダーを知っていると答えた人の割合が若干増加しているものの、目標値を大きく下回っています。

外国人が訪れやすく、暮らしやすい環境の整備が進んでいない状況です。

（今後の方向性）

国際リニアコライダーの誘致実現に向けて、県や関係市町、関係団体が一丸となって国への要望や地域の機運醸成を進めます。

外国人の受入環境については、アドバイザーボードの提言を参考に、外国人の受け入れ環境の整備や国際的に活躍できる人材の育成など、国際化の推進の取組を積極的に進めていきます。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

国際リニアコライダー誘致に向けた活動、留学生の受け入れ活動及び（公財）盛岡国際交流協会と連携した各種講座における活動は、市民が異文化を理解する機会となり、国際化の推進の役割を担っているといえます。

しかしながら、今後、オリンピック・パラリンピックの東京開催やインバウンドによる外国人訪問者の増加や平成31年4月1日から施行された新たな出入国管理法による移住者が更に見込まれることから、外国人が訪れやすく、暮らしやすい環境整備をより一層進める必要があります。

また、何より外国人と直接交流する市民一人ひとりの行動が大切なことから、異文化を理解し、国際交流の活動に参加する人を増やすため、国際交流事業の周知活動やホームページなどによる情報発信とそれによる連携が必要です。

施策29 都市間交流の促進

にぎわいのあるまちを創出するとともに、市民生活の質を高めるため、市民とさまざまな都市や地域の人々との交流を促進します。

■ 主要事業の実績

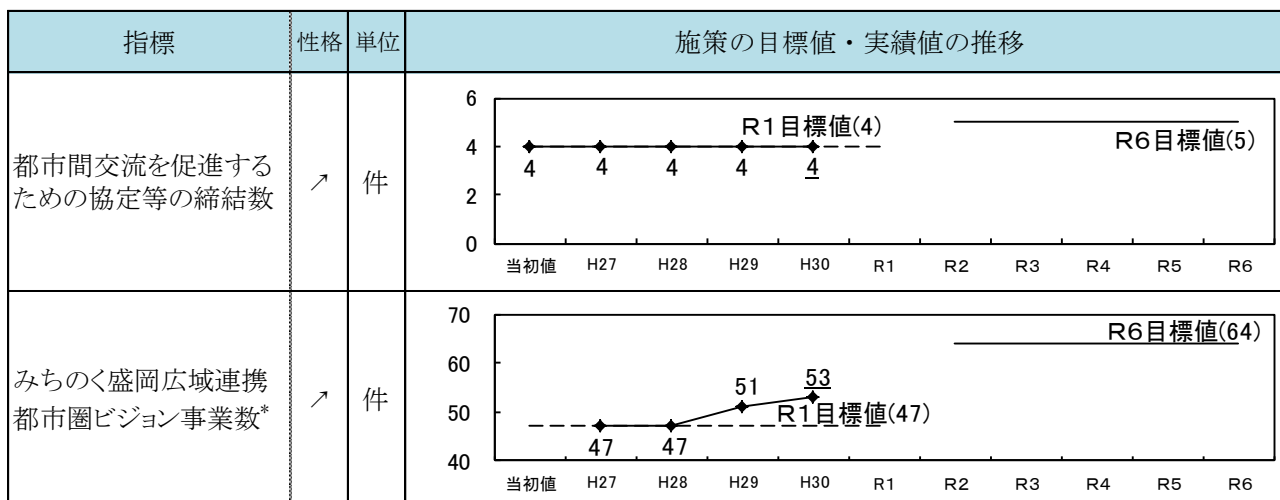
平成31年2月20日に、これまでの交流を踏まえ、東京都文京区と友好都市を提携しました。

盛岡広域8市町の一体的な発展を目的に策定した「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」を着実に推進するため、盛岡広域首長懇談会などを通じて、広域市町間で進捗管理を行うとともに、新規事業の予算化に向けた調整を進めました。

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額	翌年度繰越額
都市間交流事業 (地域連携交流事業)	一般		秋田岩手地域連携軸推進協議会負担金、 文京区との友好都市提携など	1	4	0
広域連携推進事業	一般		盛岡広域連携中枢都市圏ビジョンの進行 管理	1	1	0
施策の計 (一般会計)				1	4	0

■ まちづくり指標 (成果指標) の状況



* 平成28年度に指標を「にぎわいや産業振興につながる自治体連携の取組数」から「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン事業数」に変更しています。

・ 都市間交流を促進するための協定等の締結数／◎ 非常に順調に進捗

進捗状況としては順調ですが、都市間交流の機会がイベントの参加など限定的でした。

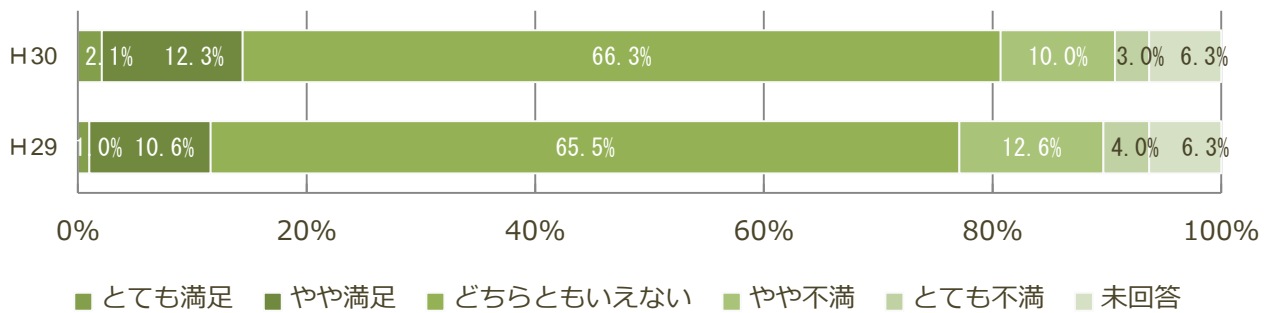
・ みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン事業数／◎ 非常に順調に進捗

都市圏ビジョンに掲げる新規・拡充事業を事業化するに当たり、広域市町間において、事業実施決定のプロセスや予算編成の調整を行うなどのルール作りを確立し、それに基づいて広域市町間で調整することができました。

一方で、事業化の検討に当たっては、広域市町間で享受できるメリットに差が生じるほか、各市町の財政事情が異なるなど、「今後事業化を検討する事業」の広域市町間での協議・調整が進まず、事業化に結びついていません。

■ 施策に対する市民の実感

「都市間の交流が盛んになり、まちのにぎわい」を感じる市民の割合



■ 現状の成果、問題点と今後の方向性

都市間交流の促進

（現状の成果、問題点）

沖縄県うるま市と相互に交流が図られたほか、平成・南部藩交流事業や秋田岩手地域連携軸推進協議会において、構成市町間の交流が図られました。また、東京都文京区と友好都市として提携しました。

一方で、市民レベルでの交流がさらに促進されることが課題です。

（今後の方向性）

市民レベルの交流を促進するため、教育旅行の誘致促進などを通じ交流機会を増やすことを検討します。

地域間連携の推進

（現状の成果、問題点）

都市圏ビジョンに新たに2件（2件の終了事業があるため、全体では増減なし）の事業を計画事業として位置付けることができました。また、盛岡広域首長懇談会において、広域市町の共通行政課題を解決することを目的に7つの専門部会を設け、調査・検討を進めることができました。

平成30年度末を期限として、「今後事業化を検討する事業」の事業化に向けた広域市町間での調整を働きかけました。

（今後の方向性）

「今後事業化を検討する事業」の事業化に向けた広域市町間での調整の期限を平成30年度末としたことから、関係課の意見を受け、事業の改廃を決定します。

都市圏ビジョンの取組期間が令和2年度までとなっていることから、令和3年度以降の広域連携事業の取組に係る検討を行います。

■ 施策の取組の総括と今後の方向性

いずれの成果指標も目標値を達成しているが、「都市間交流の推進」については、東京都文京区との友好都市提携を契機とし、友好都市との市民レベルの交流事業を更に促進します。

「地域間連携の推進」については、地方制度調査会で地域間の交流や協力の在り方を検討していることから、その状況を注視しながら、都市圏ビジョンの充実や効果のある事業の実施に努めます。

(2) 主要事業の実績額一覧（基本目標・施策別）

まちづくりの取組では、盛岡市総合計画の基本構想に掲げる「目指す将来像」の実現に向け、4つの基本目標のもと、29の施策の中に、91の小施策、約1,000の事業を位置づけ、毎年度改革改善しながら事業を進めています。

その中でも、各施策において、優先的かつ重点的に実施する事業を「主要事業」に位置づけて施策の推進を図っています。

また、施策の推進に当たっては、「まちづくり指標」として目標を定めて進捗を図っているほか、施策の取組状況などについて、市民の皆さんがどのように感じているか毎年アンケート調査を行い、その結果を「市民の実感」として把握しながら進捗を図っています。

■ 主要事業の実績（基本目標別）

平成30年度は、163事業を主要事業に位置づけながら施策の推進を図り、主要事業の実績額は、全会計合計で104,346百万円となりました。

内訳は下の表のとおりです。

(単位 百万円)

基本目標	会計区分	計画額	実績額	翌年度繰越額
1 人がいきいきと暮らすまちづくり (65事業)	一般会計	41,043	39,720	893
	一般会計以外	53,935	54,833	0
2 盛岡の魅力があふれるまちづくり (16事業)	一般会計	222	246	0
	一般会計以外	0	0	0
3 人を育み未来につなぐまちづくり (17事業)	一般会計	890	604	323
	一般会計以外	0	0	0
4 人が集い活力を生むまちづくり (65事業)	一般会計	8,940	6,403	2,345
	一般会計以外	5,216	2,539	2,109
計 (163事業)	一般会計	51,095	46,974	3,561
	一般会計以外	59,151	57,372	2,109
	合計	110,246	104,346	5,670

(備考) 1 計画額は30年度当初予算額です。

2 計画額、実績額とも、四捨五入しているため、計と合致しない場合があります。

3 計画額及び実績額が100万円未満の場合は、切り上げています。

基本目標1 人がいきいきと暮らすまちづくり (施策1～10)

盛岡に定住する人口を保ち、活力ある社会を築いていくため、若い世代や子育て世代が住みたい、住み続けたいと思うとともに、豊富な経験を持つ高齢者が社会のさまざまな分野で活躍できるまちづくりを進めました。

また、誰もが、心身ともに健やかで自分らしさを発揮しながら、人がつながり、互いに支え合う共生社会の中で、充実感を持っていきいきと安全に暮らすことのできるまちづくりを進めました。

■ 主要事業の実績 (施策別)

(単位 百万円)

施策	会計区分	計画額	実績額	翌年度繰越額
1 地域福祉の推進	一般会計	178	171	0
2 子ども・子育て、若者への支援	一般会計	10,078	9,927	0
3 高齢者福祉の充実	一般会計	3,844	3,607	70
	一般会計以外	25,356	25,062	0
4 健康づくり・医療の充実	一般会計	6,601	6,585	0
	一般会計以外	28,578	29,771	0
5 障がい者福祉の充実	一般会計	6,512	6,688	0
6 生活困窮者への支援	一般会計	8,803	8,033	608
7 人権尊重・男女共同参画の推進	一般会計	4	4	0
8 安全・安心な暮らしの確保	一般会計	4,521	4,212	215
9 地域コミュニティの維持・活性化	一般会計	196	205	0
10 生活環境の保全	一般会計	307	289	0
計	一般会計	41,043	39,720	893
	一般会計以外	53,935	54,833	0

※ 各施策の詳細については、「(1) 施策別 (P 4～35)」に掲載しています。

基本目標2 盛岡の魅力があふれるまちづくり (施策11~16)

盛岡を行き交う交流人口を増やし、にぎわいを創出していくため、雄大な自然や美しい景観、城下町の歴史、芸術文化、スポーツ、温かい人情など、盛岡の魅力を守り育てるとともに、まちづくりにいかし、盛岡らしさが光る、魅力あふれるまちづくりを進めました。

■ 主要事業の実績 (施策別)

(単位 百万円)

施策	会計区分	計画額	実績額	翌年度繰越額
11 歴史・文化の継承	一般会計	47	41	0
12 芸術文化の振興	一般会計	30	28	0
13 スポーツの推進	一般会計	113	142	0
14 「盛岡ブランド」の展開	一般会計	3	3	0
15 良好な景観の形成	一般会計	27	31	0
16 計画的な土地利用の推進	一般会計	1	1	0
計	一般会計	222	246	0

※ 各施策の詳細については、「(1) 施策別 (P36~51)」に掲載しています。

基本目標3 人を育み未来につなぐまちづくり (施策17~20)

長い歴史とともに築いてきた文化や環境などを次世代に引き継ぐため、未来の盛岡を支え、創り、つなぐことのできる人を育むまちづくりを進めました。

また、環境への意識が高まる中、豊かな自然環境と快適な都市機能との調和が続く、持続可能なまちづくりを進めました。

■ 主要事業の実績 (施策別)

(単位 百万円)

施策	会計区分	計画額	実績額	翌年度繰越額
17 子どもの教育の充実	一般会計	743	480	323
18 生涯学習の推進	一般会計	66	48	0
19 社会を担う人材の育成・支援	一般会計	17	17	0
20 地球環境の保全と自然との共生	一般会計	64	59	0
計	一般会計	890	604	323

※ 各施策の詳細については、「(1) 施策別 (P52~62)」に掲載しています。

基本目標4 人が集い活力を生むまちづくり (施策21~29)

人口減少、少子高齢社会の進行とともに、地方の衰退が懸念されている中であっても、活力を生み出し、拠点都市としての役割を十分に果たしていくため、産業の振興や中心市街地の活性化を図るとともに、高次の都市機能の集積を推進し、求心力のあるまちづくりを進めました。

また、国際化が進展する中で、世界に通用する優れた人材を育むとともに、多文化共生のまちづくりを進め、世界に開かれた、活力を生むまちづくりを進めました。

■ 主要事業の実績 (施策別)

(単位 百万円)

施策	会計区分	計画額	実績額	翌年度繰越額
21 農林業の振興	一般会計	555	635	33
22 商業・サービス業の振興	一般会計	46	45	0
	一般会計以外	1	1	0
23 工業の振興	一般会計	169	192	0
24 観光の振興	一般会計	325	307	0
25 雇用の創出	一般会計	126	129	0
26 都市基盤施設の維持・強化	一般会計	6,890	4,877	1,788
	一般会計以外	5,215	2,539	2,109
27 交通環境の構築	一般会計	803	190	523
28 国際化の推進	一般会計	26	24	0
29 都市間交流の促進	一般会計	1	4	0
計	一般会計	8,940	6,403	2,345
	一般会計以外	5,216	2,539	2,109

※ 各施策の詳細については、「(1) 施策別 (P63~94)」に掲載しています。

3 計画額と実績額の差が1億円以上となった主要事業

計画額との差が1億円以上となった主要事業（10事業）と、その主な増減理由は、次のとおりです。

（単位 百万円）

基本目標 施策 主要事業名	計画額 A	実績額 B	増減額 B-A	主な増減理由
1 人がいきいきと暮らすまちづくり 2 子ども・子育て、若者への支援 私立児童福祉施設等運営事業	5,515	5,279	△236	処遇改善加算や所長設置加算等の非適用及び保育所入所児童数が見込を下回ったため。
1 人がいきいきと暮らすまちづくり 2 子ども・子育て、若者への支援 認定こども園等運営費給付事業	2,502	2,696	194	地域型保育施設が年度途中から3園新規開設したこと及び新たに加算できる項目が増えた施設があったため。
1 人がいきいきと暮らすまちづくり 3 高齢者福祉の充実 地域包括ケアシステム構築事業 (地域支援事業)	998	872	△126	通所型サービス等の対象者が想定していた人数より少なかったため。
1 人がいきいきと暮らすまちづくり 3 高齢者福祉の充実 介護保険事業（特別会計）	24,358	24,191	△167	見込額と実際の給付費に差が生じたため。
1 人がいきいきと暮らすまちづくり 4 健康づくり・医療の充実 国民健康保険事業（特別会計）	25,511	26,702	1,191	医療の高度化、被保険者の高齢層の増加等の影響により、保険給付費が増加したため。
1 人がいきいきと暮らすまちづくり 5 障がい者福祉の充実 介護給付等給付事業	3,016	3,147	131	利用実績が当初の見込より多かったため。
1 人がいきいきと暮らすまちづくり 6 生活困窮者への支援 公営住宅整備事業	1,232	1,111	△121	入札差金により、事業費の減額が生じたため。
4 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 配水管整備事業	1,734	1,500	△234	請負差金及び事業延期、入札不調等に伴う年度内施工の中止があったため。
4 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 浄配水場施設整備事業	1,049	936	△113	工事の不調、不落により次年度以降に実施時期を変更したため。
4 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 公共下水道汚水施設整備事業	989	825	△164	入札不調、不落のため。

（備考）1 「実績額」は、令和元年度への繰越額を含む額を記載している。

4 平成30年度完了事業

平成30年度をもって事業が完了した主要事業は、次のとおりです。

■ 事業自体が完了したもの（1事業）

(単位 百万円)

施策の柱 施策 主要事業名	事業内容	全 体 事業費	H30 実績額	備考 (繰越内訳等)
4 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 旧盛岡競馬場跡地（自由広場 ゾーン）整備事業	旧盛岡競馬場跡地の自由広場ゾーン整備等	2,027	311	基金の買戻し* が残っている が、整備自体は 完了したため、 完了扱いとして 整理するもの。

* 公用若しくは公共用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要がある土地をあらかじめ取得することにより、事業の円滑な執行を図るため、盛岡市土地開発基金を設置しています。今後、盛岡市一般会計による基金からの再取得（買戻し）の手続が必要になります。

■ 事業は継続するが、構成事業が完了したもの（13事業）

(単位 百万円)

施策の柱 施策 主要事業名	事業内容	全 体 事業費	H30 実績額	備考 (繰越内訳等)
1 人がいきいきと暮らすまちづくり 8 安全・安心な暮らしの確保 消防施設整備事業				
日戸消防屯所建設事業	旧日戸児童館を解体し、跡地に日戸地区の消防屯所建設	38	35	
3 人を育み未来につなぐまちづくり 17 子どもの教育の充実 小学校整備事業				
土淵小中学校施設整備	土淵小・中学校の中央棟新築，既存校舎改修，グラウンド整備等	1,705	76	
3 人を育み未来につなぐまちづくり 17 子どもの教育の充実 中学校整備事業				
厨川中学校屋内運動場長寿命化改修事業	厨川中学校屋内運動場の大規模改修等	334	28	

(単位 百万円)

施策の柱 施策	事業内容	全 体 事 業 費	H30 実 績 額	備考 (繰越内訳等)
3 人を育み未来につなぐまちづくり 18 生涯学習の推進 社会教育施設整備事業				
菟川地区公民館移転整備事業	旧外山小学校を解体し、跡地に菟川地区公民館を移転整備	196	39	
4 人が集い活力を生むまちづくり 21 農林業の振興 農業基盤整備事業				
県営かんがい排水（門前寺）	県営かんがい排水事業門前寺地区に要した費用のうち、岩手山麓土地改良区負担分の借入金元利金の償還支援	117	1	(平成30年度実績額：101千円)
【手代森3期】 県営農地整備	県営農免道手代森地区の整備	50	1	(平成30年度実績額：175千円)
4 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 身近な暮らしを支える道路事業				
本町通二丁目上田四丁目線	盛岡第一高等学校、岩手大学、国道4号をつなぐ道路の歩道改良、自転車レーン設置 総延長1,300m、幅員13.0m	398	68	
好摩西地区計画道路 (好摩芋田向線)	好摩駅西口から県道好摩停車場線跨線橋下を結ぶ道路の歩道新設工事 総延長600m、幅員8.5m（車道2車線6.0m、片側歩道2.5m）	112	23	
繫26号線外	繫温泉の中心に位置し、温泉街の主要道路となっているコミュニティ道路の道路改良工事等 総延長540m、幅員6.5m～12.0m	359	176	道路改良、融雪施設設備工事
岩手飯岡駅南公園線	岩手飯岡駅と盛岡南公園をつなぐ道路の道路改良工事等 総延長830m、幅員14.0m（車道2車線、両側歩道、駅前ロータリー）	1,199	5	
虫壁線	大ヶ生消防屯所から大ヶ生15地割方面（虫壁川沿い）をつなぐ道路の待避所設置 総延長1,800m、幅員6.0m（待避所を数	37	15	辺地総合整備計画掲載事業

(単位 百万円)

施策の柱 施策 主要事業名	事業内容	全体 事業費	H30 実績額	備考 (繰越内訳等)
4 人が集い活力を生むまちづくり 27 交通環境の構築 都市の骨格を形成する街路事業				
(都) 梨木町上米内線(第Ⅱ工区)	河北小学校と上田郵便局をつなぐ街路 の築造工事等 総延長683m, 幅員25.0m (車道4車線, 両側歩道)	6,221	100	街路築造工事等
(都) 上厨川厨川五丁目線(赤袋 第Ⅱ工区)	県営青山アパート付近の街路築造 延長209.0m, 幅員16.0m (車道2車線, 両側歩道)	479	15	

- (備考) 1 全体事業費及び実績額ともに、四捨五入しています。
- 2 全体事業費及び実績額が100万円未満の場合は、切り上げています。
- 3 「実績額」は、令和元年度への繰越額を含む額を記載しています。
- 4 令和元年度へ繰越す事業についても、平成30年度の完了事業扱いとします。